

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
(a) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	—	—	原子炉格納容器水位	1	1	0	原子炉格納容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて監視。 監視事項は主要パラメータにて監視。	
			サブクール度	1	0	0	—	—	サブクール度	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
			1次冷却材圧力(広域)	2 (2)	2	1	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
			1次冷却材温度(広域-高温側)	3 (3)	3	3	0	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3	3	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
			加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	加圧器水位	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納容器水位の代替監視可能。		
			サブクール度	1	1	0	0	—	サブクール度	1	0	0	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納容器水位の代替監視可能。		
			1次冷却材圧力(広域)	2 (2)	2	1	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
			炉心出口温度	1	1	1	0	—	炉心出口温度	1	1	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
			1次冷却材温度(広域-高温側)	3 (3)	3	3	0	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3	3	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
			1次冷却材温度(広域-低温側)	3 (3)	3	3	0	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3	3	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広域)及び1次冷却材温度(広域-高温側)により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2 (2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2	2	1	1	計測範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位(狭域)により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて監視。 監視事項は主要パラメータにて監視。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	格納容器水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。		
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	—	燃料取替用水レベル水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水機流量であるB-格納容器スプレイ合部出口流量、AMM、代替格納容器スプレイ合部出口流量により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	
			補助給水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	補助給水レベル水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水機流量であるB-格納容器スプレイ合部出口流量、AMM、代替格納容器スプレイ合部出口流量により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	
			B-格納容器スプレイ合部出口流量	1	1	1	0	—	B-格納容器スプレイ合部出口流量	1	1	0	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水機流量であるB-格納容器スプレイ合部出口流量、AMM、代替格納容器スプレイ合部出口流量により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。		
			代替格納容器スプレイポンプ出口流量	1	1	1	0	—	代替格納容器スプレイポンプ出口流量	1	1	0	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水機流量であるB-格納容器スプレイ合部出口流量、AMM、代替格納容器スプレイ合部出口流量により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。		
			格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2 (2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水機流量であるB-格納容器スプレイ合部出口流量、AMM、代替格納容器スプレイ合部出口流量により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。		
			格納容器水位	1	1	1	0	—	格納容器水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。		

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
(b) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			格納容器内圧力	—	—	—	—	—	—	格納容器内圧力 (熱域)	1	1	0	0			格納容器内圧力により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	評価範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内圧力	—	—	—	—	—	—	—	格納容器内圧力 (熱域)	1	1	0	0	評価範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
		原子炉格納容器への注水量	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
		水源の確保	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	—
				格納容器再循環ポンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価						
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響								
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
(b) B-格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電源	送排線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			甲房線電圧, 乙房線電圧	4	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	3	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量	4	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量 (AM用)	4	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源を 延命した場合		B電源を 延命した場合			
(b) B-1格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。		
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
		原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	2	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	原子炉格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器水位	1	1	1	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位 (監視) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
原子炉格納容器内の水位	格納容器水位	1	1	1	0	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
	格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			

全: すべてのループの計器の合計数
A(0), C: 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(b) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器への注水量	B-格納容器スプレイ流量	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
	水源の確保	B-格納容器スプレイ冷却器 燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイ冷却器 燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
補機冷却	補機冷却	B-格納容器スプレイポンプ 補機冷却水流量	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	注水先である燃料容器再循環サンプ水位(広域)により燃料取扱用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイポンプ 電動機補機冷却水流量	1	0	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び燃料容器スプレイ流量 (AM用) により燃料取扱用水ピット水位を小減とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	SBO											
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由			SBO影響										
							A:直流電源を 延命した場合	B:交流電源を 延命した場合							直後	直後	A:直流電源を 延命した場合	B:交流電源を 延命した場合							
(c) ディーゼルエンジン駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	—	—	—	2	1	2	1	2	1	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。								
							1	0	1	1	0	1	0	1	0			1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。					
							2	1	2	1	2	1	2	1	2			1	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
							4	1	4	1	4	1	4	1	4			1	4	1	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。			
							2	0	2	0	2	0	2	0	2			0	2	0	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
							2	2	2	2	2	2	2	2	2			2	2	2	2	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
							1	0	1	0	1	0	1	0	1			0	1	0	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
							1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
							1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
							1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
							4	0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	4			0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
							4	0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	4			0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	4	0 * 1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。

* 1 : 4 種のうち 2 種は、1, 2 号中央降室に確認する。

A(B,C) : 当該ループの計器の合計数

全 : すべてのループの計器の合計数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー	電源	電圧	送電線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			後送線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			抽機監視機能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
操作	1.6.2.1(d) b, (c)	「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」の操作手順と同様である。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。																	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ()内はP/M	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はP/M	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により1次冷却材温度 (広域-高温側) の代替監視可能。	監視事項は主要バグメータにて確認。	
			1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	-	-	炉心出口温度	1	1*1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域-高温側) の代替監視可能。		
			炉心出口温度	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により1次冷却材温度 (広域-低温側) の代替監視可能。		
			1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	-	-	炉心出口温度	1	1*1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域-高温側) の代替監視可能。		
		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材温度 (広域)	2 (2)	1	1	-	-	加圧器圧力	4	4	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材温度 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要バグメータにて確認。
				加圧器水位	4 (2)	4	1	-	-	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば原子炉圧力 (広域) の代替監視可能。	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉圧力 (広域) の代替監視可能。	
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	-	-	サブクール度	1	1	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要バグメータにて確認。
				原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	-	-	加圧器水位	4 (2)	4	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
				原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	-	-	サブクール度	1	1	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
				原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	-	-	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	
原子炉圧力容器内の水位	1			1	0	-	-	炉心出口温度	1	1*1	0	炉心出口温度により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。			
原子炉圧力容器内の水位	1			1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。			

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
(d) 海水を用いた四機型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後送線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMF)	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMF)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMF)	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			判断基準	操作	1.6.2.1(d) b, (c) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	全：すべてのループの計器の合計数												計器故障等	
						A(B,C)：当該ループの計器数													

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合		
(6) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-高温側) により1次冷却材温度 (広域-高温側) の代替監視可能。
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1*1	0	—	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域-高温側) の代替監視可能。
		1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) の代替監視可能。
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1*1	0	—	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域-低温側) の代替監視可能。
	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材温度 (広域-高温側)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域-低温側) の代替監視可能。
	原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	—	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。
		1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域-高温側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。
		1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	3 (3)	3 (全)	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域-低温側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。
		1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域-低温側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直前電源を 延命した場合
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	1	—	—	原子炉格納容器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納水位により加圧器水位の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器水位	1	1	0	—	—	—	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域→高温度) 及び1次冷却材圧力 (広域) により原子炉格納容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域→高温度) 及び1次冷却材圧力 (広域) により原子炉格納容器内の水位の代替監視可能。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば運動的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		原子炉下部キャビティ水位	—	—	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水機室であるB-1格納容器スプレイ合部出口流量 (AMM)、代替格納容器スプレイ合部出口流量 (AMM) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば運動的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		原子炉下部キャビティ水位	—	—	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		格納容器水位	—	—	—	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水機室であるB-1格納容器スプレイ合部出口流量 (AMM)、代替格納容器スプレイ合部出口流量 (AMM) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば運動的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。

*1: 常用品から現物を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: オブベットのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響					
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
(6) 代替給水ピットを水源 とした可搬型大型送水ポンプ 車による原子炉格納容器内へ のスプレー	原子炉格納容器 への圧力	原子炉格納容器 への圧力	B-1格納容器スプレー流量	1	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレー 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			B-1格納容器スプレー弁閉器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	-	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	燃料容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化によりB-1格納容器スプレー 流量の代替監視可能。			
			代替格納容器スプレー弁閉器 出口積算流量	1	1	1	0	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	2	1		水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレーポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	-	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレー ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	-	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0		格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (装設) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	-	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	1		1	格納容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1		1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (装設) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	-	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	1		1	格納容器内圧度により原子炉格納容器圧力 (AM 用) の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	-	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	1		1	格納容器内圧度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	-	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	1		1	格納容器内圧度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器圧力 (AM 用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							計器故障等	SBO		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO				
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合							
(6) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AMF)	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AMF)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMF)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			1.6.2.1(d) b, (g) 「代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。																
			操作																

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		計器数 ()内はPAM	計器名称	抽出パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		計器数 ()内はPAM		計器名称	抽出パラメータを計測する計器	
			直後	A直前電源を 延命した場合					直後	B直前電源を 延命した場合					
(D) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉圧力容器 内の温度	抽出パラメータを計測する計器	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器	計器数 ()内はPAM	計器名称	抽出パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	抽出パラメータを計測する計器	SBO 計器名称等	
								3 (全)	3 (全)	0	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-低 温側)	1次冷却材温度 (広域-低 温側)		
								3 (全)	0	3 (全)	1	炉心出口温度	炉心出口温度		
								3 (全)	0	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高 温側)	1次冷却材温度 (広域-高 温側)			
	原子炉圧力容器 内の圧力	抽出パラメータを計測する計器	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器	計器数 ()内はPAM	計器名称	抽出パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	パラメータ 分類	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	抽出パラメータを計測する計器	SBO 計器名称等
									2 (2)	1	1	2 (2)	加圧器圧力	加圧器圧力	
									2 (2)	1	1	3 (3)	1次冷却材圧力 (広域)	1次冷却材圧力 (広域)	
									3 (3)	0	3 (3)	3 (3)	1次冷却材圧力 (広域-低 温側)	1次冷却材圧力 (広域-低 温側)	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合			
(f) 原水槽を水源とした可 搬型大流量送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	原子炉圧力容器 内の水位	原子炉容器水位	4 (2)	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位に より加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。		
			サブクール度	1	0	0	—	—	サブクール度	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広 域)及び1次冷却材温度(広域-高温 側)により原子炉圧力容器内がサブ クール状態か過熱状態かを監視するこ とで、原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。			
			1次冷却材圧力(広域)	2 (2)	2	1	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力(広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側)及び1次冷却材温度 (広域-低温側)により原子炉圧力容 器内がサブクール状態か過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。			
			1次冷却材温度(広域-高温 側)	3 (3)	3	3	0	—	1次冷却材温度(広域-高温 側)	3	3	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側)及び1次冷却材温度 (広域-低温側)により原子炉圧力容 器内がサブクール状態か過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。			
		原子炉格納容器 内の水位	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
			サブクール度	—	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	サブクール度、1次冷却材圧力(広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側)及び1次冷却材温度 (広域-低温側)により原子炉圧力容 器内がサブクール状態か過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。		
			原子炉格納容器水位	1	1	0	—	—	—	原子炉格納容器水位	2 (2)	2	1	1		計測範囲内であれば運動的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。
			燃料取替用水レベル	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水レベル	3 (3)	3	3	0		原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。
			原子炉下部キャビティ水位	—	—	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0		原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。
			格納容器水位	—	—	—	—	—	—	格納容器水位	1	1	1	0		原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。
原子炉格納容器 内の水位	燃料取替用水レベル	2 (2)	1	1	—	—	—	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水機容量であ るB-1格納容器スプレイ合流出口積 算流量(AIM)、代替格納容器スプレ イ合流出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。			
	補助給水レベル	—	—	—	—	—	—	補助給水レベル	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水機容量であ るB-1格納容器スプレイ合流出口積 算流量(AIM)、代替格納容器スプレ イ合流出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。			
	B-1格納容器スプレイ合流器 出口積算流量(AIM)	—	—	—	—	—	—	B-1格納容器スプレイ合流器 出口積算流量(AIM)	1	1	1	0	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水機容量であ るB-1格納容器スプレイ合流出口積 算流量(AIM)、代替格納容器スプレ イ合流出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。			
	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	—	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水機容量であ るB-1格納容器スプレイ合流出口積 算流量(AIM)、代替格納容器スプレ イ合流出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。			

*1: 常用品から現物を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: オベートのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
(G) 原水槽を水源とした可 燃型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉格納容 器への圧力	原子炉格納容 器内の圧力	B-1格納容器スプレイ流量	1	0	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		
			B-1格納容器スプレイ弁閉器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		
			代替格納容器スプレイ弁閉器 出口積算流量	1	1	0	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	2	2	水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。		
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	格納容器圧力 (AMH)	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AMH) 又は格納容器圧 力 (装設) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	2	2	0	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	2	2	0	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (装設) により格 納容器圧力 (AMH) の代替監視可能。	
			原子炉格納容器圧力	2	2	0	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	2	1	1	格納容器内圧度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力	2	2	0	格納容器内圧度	2 (2)	2	2	1	1	1	格納容器内圧度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器圧力 (AM H) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称			計器数 ()内はPAM	A:直流電源を 延命した場合 直後	B:直流電源を 延命した場合			
(G) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲巻線電圧, 乙巻線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM/F)	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM/F)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM/F)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			抽機監視機能													
			操作													

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

1.6.2.1(d) b, (c) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための対応手順 (2) サポート系開始時の対応手順 b. 格納容器内自然対流冷却	電源		圧縮機1L電圧、2L電圧	2	2	0	0	③	圧縮機1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—			
			後立幹線1L電圧、2L電圧	2	2	0	0	③	後立幹線1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧、乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲、乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7 (2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMH)	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMH)	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			(a) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器母管線ユニットによる格納容器内自然対流冷却	補機監視機能		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—
						原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMH)	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—
操作			「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D一格納容器母管線ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
1.6.2 原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 * 格納容器内自然対流冷却	原子炉圧力容器 内の温度	1	炉心出口温度	②	—	1	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
		2 (2)	炉心入口温度	①	—	2	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心入口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
		2 (2)	原子炉格納容器 内の放射線量率	—	—	2	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングガスストモニタリングガススト上昇を傾向監視により炉心温度の遅れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
		4 (2)	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	4	格納容器圧力 (狭域)	2	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	②	—	2	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	傾向温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	①	—	2	格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 内の圧力	②	—	2	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	傾向温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器 への注水量	0	—	2	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	1	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		1	原子炉格納容器 への注水量	0	—	1	格納容器再循環ポンプ流量 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a. 「C、D-1格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。	操作	1	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①	—	1	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
		1	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①	—	1	燃料取替用水レベル	2 (2)	2	1	1	水筒である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 内へのスプレイ	原子炉格納容器 内の風度	原子炉格納容器 内の風度	2 (2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。			
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		格納容器内風度	2 (2)	2	2	2	①	—	格納容器内風度	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内風度/圧力の関係を利用して格納容器内風度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	操作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器水位	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器水位	2 (2)	2	2	1	1	格納容器水位 (監視) により原子炉格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が できる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	2	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	2	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷卻器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	①	—	格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量	2 (2)	2	2	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷卻器出口積 算流量 (AM用)、注水積算量である B-1格納容器スプレイ冷卻器出口積 算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	①	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	2 (2)	2	2	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷卻器出口積 算流量 (AM用) 及び代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0, 1)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO				
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合			
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 内へのスプレイ	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	入浴である燃料取替用水ピット水位及び 補助給水ピット水位の傾向監視により 代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位(広域)により燃料取替用水ピット 水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
	操作	水源の確保	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算 流量の燃料取替用水ピット水位を水脈 とするポンプの注水量により、水源の有 無や使用量を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
				補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視により補助給水ピット水位の 代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	電源	電源	電源	代替非常用発電機電圧、電 力、周波数	6	6	0	③	代替非常用発電機の運 転状態を確認するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
				6-A, B母線電圧	4 (2)	4	1	③	非常用高圧母線の受電 状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				代替格納容器スプレイポンプ 出口圧力	1	1	1	③	代替格納容器スプレイ ポンプの運転状態を確認 するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(b) 電動機駆動海水ポンプ 又はディーゼル駆動海水ポン プによる原子炉格納容器内へ のスプレイ	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	0	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	—	—	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	
	判 断 基 準	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 圧力	4 (2)	4	1	1	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (検数) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
			原子炉格納容器 圧力	2	2	0	—	—	格納容器圧力 (検数)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (検数) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
			原子炉格納容器 圧力	2	2	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を 格納容器内温度により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。
			原子炉格納容器 圧力	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (検数) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を 格納容器内温度により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	—	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水漏れによる燃料取替用水レベル水位及 び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。
			補助給水レベル水位	2 (2)	2	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水漏れによる補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。
水源の確保	ろ過タンク水位	4	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
* 2：4 個のうち 2 個は、1, 2 号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B交流電源を 延命した場合			
(b) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポン プによる原子炉格納容器内へ のスプレイ	原子炉格納容器 内の風度	原子炉格納容器 内の風度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	操 作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な確認がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			格納容器水位	1	1	1	1	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水断である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水断である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	—	—	格納容器再循環サンプ水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	高水タンク水位の傾向監視により格 納容器再循環サンプ水位 (広域) の代 替監視可能。	
			AM用消火水積算流量	1	1	0	0	—	—	AM用消火水積算流量	1	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 代替監視可能。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	1	1	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	1	1	0	0	高水タンク水位の傾向監視により格 納容器再循環サンプ水位 (広域) の代 替監視可能。	

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

* 1: 4 個のうち 2 個は、1, 2 号中央貯留室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合
(b) 電動機駆動消火ポンプ 又はデザンサー駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器水位	1	1	0	0	—	—	格納容器水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器水位	1	1	0	0	—	—	格納容器水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	—	—	格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	—	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	
			ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	—	—	ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	
原子炉格納容器への注水量	水源の確保	AM用注水量積算流量	1	1	0	0	—	—	AM用注水量積算流量	1	1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	—	—	ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1		
			4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	—	—	ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1		
			2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (袋減)	2 (2)	2	1	1		
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：4種のうち2種は、1、2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	—	—	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域-低温) により炉心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	2	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器内の圧力	2	2	0	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	1	1	1	0	—	—	—	—	4 (2)	4	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量	2 (2)	2	2	0	—	—	—	—	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		

注：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器候補等	SBO					
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響			計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM			A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合			
							A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合 直後								B直流電源を 延命した場合		
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	—	—	2 (2)	原子炉格納容器内温度	—	—	—	2 (2)	原子炉格納容器内温度	1	1	4 (2)	原子炉格納容器内温度	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
						4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	4 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	0	0
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力	—	—	2 (2)	格納容器内圧力	—	—	—	2 (2)	格納容器内圧力	1	1	2 (2)	格納容器内圧力 (監視)	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
							4 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	4 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2 (2)	原子炉格納容器圧力 (AM用)	0

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器種類等	SBO				
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合						
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)			格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位(狭域)により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器水位				原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	1	1	1	0	0				
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	1	1	燃料取替用水レベル水位、水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM田)、代替格納容器スプレイポンプ(出口積算流量)により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	2	1	1		
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)				格納容器再循環サンプ水位(広域)	2 (2)	2	1	1	2	1	1		
			格納容器水位				原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	1	1	1	0	0	0	0		
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	1	1	燃料取替用水レベル水位、水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM田)、代替格納容器スプレイポンプ(出口積算流量)により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	2	1	1		
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)				格納容器再循環サンプ水位(広域)	2 (2)	2	1	1	2	1	1		
			格納容器水位				原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	1	1	1	0	0	0	0		
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	1	1	燃料取替用水レベル水位、水源である燃料取替用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM田)、代替格納容器スプレイポンプ(出口積算流量)により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	2	1	1		
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)				格納容器再循環サンプ水位(広域)	2 (2)	2	1	1	2	1	1		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合					
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ 判断基準 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	1	1	1 * 1	0	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側) 1個	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側) 1個 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングポストの指示により炉心状態の監視可能。 モニタリングポストにより炉心状態の監視可能。 モニタリングステーションの指示により炉心状態の監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2	2	2	0	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	1	格納容器内圧力 (AM用) 及び原子炉格納容器圧力 (監視) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	1	1	1	0	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2 (2)	2	2	1	—	—	—	—	格納容器内圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2 (2)	2	2	1	—	—	—	—	格納容器内圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2 (2)	2	2	1	—	—	—	—	格納容器内圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2 (2)	2	2	1	—	—	—	—	格納容器内圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	2 (2)	2	2	1	—	—	—	—	格納容器内圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(0,0) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大流量水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内温度	2 (2)	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	
	操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	2 (2)	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器種類等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大流量水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)				格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉下部キャビティ水位	1				原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	1	1	0			
			格納容器水位	1				格納容器水位	1	1	0			
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			補助給水ピット水位	2 (2)	1			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1		
			代替格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1				代替格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0		
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1				代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0		
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1		
			補助給水ピット水位	2 (2)	1			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田) 及び代替格納容器スプ レイポンプ出口積算流量により格納容 器水位の代替監視可能。
			格納容器水位	1	1	0		格納容器水位	1	1	1	0		
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大流量水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1				代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。		
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	0		補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
(6) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1 * 1	0	-	-	1	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高圧側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2	1	1次冷却材温度 (広域-低圧側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	2	2	0	-	-	1	1 (0)	0	0	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	2	2	2	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

* 1 : 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(0,0) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(e) 原水槽を水調とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 格納容器内圧力	2	2	0	0	—	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 格納容器内圧力	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を 利用して格納 容器内温度により原子炉格納 容器圧力の代替監視可能。	
		原子炉格納容器 格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			直後	直後			
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視が できる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	1	1	0	0		
			格納容器水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	2 (2)	2	1	1	1	
			燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	0	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	1	1	0	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	1	0	
			燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	0	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	1	1	0	
原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	2次系純水タンク水位	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1		
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1		
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1		
水源の確保	水源の確保	ろ過水タンク水位	2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に確認	2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に確認	1	1	1	1	
			ろ過水タンク水位	4	2 * 1 0 * 1	ろ過水タンク水位	4	2 * 1 0 * 1	1	1	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数
* 1：4層のうち2層は、1, 2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合					
1.6.2.2 原子炉格納容器の故障を防止するための対応手順 (2) サポート系起動時の対応手順 * 代替格納容器スプレイ	原子炉圧力容器 内の温度 原子炉格納容器 内の放射線量率 原子炉格納容器 内の圧力 原子炉格納容器 への注水量 水源の確保	1	1	1 * 1	0	②	—	1	3	3	3	0	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高温) 1次冷却材温度 (広域-低域) 炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
		2	2	1	1	①	—	2	2	2	2	1	1	2	1	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ) モニタリングガスト モニタリングステーション	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ) 及びモニタ リングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心 損傷の恐れが生じている か否かを推定可能。	
		4	4	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	2	2	0	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力 (狭域)	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	2	0	0	②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水レベル流量 格納容器再循環ポンプ水 位 (広域)	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 内へのスプレイ	電源	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	送給線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の 受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—		

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

1.6.2.2(1) b, (c) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	補助パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合	
(b) B-格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度(広域-高温)に よ、炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		2	2	1	1	-	-	1次冷却材温度(広域-低温) 格納容器内高レンジエリ アモニタ(低レンジ)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1次冷却材温度(広域-低温)に よ、炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容 器内の放射線量	4	4	1	1	-	-	モニタリングポスト	7	7	0	0	格納容器内高レンジエリ アモニタ(低レンジ)の指示 により炉心状態の監視 が可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		2	2	0	0	-	-	モニタリングステーション	1	1	0	0	格納容器内高レンジエリ アモニタ(低レンジ)の指示 により炉心状態の監視 が可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容 器内の圧力	4 (2)	4	1	1	-	-	原子炉格納容器圧力	2	2	2	2	0	格納容器圧力(AM用)又は格納容器 圧力(監視)により原子炉格納容器 圧力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	2	0	0	-	-	格納容器内温度	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1	格納容器内温度により原子炉格納 容器圧力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容 器への注水量	1	1	1	0	-	-	格納容器圧力(監視)	1	1	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容 器圧力又は格納容器圧力(監視)に よ、注水量の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	2	0	0	-	-	燃料取替用水レベル	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1	燃料取替用水レベルと注水量の 関係を利用し、注水量の代替監視 可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	水源の確保	2	2	1	1	-	-	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1	格納容器再循環ポンプ水位(広域) の傾向監視により注水量の代替 監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	2	1	1	-	-	燃料取替用水レベル	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1	燃料取替用水レベルと注水量の 関係を利用し、注水量の代替監視 可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常系から接続を変更することで通常と同じ99点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合			
(b) B-1格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。		
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	2	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	操作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
			格納容器再循環サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	—	—	格納容器再循環サンプル水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が出来る格納容器再循環サンプル水位 (監視) により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
			格納容器水位	1	1	1	0	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器水位により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	
原子炉格納容器 内の水位	格納容器水位	1	1	1	0	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	水廊である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1		水廊である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
	補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1		水廊である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
	格納容器水位	1	1	1	0	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器水位により格納容器再循環サンプル水位 (広域) の代替監視可能。			

全: すべてのループの計器の合計数
A(0), C: 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(b) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器への注水量	B-格納容器スプレイ流量	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	格納容器再循環サンプリング水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプリング水位(広域)の水位変化によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。 大減である燃料取替用水ピットの水位傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
	水源の確保	B-格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	燃料取替用水ピット水位の水位傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイポンプ 電動機冷却水流量	1	0	—	—	格納容器再循環サンプリング水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプリング水位(広域)の水位傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。 注水先である格納容器再循環サンプリング水位(広域)により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	
補機冷却	補機冷却	B-格納容器スプレイポンプ 補機冷却水流量	1	0	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 及び格納容器スプレイ流量の燃料取替用水ピット水位を小減とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B-格納容器スプレイポンプ 電動機冷却水流量	1	0	—	—	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	0	格納容器スプレイ流量の注水量の推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		2	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の放射線量率	2	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	監視事項は主要パラメータにて確認。
		7	7	0	0	—	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	0	モニタリングポストにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	4	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	0	0	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	2	0	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
	原子炉格納容器への注水量	1	1	0	0	—	—	B—格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	2	0	—	—	格納容器内湿度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内湿度/圧力の関係をjつて格納容器内湿度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	水脈の確保	4	4	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	ろ過水タンク水位	4	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	—
		2	2	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	燃料取替用水レベル水位	2	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
* 2：4個のうち2個は、1, 2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			計器名称等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合						
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー	判断基準	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			操作	1.6.2.2(1) b, (c)	「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレー」の操作手順と同様である。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。													

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名				
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	2	1	1	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	0 (全)	3 (全)	3	1次冷却材温度 (広域—低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2	2	1	1	—	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	監視事項はモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
		4	4	1	1	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	2	0	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧力 (狭域) 及び原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		2	2	2	0	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (狭域)	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧力 (狭域) 及び原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
	原子炉格納容器への注水量	1	1	0	0	—	—	—	—	燃料取替用水レベル流量	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧力 (狭域) 及び原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	—	—	B—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧力 (狭域) 及び原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はDPM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はDPM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称				
(6) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1 * 1	0	—	3	3 (全)	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) 初期出口温度	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		2	2	1	1	—	2	2 (2)	2	1	1次冷却材温度 (広域—低温側) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	監視事項は主要パラメータにて確認。			
	原子炉格納容器内の放射線量率	4	4	1	1	—	2	2 (2)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		2	2	0	0	—	2	2 (2)	2	1	1	0		0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の圧力	2	2	2	0	—	4	4 (2)	4	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	0	0	—	2	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	B—格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	2	2 (2)	2	1	1	0	0	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	1	1	—	2	2 (2)	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
	原子炉格納容器への在水量	1	1	1	0	—	2	2 (2)	2	1	1	0	0	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		1	1	1	0	—	2	2 (2)	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイの積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	2	2	0	—	2	2 (2)	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイの積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	2	2	2	0	—	2	2 (2)	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイの積算流量 (AM用) の代替監視可能。		
格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2	2	2	0	—	2	2 (2)	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイの積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	2	2	2	0	—	2	2 (2)	2	2	2	2	2	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイの積算流量 (AM用) の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数
A(0), C：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合						
(6) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電圧	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			甲巻線電圧, 乙巻線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量 (AMH)	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			抽機監視機能															
			操作															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

1.6.2.2.(1) b, (d) 「代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名			
(G) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	—	—	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温) 1次冷却材温度の代替監視可能。 メータにて		
		2	2	1	1	—	—	7	7	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温度) 1次冷却材温度の代替監視可能。 メータにて		
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2	2	1	1	—	—	2	2	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	
		4	4	1	1	—	—	1	1	0	0	0	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	
	原子炉格納容器 内の圧力	4	4	1	1	—	—	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (稼働) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
		2	2	0	0	—	—	2	2	1	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は原子炉格納容器圧 力 (稼働) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 への在水量	1	1	0	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	2	2	2	2	1	1	燃料取替用水レベル水位 (広域) の代替監視可能。
	B—格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。
	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。
		1	1	1	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。
代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
	1	1	1	0	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ												評価				
			抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
(f) 原水槽を水源とした可 搬型大流量ポンプ車による 原子炉格納容器内へのスプレ イ	電源	電源	活線線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	3	3	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	2	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			1.6.2.2(d) b, (c) 「原水槽を水源とした可搬型大流量ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。																
			操作																

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器数 ()内はDPM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響		計器故障等	SBO		
							A故障電源を 延命した場合 直後	B故障電源を 延命した場合	A故障電源を 延命した場合 直後	B故障電源を 延命した場合				
(a) 可燃型大型送水ポンプ車を用いたC、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 (b) サポート系起動時の対応手順 1.6.2 原子炉格納容器の故障を防止するための対応手順 2. 格納容器内自然対流冷却	原子炉圧力容器内の温度		1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温側) 1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	3 (全)	0	監視事項は代替パラメータにて高警。	
	原子炉格納容器内の放射線量率		2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) モニタリングポスト	2 (2)	7	0	監視事項は主要パラメータにて高警。	
	電源	始動線 1 L 電圧, 2 L 電圧		2	2	0	0	③	沿幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧		2	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧		4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧		7 (2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—
	補機並出機器	原子炉補機冷却水供給母管流量		3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (M用)		2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		4	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)		4	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—
操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧減損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1) a. 「可燃型大型送水ポンプ車を用いたC、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。											—		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じS9点を運転監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																																																		
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		計器故障等	SBO																																																																																																	
									A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合																																																																																															
(1) 格納容器スプレイトン プによる原子炉格納容器内へ のスプレイト	重大事故等対処設備 (設計基準記録) による対応手順	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	①	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	格納容器圧力 (AM用)	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																																
														2	2	1	0	0	格納容器内温度	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																				
																										2	4	1	1	1	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																								
																																						2	2	0	①	—	格納容器圧力 (AM用)	1	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																												
																																																		2	2	1	1	1	格納容器内温度	2 (2)	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																
																																																														2	2	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイトン流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																				
																																																																										2	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により格納容器スプレイトン流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																								
																																																																																						1	1	0	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイトン出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。												
																																																																																																		2	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイトン出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合	B電源電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A電源電圧を 延命した場合		B電源電圧を 延命した場合			
(1) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器内へ のスプレイ	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力/圧力の関係を 利用して原子炉格納容器内 温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により 格納容器内温度の代替監視 可能。		
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は 格納容器圧力 (監視) により 原子炉格納容器圧力の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		格納容器内温度	2 (2)	2	2	0	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係 を利用して原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。		
	操作	原子炉格納容器 内の水位	格納容器水位	1	1	1	0	①	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉 格納容器圧力又は格納容器圧 力により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的 な監視が可能な格納容器再 循環サンプ水位 (監視) によ り原子炉格納容器再循環サ ンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
		原子炉下部キャビティ水位	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位 により格納容器再循環サンプ 水位 (広域) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピ ット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却 器出口積算量 (AM用)、代 替格納容器スプレイポン プ出口積算量 (AM用) 及び 代替格納容器スプレイポン プ出口積算量により格納容 器水位の代替監視可能。	
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピ ット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷 却器出口積算量 (AM用)、 代替格納容器スプレイポン プ出口積算量により格納容 器水位の代替監視可能。	
			格納容器水位	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピ ット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷 却器出口積算量 (AM用)、 代替格納容器スプレイポン プ出口積算量により格納容 器水位の代替監視可能。	
原子炉格納容器 内の水位	格納容器水位	1	1	1	0	①	—	格納容器水位	1	1	1	0	水源である燃料取替用水ピ ット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷 却器出口積算量 (AM用)、 代替格納容器スプレイポン プ出口積算量により格納容 器水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的 な監視が可能な格納容器再 循環サンプ水位 (監視) によ り原子炉格納容器再循環サ ンプ水位 (広域) の代替監視 可能。			

全：すべてのループの計器の合計数
A(0, 1)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器仕様等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
(1) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器内へ のスプレイ	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	格納容器スプレイ流量	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水漏である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	①	—	格納容器再循環サンプリング水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプリング水位 (広域) の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプリング水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	水漏である燃料取替用水ピットの水位 の傾向監視によりB-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプリング水位	2 (2)	2	1	1	①	—	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	1	0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算 流量 (AMH) 及び格納容器スプレイ流 量の燃料取替用水ピット水位を水源と するポンプの注水量の合計により、水 源の有無や使用量を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	水源の確保							燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	0	0	注水先である格納容器再循環サンプリ ング水位 (広域) により燃料取替用水ピット 水位の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価																			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO																	
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直前直後 B:直前直後 C:直前直後 D:直前直後	計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直前直後 B:直前直後 C:直前直後 D:直前直後																			
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時） (1) 格納容器スプレイ a. 格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	②	1	1 * 1	0	-	-	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) (個)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。																		
														炉心出口温度	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-低温側) (個)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) (個)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-低温側) (個)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
	原子炉格納容器内の放射線量率	①	2 (2)	1	-	-	-	-	2 (2)	7	0	0	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																	
															格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングシステム及びモニタリングシステムの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2 (2)	7	0	モニタリングシステム	7	0	0	モニタリングシステム	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
	原子炉格納容器内の圧力	①	4 (2)	1	1	1	-	-	2	1	0	0	格納容器圧力 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																	
															原子炉格納容器圧力	2	2	0	格納容器圧力 (監視)	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
															格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
															原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (監視)	1	0	0	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。										

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じS9点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後			A直流電源を 延命した場合
a. 格納容器スプレイポンプ による原子炉格納容器内への スプレイ	判 断 基 準	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	2	②	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	水漏である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器再循環サンプル水位 (広域) の 代替監視可能。	
			燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	1	
		水源の確保	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	①	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1	1	水漏である燃料取扱用水レベル水位 の傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	計器種類等	SBO			
														計器名称	計器名称	
a. 格納容器スプレイポンプ による原子炉格納容器内への スプレイ	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。		
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
			格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 及び燃料取替用水ピット水位により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。		
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 及び燃料取替用水ピット水位により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。		
	操作	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	①	—	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				格納容器水位	1	1	1	①	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。	
				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 及び燃料取替用水ピット水位により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。	
				補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) 及び燃料取替用水ピット水位により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。	
				B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	①	—	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	

全: すべてのループの計器の合計数
A(0, 1): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
a. 格納容器スプレィポンプ による原子炉格納容器内への スプレィ	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレィ流量	格納容器スプレィ流量	2	0	②	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	燃料取扱用水ピット水位の 傾向監視により格納容器スプレィ流量 の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			B-1格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB-1格納容器スプレィ の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		水源の確保	燃料取扱用水ピット水位	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB-1格納容器スプレィ 冷却器出口積算流量 (AMH) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	①	—	B-1格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算 流量 (AMH) 及び格納容器スプレィ流 量の燃料取扱用水ピット水位を水源と するポンプの注水量の合計により、水 源の有無や使用量を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由
							A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合	A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合					
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順 (交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時)	(2) 格納容器内自然対流冷却	原子炉圧力容器 内の温度	1	炉心出口温度	②	—	0	1 * 1	0	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	1 次冷却材温度 (広域—高信頼) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2 (2)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	①	—	1	2	1	2 (2)	2 (2)	7	0	1 次冷却材温度 (広域—低信頼) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心温度の過熱が生じているかを推定可能。	
a. C, D—格納容器内積集 ユニットによる格納容器内自 然対流冷却	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	原子炉格納容器圧力	①	—	1	4	1	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2	格納容器圧力 (AM用)	①	—	0	2	2	2 (2)	2 (2)	4	1	1 次冷却材温度 (広域—高信頼) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心温度の過熱が生じているかを推定可能。	
	原子炉格納容器 への注水量	格納容器スプレイ流量	2	格納容器スプレイ流量	②	—	0	2	0	2	2	2	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心温度の過熱が生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心温度の過熱が生じているかを推定可能。	
			1	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①	—	0	1	1	0	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心温度の過熱が生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングシステム上の指示の上昇を傾向監視により炉心温度の過熱が生じているかを推定可能。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
a. C, D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然冷却 b. 格納容器再循環ユニットにより、原子炉格納容器内温度の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	原子炉格納容器内の温度	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	1	1	1	1	②	—	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	1	1	1	1	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) により、原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	最終ヒートシンクの確保	原子炉補機冷却水サージタンク水位	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	0	2*1	2*1	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の傾向を監視により、格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		C, D—格納容器再循環ユニット相機冷却水流量	2	2	2	2	②	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	操作	C, D—原子炉補機冷却水冷却器出口相機冷却水温度	B—原子炉補機冷却水戻り母管温度	1	1	0	0	②	—	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	0	2*1	2*1	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度により最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	0	2*1	2*1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：計器故障後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
a. C, D一巻筒容器再循環 ユニットによる格納容器内目 差対応処置	原子炉格納容器 内の水素濃度	原子炉格納容器 内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1*1	0	0	0	0	5	5	0	原子炉格納容器内水素処理装置連動及び 格納容器再循環ユニット連動において 原子炉格納容器内水素処理装置及び 格納容器水素イオン交換装置の動作停止の 監視により原子炉格納容器内の水素濃 度が大幅な水素濃度が生じない監視 であることを確認可能。 監視可能であればガス分析計により水 素濃度を監視し、ガス分析計の結果に 基づき格納容器内水素濃度の代替監視 可能。 格納容器圧力 (AMH) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内温度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AMH) の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内温度により格納容器圧力 (AM H) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	0	0	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			原子炉格納容器圧力 (AMH)	2	2	0	0	0	0	1	1	0				監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器内圧力	2 (2)	2	2	1	1	1	1	1	1				

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

* 1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		SBO		
									A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			
1.7.2.1 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（交流動力電源及び原子炉補機冷却機稼働全時） (3) 代替格納容器スプレイ	原子炉圧力容器内の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器への注水量 水原の確保	原子炉圧力容器内の温度	1	1 * 1	0	②	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			2 (2)	1	1	①	—	2 (2)	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			4 (2)	1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	0	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			2	2	0	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			2	0	0	②	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			1	1	0	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			2 (2)	1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			2 (2)	1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			2 (2)	1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
			2 (2)	1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。
1.7.2.2 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（交流動力電源及び原子炉補機冷却機稼働全時） (3) 代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器への注水量 水原の確保	原子炉格納容器内の温度	1	1 * 1	0	②	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2 (2)			1	1	①	—	2 (2)	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。		
4 (2)			1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	0	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2			2	0	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2			0	0	②	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
1			1	0	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2 (2)			1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2 (2)			1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2 (2)			1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
2 (2)			1	1	①	—	2 (2)	2	2	2	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	

※ 1：常備系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

※ 2：当該ループの計器数

※ 3：当該ループの計器の合計数

※ 4：当該ループの計器数

※ 5：当該ループの計器数

※ 6：当該ループの計器数

※ 7：当該ループの計器数

※ 8：当該ループの計器数

※ 9：当該ループの計器数

※ 10：当該ループの計器数

※ 11：当該ループの計器数

※ 12：当該ループの計器数

※ 13：当該ループの計器数

※ 14：当該ループの計器数

※ 15：当該ループの計器数

※ 16：当該ループの計器数

※ 17：当該ループの計器数

※ 18：当該ループの計器数

※ 19：当該ループの計器数

※ 20：当該ループの計器数

※ 21：当該ループの計器数

※ 22：当該ループの計器数

※ 23：当該ループの計器数

※ 24：当該ループの計器数

※ 25：当該ループの計器数

※ 26：当該ループの計器数

※ 27：当該ループの計器数

※ 28：当該ループの計器数

※ 29：当該ループの計器数

※ 30：当該ループの計器数

※ 31：当該ループの計器数

※ 32：当該ループの計器数

※ 33：当該ループの計器数

※ 34：当該ループの計器数

※ 35：当該ループの計器数

※ 36：当該ループの計器数

※ 37：当該ループの計器数

※ 38：当該ループの計器数

※ 39：当該ループの計器数

※ 40：当該ループの計器数

※ 41：当該ループの計器数

※ 42：当該ループの計器数

※ 43：当該ループの計器数

※ 44：当該ループの計器数

※ 45：当該ループの計器数

※ 46：当該ループの計器数

※ 47：当該ループの計器数

※ 48：当該ループの計器数

※ 49：当該ループの計器数

※ 50：当該ループの計器数

※ 51：当該ループの計器数

※ 52：当該ループの計器数

※ 53：当該ループの計器数

※ 54：当該ループの計器数

※ 55：当該ループの計器数

※ 56：当該ループの計器数

※ 57：当該ループの計器数

※ 58：当該ループの計器数

※ 59：当該ループの計器数

※ 60：当該ループの計器数

※ 61：当該ループの計器数

※ 62：当該ループの計器数

※ 63：当該ループの計器数

※ 64：当該ループの計器数

※ 65：当該ループの計器数

※ 66：当該ループの計器数

※ 67：当該ループの計器数

※ 68：当該ループの計器数

※ 69：当該ループの計器数

※ 70：当該ループの計器数

※ 71：当該ループの計器数

※ 72：当該ループの計器数

※ 73：当該ループの計器数

※ 74：当該ループの計器数

※ 75：当該ループの計器数

※ 76：当該ループの計器数

※ 77：当該ループの計器数

※ 78：当該ループの計器数

※ 79：当該ループの計器数

※ 80：当該ループの計器数

※ 81：当該ループの計器数

※ 82：当該ループの計器数

※ 83：当該ループの計器数

※ 84：当該ループの計器数

※ 85：当該ループの計器数

※ 86：当該ループの計器数

※ 87：当該ループの計器数

※ 88：当該ループの計器数

※ 89：当該ループの計器数

※ 90：当該ループの計器数

※ 91：当該ループの計器数

※ 92：当該ループの計器数

※ 93：当該ループの計器数

※ 94：当該ループの計器数

※ 95：当該ループの計器数

※ 96：当該ループの計器数

※ 97：当該ループの計器数

※ 98：当該ループの計器数

※ 99：当該ループの計器数

※ 100：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合
a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (検数) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (検数)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (検数) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をを利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
									燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2 (1) b. 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	4	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
									ろ過水タンク水位	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
* 2：4個のうち2個は、1, 2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合
c. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による原子炉格 納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器 内の温度	1	炉心出口温度	—	—	—	0	0	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	燃料容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	—	—	—	1	1	2 (2)	2 (全)	2 (全)	1	1次冷却材温度 (広域-低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	燃料容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	—	—	—	1	1	7	7	0	0	燃料容器内高レンジェリアモニタ及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		4 (2)	原子炉格納容器 圧力 (AM用)	—	—	—	1	1	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (稼働) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は原子炉格納容器圧力 (稼働) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	2	2	4	4	1	1	格納容器内湿度 原子炉格納容器圧力 (稼働) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 への注水量	1	燃料取水ピット水位	—	—	—	1	1	2	2	1	1	燃料取水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2	補助給水ピット水位	—	—	—	2	2	2	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(f) b. (c)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を過圧監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
d. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器圧力 (熱域)	1	1	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。						
		格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。						

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(1) b. (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後		SBO影響 延命した場合		
e. 原水槽を水源とした可搬型大気送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱感) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	0	0	2	1	1	燃料取替用水レベル水位は格納容器圧力 (熱感) により格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			補助給水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	0	0	2	1	1	補助給水レベル水位は格納容器圧力 (熱感) により格納容器内温度により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1) b. (e) 「原水槽を水源とした可搬型大気送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	—	格納容器再循環サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプル水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			格納容器再循環サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	0	2	1	1	格納容器再循環サンプル水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	SBO影響		計器名称	抽出パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	抽出パラメータ 分類理由					
					A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合				A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合							
1.7.2.2 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（全交流動方電源又は原子炉補機冷却機能喪失時） (1) 格納容器内自然対流冷却	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度（広域—高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて確認。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
			2 (2)	2	1	1	①	—	—	2 (2)	2	2	1	1次冷却材温度（広域—低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） モニタリングポスト モニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。				
			2	2	0	0	③	冷却線1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—		—		
			2	2	0	0	③	後志幹線1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—		—	—	
			4	4	0	0	③	甲、乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			7 (2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			4	4	0	0	③	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			4	4	4	0	③	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	—	—	—	—	—	—		—	—	—

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を監視監視可能

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	SBO		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響					
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
a. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器許容圧力監視ユニットによる格納容器内自蒸気放熱処理	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器	格納容器内温度	2 (2)	①	-	原子炉格納容器内温度	4 (2)	4	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力(AM用)により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			C、D-格納容器許容圧力監視ユニット相隣冷却水流量	2	②	-	格納容器内温度	2 (2)	2	2	0	0		格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度の代替監視可能。
	最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンク	最終ヒートシンク	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	①	-	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度及び原子炉格納容器圧力の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
				格納容器再循環ユニット入口温度	2	①	-	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	
	操作	原子炉格納容器内の水蒸気濃度	原子炉格納容器	格納容器内水蒸気濃度	1	①	-	格納容器内水蒸気濃度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水蒸気濃度及び格納容器内水蒸気濃度監視において、格納容器内水蒸気濃度の動向特性の監視により原子炉格納容器内の水蒸気濃度が大幅な変動が生じない領域にあることを確認可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
				格納容器内水蒸気濃度	1	①	-	格納容器内水蒸気濃度	1	1	1	1	1	
	原子炉格納容器内の水蒸気濃度	原子炉格納容器	原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力	4 (2)	①	-	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
				原子炉格納容器内温度	2	①	-	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	原子炉格納容器	格納容器圧力 (AM用)	2	①	-	格納容器圧力 (監視)	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
				格納容器内温度	2	①	-	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：可搬型格納容器内水蒸気濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

* 2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	直後	A直前電源を 延命した場合	
1.7.2.2 原子炉格納容器の過圧破損防止のための対応手順（全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時） (2) 代替格納容器スプレイ a. 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	1	②	—	1次冷却材温度（広域～高温側）	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	①	—	1次冷却材温度（広域～低温側）	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3	3 (全)	3	監視事項は代替パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	2	1	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		4 (2)	①	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	7	7	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		1	①	—	モニタリングポスト	1	1	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		1	①	—	モニタリングシステムモニタ	1	1	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	2	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	①	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	1	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	①	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	2	2	1	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		2	①	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	2	2	1	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
水櫃の確保	2 (2)	①	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	2 (2)	①	—	補助給水ピット水位	2	2	1	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を遠隔監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数			
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合	直後					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					
a. 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電圧	始動線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	始動線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却排水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—		
			判断基準	機械監視機能		「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち, 1.6.2.2 (2) a. (a) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。												
						全: すべてのループの計器の合計数 A(B,C): 当該ループの計器数												
操作			「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち, 1.6.2.2 (2) a. (a) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。															

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO
				A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合			A電源を 延命した場合	B電源を 延命した場合		
b. B-格納容器スプレイポンプ(自己作動)による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器 初心出口温度	1	1*1	0	—	—	—	—	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		燃料容器内高レンジェリアモ ニタ(高レンジ)	2	1	1	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器 圧力	4	1	1	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	0	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器への注水量	燃料取替用水ピット水位	2	1	0	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位	2	1	0	—	—	—	—	—	—

全: オブセのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響						
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
b. B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ	電源	電圧	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			後志線線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲巻線電圧, 乙巻線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			判断基準	抽機監視機能	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち, 1.6.2.2 (2) a., (b) 「B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。													
					操作													

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			
					A直流電源を 駆動した場合	B交流電源を 駆動した場合					計器数 直後	A直流電源を 駆動した場合		B交流電源を 駆動した場合
c. ディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1 * 1	0	—	—	—	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。	SBO 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	—	2 (2)	2 (1)	1	1次冷却材温度 (広域-低温度) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	—	—	—	2 (2)	2 (2)	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	—	—	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングシステムの指示により炉心温度の監視が可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	水脈の確保	ろ過水タンク水位	4	2 * 2	0 * 2	—	—	—	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 及びモニタリングシステムの指示により炉心温度の監視が可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：常用系から系統を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
* 2：4個のうち2個は、1, 2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価						
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
6. ディーゼル駆動ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	電源	電源	送給線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲巻線電圧, 乙巻線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			抽機監視機能	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等の手順等」のうち、1.6.2.2 (2) a., (c) 「ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。														

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称		計器数 ()内はPAM		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					
d. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による原子炉格 納容器内へのスプレイ	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	初心出口温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			格納容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。			
	原子炉格納容器 内の放射線量率	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	—	—	—	—	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			モニタリングポスト	7	0	0	—	—	モニタリングポスト	7	0	0	0			
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (装設) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器圧力 (装設)	1	0	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (装設)	1	0	0	0			
	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	格納容器内湿度	2 (2)	2	2	1	1	—	格納容器内湿度	2 (2)	2	1	1	格納容器内湿度/圧力の関係を利用して格納 容器内湿度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (装設) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	B—格納容器スプレイ流量	1	0	0	—	—	—	格納容器内湿度	2 (2)	2	1	1	格納容器内湿度/圧力の関係を利用して格納 容器内湿度により原子炉格納容器圧力 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	本器である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視によりB—格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	
原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	2	本器である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視によりB—格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		
原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視によりB—格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	1	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	2	本器である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視によりB—格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ																	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			計器故障等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合							
4. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による原子炉格 納容器内へのスプレィ	電源	機器監視機能	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲線電圧, 乙線電圧	4	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			判 断 基 準		「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2 (2) a., (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレィ」の操作手順と同様である。														
			操 作																

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
e. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	格納容器圧力 (熱域)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力 (熱域)	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により原子炉格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
判断基準	原子炉格納容器への注水量	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(2) a. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内への注水量	1	1	0	—	—	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内への注水量	2 (2)	2	1	1	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内への注水量の傾向監視により原子炉格納容器内への注水量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内への注水量	1	1	0	—	—	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内への注水量	2 (2)	2	1	1	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内への注水量の傾向監視により原子炉格納容器内への注水量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直前電源を 延命した場合
f. 原水槽を水源とした可搬型大気送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力 (熱域)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		燃料取替用水レベル流量	1	1	0	0	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj利用して格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	水源である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	水源である燃料取替用水レベル水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
		原子炉格納容器への注水量	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
		—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
		—	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	2	1	水源である燃料取替用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
		—	—	—	—	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.2(2) a. (f)「原水槽を水源とした可搬型大気送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」の操作手順と同様である。	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響					
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
I.S.2.1 原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 (1) 交流動力電源及び原子炉制御令切離機能が健全である場合の手順 * 格納容器スプレイ	原子炉圧力容器 内の温度 原子炉格納容器 内の温度 原子炉格納容器 内の圧力 原子炉格納容器 内の圧力 原子炉格納容器 内の水位	炉心出口温度 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 原子炉格納容器 内の圧力 原子炉格納容器 内の水位	1	1 * 1	0	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。		
			2 (2)	1	1	①	—	4 (2)	4	4	1	1次冷却材温度 (広域-低域) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
			4 (2)	1	1	①	—	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
			2	2	0	①	—	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			2	2	0	①	—	4 (2)	4	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			2	2	0	①	—	2 (2)	2	2	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			2	2	1	①	—	2 (2)	2	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が得られる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			2 (2)	1	1	①	—	1	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			2 (2)	2	1	①	—	2 (2)	2	2	1	1	燃料取替用水レベル水位	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			2 (2)	2	1	①	—	2 (2)	2	2	1	1	補助給水レベル水位	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			1	1	0	—	—	1	1	1	0	0	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			1	1	0	—	—	1	1	1	0	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。

* 1 : 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
(a) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	判 断 基 準	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングガスステーションの指示のメータにて 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているか否かを推定可能。
			モニタリングガスステーション	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響					
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合		B交流電源を 延命した場合		
(a) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内温度	2 (2)	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。		
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	操 作	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
				原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
				格納容器水位	1	1	1	①	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
				燃料取替用水ピット水位	2	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水調整室であ るB-1格納容器スプレイポン出口積 算流量 (AM用)、格納容器スプレ イポン出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
				補助給水ピット水位	2 (2)	2	2	①	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水調整室であ るB-1格納容器スプレイポン出口積 算流量 (AM用)、格納容器スプレ イポン出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
				B-1格納容器スプレイポン出口 積算流量 (AM用)	1	1	1	①	—	B-1格納容器スプレイポン出口積算 流量 (AM用)	1	1	1	0	0	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水調整室であ るB-1格納容器スプレイポン出口積 算流量 (AM用)、格納容器スプレ イポン出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
代替格納容器スプレイポン 出口積算流量	1	1	1	①	—	代替格納容器スプレイポン 出口積算流量	1	1	1	0	0	水廊である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水調整室であ るB-1格納容器スプレイポン出口積 算流量 (AM用)、格納容器スプレ イポン出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。				

全: オブジェクトのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響																		
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM		A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合														
(a) 格納容器スプレイポン プによる原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の水位		1	原子炉下部キャピタリ水位	①	-		0	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) に より原子炉下部キャピタリ水位の代替 監視可能。														
				燃料取替用水レベル水位										0	1	2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) に より原子炉下部キャピタリ水位の代替 監視可能。							
				補助給水レベル水位																	0	1	2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 燃料取替用水レベル水位、注水量、注水 開始水位、注水停止量、注水停止量、注 水停止量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。
				B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)																							
	代替格納容器スプレイポン 出口積算流量	0	1	1	0	0	0	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 燃料取替用水レベル水位、注水量、注水 開始水位、注水停止量、注水停止量、注 水停止量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。																			
	燃料取替用水レベル水位								2	0	1	2	1	2	1	2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 燃料取替用水レベル水位、注水量、注水 開始水位、注水停止量、注水停止量、注 水停止量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。							
		格納容器スプレイ流量	0	1	2	1	2	1													2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 燃料取替用水レベル水位、注水量、注水 開始水位、注水停止量、注水停止量、注 水停止量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 への注水量								1	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	①	-		0	1	2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 燃料取替用水レベル水位、注水量、注水 開始水位、注水停止量、注水停止量、注 水停止量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。							
			燃料取替用水レベル水位	2	0	1	2	1													2	1	2	1	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧域) の 燃料取替用水レベル水位、注水量、注水 開始水位、注水停止量、注水停止量、注 水停止量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。
	水銀の確保		2						燃料取替用水レベル水位	①	-		1	1	2	1	2	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位 (圧域) により燃料取替用水レベル 水位の代替監視可能。								
B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)				0	1	0	0	0												0	0	0	0	0	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算 流量 (AM用) 及び格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の注水量の合計により、水 銀の有無や使用量を推定可能。		
格納容器スプレイ流量		2	格納容器再循環サンプ水位						①	-		1	1	2	1	2	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位 (圧域) により燃料取替用水レベル 水位の代替監視可能。									
				B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	0	1	0	0											0	0	0	0	0	0	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算 流量 (AM用) 及び格納容器スプレ イポン出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の注水量の合計により、水 銀の有無や使用量を推定可能。		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ											評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		SBO		
1.8.2.1 原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 a. 交流動力電源及び原子炉組立機が健全である場合の手順 b. 代替格納容器スプレイン	原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための対応手順 a. 交流動力電源及び原子炉組立機が健全である場合の手順 b. 代替格納容器スプレイン	原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための対応手順 a. 交流動力電源及び原子炉組立機が健全である場合の手順 b. 代替格納容器スプレイン	炉心出口温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温)	3 (3)	3 (全)	3	0	1次冷却材温度 (広域-高温) により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の放熱線量率	2 (2)	2	1	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域-低域)	3 (3)	0	3	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低域) により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	2 (2)	2	1	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングガス分析及びモニタリングシステムアラームの指示により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	2 (2)	2	1	1	1	①	—	モニタリングガス分析	7	7	0	0	モニタリングガス分析により炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	2 (2)	2	1	1	1	①	—	モニタリングシステムアラーム	1	1	0	0	モニタリングシステムアラームにより炉心出口温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器内の温度	2 (2)	2	1	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。
		原子炉格納容器内の温度	4 (2)	4	1	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	2	2	2	0	0	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。
		原子炉格納容器内の温度	2	2	2	0	1	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。
		原子炉格納容器内の温度	2	2	2	0	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	予測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器内温度の代替監視可能。
		原子炉格納容器内の温度	2	2	2	0	1	①	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
① 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位 判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器下部積水水位 (広域)	2 (2)	2	1	①	-	格納容器下部積水水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	前記範囲内であれば逆流的な水位がで きる格納容器下部積水水位(狭 域)により格納容器下部積水水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
									原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器下部積水水位 (広域)の代替監視可能。		
									格納容器水位	1	1	0	0			
									燃料取扱用水レベルット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベルット水位、 補助給水レベルット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイポンプ出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 下部積水水位 (広域) の代替監視 可能。		
									補助給水レベルット水位	2 (2)	2	1	1			
									B-格納容器スプレイポンプ 出口積算流量 (AM田)	1	1	0	0			
									代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0			

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	評価	SBO
① 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	0	②	—	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	1	①	—	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	1	1	1	水漏である燃料取扱用水ビット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			補助給水ビット水位	2 (2)	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
	水源の確保	水源の確保	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	1	①	—	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	1	1	1	水漏である燃料取扱用水ビット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			補助給水ビット水位	2 (2)	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	SBO影響 B交流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	SBO影響 B交流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			
												計器名称	抽出パラメータ 分類
(a) 代替格納容器スプレ イポンプによる原子炉格納容 器下部の注水	原子炉格納容 器内の温度	原子炉格納容 器内の温度	2 (2)	1	1	4 (2)	1	1	4 (2)	1	1	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度 格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (AM用) 格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (監視) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
			4 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (監視)	
	原子炉格納容 器内の圧力	原子炉格納容 器内の圧力	2	2	0	4 (2)	0	0	2 (2)	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
			2	2	0	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (監視) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
	操 作	原子炉格納容 器内の水位	原子炉格納容 器内の水位	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	格納容器内温度 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用) 代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量
				2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	測定範囲内であれば連続的な格納が できる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
				2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
				2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
				2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
				2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	水筒である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容 器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。

全: オブジェクトのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
④ 代替格納容器スプレインポンプによる原子炉格納容器下部への注水	操作	原子炉格納容器内の水位	原子炉下部キャビティ水位	1	0	①	—	格納容器下部キャビティ水位 (熱域)	2 (2)	2	1	1	格納容器下部キャビティ水位 (熱域) に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
								燃料取扱用水レベル	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水流量である B一格納容器スプレイン格納容器スプレ イン流量 (AM用)、代替格納容器スプレ インポンプ出口流量流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。	
								補助給水レベル	2 (2)	2	1	1		
								B一格納容器スプレインポンプ 出口流量 (AM用)	1	1	1	0		
								代替格納容器スプレインポンプ 出口流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	①	—	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	2	1	1	1	水源である燃料取扱用水ビット水位及び補助給水ビット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	①	—	補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	1		
	電源	代替炉非常用発電機電圧、電 力、周波数	6	6	0	③	代替炉非常用発電機の運 転状態を監視するパラ メータ	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	—
		6-A、B母線電圧	4 (2)	4	1	③	非常用高圧母線の受電 状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	
操作	水源の確保	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	注水先である格納容器再循環ポンプ水 位 (広域) により燃料取扱用水ビット 水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	①	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算 流量の燃料取扱用水ビット水位を水源 とするポンプの注水量により、水源の 有無や使用量を推定可能。		
	補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により補助給水ビット水位の 代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
補機監視機器	代替格納容器スプレイポンプ 出口圧力	1	1	1	③	代替格納容器スプレイ ポンプの運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器種類等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(b) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温側)	3 (3)	0	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			2 (2)	1	1	—	—	モニタリングポスト	7	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			4 (2)	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	2	2	0	—	—	格納容器圧力 (AM用)	1	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		2	2	0	—	—	格納容器圧力 (熱駆)	2	2	1	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価										
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合										
(5) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	前記範囲内であれば連続的な能力が得られる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	SBO						
																	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
																	格納容器水位	1	1	0		
																	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、補助給水レベル水位、注水積算量であるB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
																	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	
																	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0	
																	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 遮断した場合	B直流電源を 遮断した場合	直後		SBO影響 A直流電源を 遮断した場合	B直流電源を 遮断した場合
(b) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	SBO 監視事項は 主要パラメータにて 確認。
	水源の確保	ろ過タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	—	—	補助給水ピット水位 格納容器再循環タンク水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環タンク水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

* 1 : 4種のうち2個は、1、2号中央制御室に確認する。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
(b) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 格納容器内温度	2 (2)	—	—	2	1	1	—	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	4	1	1	—	2 (2)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器内温度	2 (2)	—	—	2	1	1	—	2 (2)	2	1	1	原子炉格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	2	2	0	—	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響				
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			B交流電源を 延命した場合
(b) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	2	1	2	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視が できる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉下部キャビティ水位	1			1	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			格納容器水位	1			1	1	1	0	0		
			燃料取扱用水レベル水位	2 (2)			2	1	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量に基づき格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
			補助給水レベル水位	2 (2)	1	1	2	1	2	1	1		
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1			1	1	1	0	0		
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1			1	1	1	0	0		
			ろ過水タンク水位	4			2 * 1	0 * 1	2 * 1	0 * 1	0 * 1	ろ過水タンク水位の傾向監視により格 納容器再循環サンプ水位 (広域) の代 替監視可能。	
			AM用消火水積算流量	1			1	0	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 代替監視可能。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	
			燃料取扱用水レベル水位	2 (2)			2	1	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量に基づき原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。	
			補助給水レベル水位	2 (2)			2	1	2	1	1		
B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1			1	1	1	0	0					
代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1			1	1	1	0	0					
ろ過水タンク水位	4			2 * 1	0 * 1	2 * 1	0 * 1	0 * 1	ろ過水タンク水位の傾向監視により原 子炉下部キャビティ水位の代替監視可 能。				
AM用消火水積算流量	1			1	0	1	0	0	AM用消火水積算流量の傾向監視により 原子炉下部キャビティ水位の代替監視 可能。				
原子炉格納容器 への注水量	1			1	0	1	0	0 * 1	ろ過水タンク水位の傾向監視 によりAM用消火水積算流量の代替監視 可能。				
水源の確保	4			2 * 1	0 * 1	2 * 1	0 * 1	0 * 1	格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の 傾向監視によりAM用消火水積算流量の 代替監視可能。				

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：4個のうち2個は、1、2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称		直後
(c) 雑水を用いた可搬型大 四送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側)	3 (3)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域—低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	格納容器内高レンンジエリアモ ニタ (高レンンジ)	2 (2)	2	1	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	7	0	0	モニタリングタポストにより炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。		
(c) 雑水を用いた可搬型大 四送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
(c) 雑水を用いた可搬型大 四送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
(c) 雑水を用いた可搬型大 四送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
(c) 雑水を用いた可搬型大 四送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングタポスト	1	0	0	格納容器内高レンンジエリアモニタ (低 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	
(C) 海水を用いた可搬大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	—	—	水筒である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1		水筒である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	—	—	—	—	水筒である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	1	1	0	0		水筒である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	—	—	水筒である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1		水筒である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			補助給水ピット水位	1	1	—	—	—	—	水筒である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	1	1	0	0		水筒である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	1	1	0	0		格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	2 (2)	2	1	1		燃料取替用水ピット水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			補助給水ピット水位	1	1	—	—	—	—	補助給水ピット水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	1	1	0	0		補助給水ピット水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
(C) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	—	—	—	2	1	—	—	4	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	—	4	1	—	—	2	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	—	2	2	—	—	2	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価												
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器															
			計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響													
						A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合		B交流電源を 延命した場合											
(c) 海水を用いた可搬型大 間送水ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 への注水量	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	-	-	-	2	1	2	1	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
							1	0	1	0	1	0	1			0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。				
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	1	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。
							1	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。
							2 (2)	1	-	1	1	2	1			2	1	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称		直後	A直前電源を 延命した場合
(G) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1 * 1	0	-	-	1	3 (3)	3 (全)	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2 (1)	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	1	1	-	-	2	4 (2)	4 (2)	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		格納容器内温度	4 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2 (2)	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	2	2	0	-	-	2	2 (2)	2 (2)	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。
		格納容器内圧力 (AM用)	2	2	0	-	-	2	2 (2)	2 (2)	1	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価							
		分類	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO					
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称			計器数 ()内はDPM	直後	A:直流電源を 延命した場合 B:交流電源を 延命した場合		
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	規定範囲内であれば通常の監視が及ぶ。格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要ハタ メータにて 確認。		
			原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
			格納容器水位	1	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	—			
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1		—	
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)	1	—	—	—	B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0		—	
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		—	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1		1	水源である燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	0	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1		1	—
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1		1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大流量水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内温度	2 (2)	—	—	—	2	1	1	—	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	—	4	1	1	—	2	2	2	0	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内圧力	2 (2)	—	—	—	2	0	0	—	2 (2)	2	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	—	2	2	0	—	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器内温度	2 (2)	—	—	—	2	0	0	—	2 (2)	2	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	—	2	2	0	—	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器内圧力	2 (2)	—	—	—	2	2	0	—	2 (2)	2	1	1	原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			計器数 ()内はDPM	SBO影響				
									A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	2	1	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	0	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
			格納容器水位	2 (2)	—	—	格納容器水位	2 (2)	1	1	1	2	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	—	—	格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	1	1	0	0		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1	—	—	代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	1	1	0	0		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	2	1	1	1		水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレィ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ ィポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。
			代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1	—	—	代替格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	1	1	0	0		水源である燃料取替用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレィポンプ出口積 算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合
(a) 原水槽を水溜とした可 搬型大型排水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	判断 基準	原子炉格納容器 内の温度	1	1 * 1	0	-	-	1	3 (3)	3 (全)	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 代替パラメ ータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	-	-	-	2	4 (2)	4	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	1	1	-	-	-	2	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器 内の圧力	2	2	0	-	-	2	4 (2)	4	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器種類等	SBO																																																															
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			直後	遅延																																																																	
(c) 原水槽を水源とした可 搬得大流量ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	判断 基準	原子炉格納容器 内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	-	-	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																												
																原子炉下部キャビティ水位	1	1	-	-	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。																																																						
																						格納容器水位	1	1	-	-	格納容器水位																																																
																												燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。																																										
																																		補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。																																				
																																								B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用) により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。																														
																																														代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量																								
																																																				燃料取替用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位及 び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。																		
																																																										補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	補助給水レベル水位、注水積算量によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。												
																																																																格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。						
																																																																						原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度 の代替監視可能。
原子炉格納容器圧力 (狭域)	2	2	0	0	格納容器圧力 (狭域) により格納容器内温 度の代替監視可能。																																																																						
						格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温 度の代替監視可能。																																																																
												原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (狭域) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (狭域) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。																																																										
																		原子炉格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	格納容器圧力 (狭域) により格納容器内温 度の代替監視可能。																																																				
																								格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納 容器内温度により格納容器圧力 の代替監視可能。																																														
																														原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (狭域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。																																								
																																				格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	格納容器圧力 (狭域) の代替監視可能。																																		
																																										格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納 容器内温度により格納容器圧力 (AM 用) の代替監視可能。																												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B.交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	SBO影響 B.交流電源を 延命した場合	計器名称等	SBO
(c) 原水槽を水源とした可搬型大流量送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位 (狭 域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 備置。
				1	1	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
				2 (2)	2	1	—	格納容器水位	1	1	0	格納容器水位		
				2 (2)	2	1	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。	
				1	1	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ			
				2 (2)	2	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。	
				2 (2)	2	1	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。	
				1	1	0	—	補助給水ピット水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。	
				2 (2)	2	1	—	代替格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	0	代替格納容器スプレイ冷却器	
				2 (2)	2	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
水原の確保	2次系純水タンク水位	2次系純水タンク水位	2	1	1	—	2次系純水タンク水位	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 備置。		
			1	1	0	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	代替格納容器スプレイポンプ		
			4	2 * 1	0 * 1	—	ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	ろ過水タンク水位		

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数
*: 1, 2号中央制御室に備置、1, 2号中央制御室に備置する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響 直後	SBO影響 延命した場合			
1.8.2.1 原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心の冷却のための対応手順 (2) 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順 * 代替格納容器スプレイン (a) 代替格納容器スプレインポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	炉心出口温度	②	—	0	1 * 1	1	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	①	—	1	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	測定範囲内であれば自動的に駆動が、できる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉下部キャビティ水位	1	原子炉下部キャビティ水位	—	—	—	1	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		燃料取替用水ピット水位	2	燃料取替用水ピット水位	①	—	1	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水装置等である注水一格納容器スプレイン格納容器出口流量計重 (適用)、代替格納容器スプレインポンプ出口流量計重により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		B一格納容器スプレイン冷却器出口積算流量 (AM用)	1	代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	—	—	—	1	1	1	1	0	—	—
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	①	—	1	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関係数により格納容器再循環サンプ水位 (狭域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	①	—	1	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	①	—	1	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	—	—
	水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	補助給水ピット水位	①	—	1	2	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	—	—

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数
A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	電源	電源	注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	注時線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を監視する パラメータ	—	—	—	—	—	—	

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価					
		抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称						
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉圧力容器内の圧力	SBO影響		①	-	-	計器数	4	加圧器圧力	4	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力(広域)の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
		A直流電源を 延命した場合	2				1次冷却材圧力(広域)	1	1	3	1次冷却材圧力(広域-高圧側) 1次冷却材圧力(広域-低圧側)	3	
	原子炉圧力容器内の水位	SBO影響		①	-	-	計器数	4	サブクール度	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		A直流電源を 延命した場合	4				加圧器水位	1	1	2	1次冷却材圧力(広域) 1次冷却材温度(広域-高圧側)	2	
	原子炉格納容器内の温度	SBO影響		①	-	-	計器数	2	原子炉格納容器圧力	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		A直流電源を 延命した場合	2				格納容器内温度	2	2	0	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用)	2	
	原子炉格納容器内の圧力	SBO影響		①	-	-	計器数	4	原子炉格納容器圧力	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		A直流電源を 延命した場合	4				原子炉格納容器圧力	1	1	0	格納容器圧力 (熱束) 格納容器内温度	2	
	原子炉格納容器内の圧力	SBO影響		①	-	-	計器数	2	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		A直流電源を 延命した場合	2				格納容器圧力 (AM用)	1	0	0	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (熱束)	1	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶解炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		SBO			
					直後	A直前電源を 延命した場合					B直前電源を 延命した場合	直後			A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	溶解炉心の確保	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)		①	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1,2 (6)	3 (全)	1,2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	計測範囲内であれば蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器水位 (広域) の代替監視可能。	
			1次冷却材温度 (広域-低温度側)		3 (全)		①	—	1次冷却材温度 (広域-低温度側)	3 (3)	0 (全)	3 (全)	0 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-低温度側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
	判 断 基 礎	溶解炉心の確保	蒸気発生器水位 (狭域)	1,2 (6)	3 (全)		①	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	相関関係のある蒸気発生器水位 (広域) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
			補助給水量	3 (3)		①	—		1次冷却材温度 (広域-低温度側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-低温度側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
	操 作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	1 (B)	①	—		補助給水位	2 (2)	2 (全)	2 (全)	1 (全)	1	水温である補助給水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
			原子炉格納容器圧力	4 (2)	1 (A, C)		—		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	2 (A, C)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
	操 作	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内温度	2 (2)	1 (B)	①	—		蒸気発生器水位 (狭域)	1,2 (6)	3 (全)	1,2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
			格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	1 (A, C)		—		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1 (全)	4 (全)	1 (全)	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は最終ヒートシンクの傾向監視可能。
	操 作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	①	—		格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) により原子炉格納容器内温度の代替監視可能。
			原子炉格納容器圧力 (狭域)	2	0		—		格納容器内温度	2 (2)	1	0	1	0	0	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
操 作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	①	—		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	4 (全)	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器内温度	2 (2)	0		—		格納容器内温度	2 (2)	1	0	1	0	0	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A,B,C：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		計器設備等	SBO	
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			直後	直後			
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の水位	操作	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	①	-	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2	1	2	1	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位 (広域) の代替監視 可能。 格納容器再循環サンプ水位 (広域) に より原子炉下部キャビティ水位の代替 監視可能。 水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャビティ水位の代替監視可能。
									1	1	1	0	1	0	
									2	1	2	1	2	1	
									2	1	2	1	2	1	
									1	1	1	1	1	0	
									1	1	1	1	1	0	
									2	1	2	1	2	1	
									2	1	2	1	2	1	
									2	1	2	1	2	1	
									1	1	1	1	1	0	
									1	1	1	1	1	0	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 A:直流電源を 遮断した場合 B:交流電源を 遮断した場合				
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉格納容器 下部への注水	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	1	①	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	燃料取替用水ピット水位及び 補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口超 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1	0	—	2 (2)	補助給水ピット水位	2 (2)	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
			2 (2)	1	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	注水先である格納容器再循環ポンプ水 位 (広域) により燃料取替用水ピット 水位の代替監視可能。		監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2 (2)	1	—	1	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算 流量の燃料取替用水ピット水位を水源 とするポンプの注水量により、水源の 有無や使用量を推定可能。		
水原の確保	水原の確保	水原の確保	2 (2)	①	—	2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 傾向監視により補助給水ピット水位の 代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1	1	—	1	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算 流量である補助給水ピットを水源とす るポンプの注水量の合計により、水源 の有無や使用量を推定可能。		
補機監視機能	補機監視機能	補機監視機能	1	③	代替格納容器スプレイ ポンプの運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合 直後	1 * 1	0	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A.直流電源を 延命した場合		B.交流電源を 延命した場合
(b) B-格納容器スプレ イホンプ (口圧冷却) による原 子炉格納容器下部への注水	原子炉圧力容器 内の温度	初心出口温度	1	1 * 1	0	-	-	1	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2 (1)	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内温度	2 (2)	1	1	-	-	2	4 (2)	4 (1)	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉格納容器 内の水位	格納容器許容積サンプル水位 (広域)	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2 (1)	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
判断基準	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器許容積サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	-	-	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器許容積サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
		格納容器水位	1	1	1	-	-	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器許容積サンプル水位 (広域) の代替監視可能。	
		燃料取扱用水レベル	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2 (1)	1	水筒である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイホンプ出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イホンプ出口積算流量により格納容器 許容積サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。	
		補助給水レベル	2 (2)	1	1	-	-	2	2 (2)	2 (1)	1	水筒である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイホンプ出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イホンプ出口積算流量により格納容器 許容積サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。	
		B-格納容器スプレイホンプ 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	-	-	1	1	1	0	水筒である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイホンプ出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イホンプ出口積算流量により格納容器 許容積サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。	
		代替格納容器スプレイホンプ 出口積算流量	1	1	1	-	-	1	1	1	0	水筒である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイホンプ出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イホンプ出口積算流量により格納容器 許容積サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。	
		格納容器許容積サンプル水位 (広域)	1	1	1	-	-	1	1	1	0	水筒である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイホンプ出口積 算流量 (AM用)、代替格納容器スプレ イホンプ出口積算流量により格納容器 許容積サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。	

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全 : すべてのループの計器の合計数
A (0, C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			計器設備等	SBO	
				直後	A直流電源を 延命した場合					B交流電源を 延命した場合	直後				A直流電源を 延命した場合
(b) B-格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容 器への注水量	原子炉格納容 器下部の注水量	1	1	0	—	—	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				0	—	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1		
	原子炉格納容 器内の圧力	原子炉格納容 器内の注水量	4 (2)	4	1	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				1	—	—	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0		
				—	—	—	—	—	格納容器圧力 (狭域)	1	1	1	0		
水源の確保	原子炉格納容 器内の圧力	2 (2)	2	2	—	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1			
			2	0	—	—	—	—	格納容器圧力 (狭域)	1	1	1	0		
			2	1	—	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1		
			2	1	—	—	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	—	—	—	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					抽出パラメータ					評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	直流電源を 延命した場合 直後	計器故障等	SBO			
(b) B-格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器下部への注水	電源		注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量	4	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			抽機監視機能														

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合		
(b) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却)による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	原子炉格納容器内温度	-	-	2	1	1	4	1	4	1	1	原子炉格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		2 (2)	原子炉格納容器内温度	-	-	2	2	0	2	2	2	2	0	原子炉格納容器内温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の圧力	4 (2)	原子炉格納容器圧力	-	-	4	1	1	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		2 (2)	格納容器内温度	-	-	2	2	0	2	2	2	1	1	原子炉格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。		
	操作	原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	格納容器圧力 (AM用)	-	-	2	2	0	4	1	4	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			2 (2)	格納容器内温度	-	-	2	2	1	2	2	2	1	1		原子炉格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	-	-	2	1	1	2	2	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	原子炉下部キャビティ水位	-	-	1	1	0	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。		
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	-	-	2	2	1	2	2	2	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水調整室であるB-格納容器スプレイポンプ出口流量 (AM用)、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			2 (2)	補助給水ピット水位	-	-	2	2	1	2	2	2	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水調整室であるB-格納容器スプレイポンプ出口流量 (AM用)、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域)		2 (2)	原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域)	-	-	2	2	1	2	2	2	1	1	原子炉格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		1	出口積算流量	-	-	1	1	0	1	1	1	0	0	出口積算流量の代替監視可能。		

全: オブserveのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器設備等								
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合									
(b) B-格納容器スプレ イポンプ(自己冷却)による原 子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容 器内の水位	原子炉下部キャピタリ水位	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。							
														燃料取替用水レベル水位	2	2	1	1	燃料容器再循環サンプ水位(広域)に より原子炉下部キャピタリ水位の代替 監視可能。	
														補助給水レベル水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水流量である B-格納容器スプレイポンプ出口積算 流量(AM用)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により原子炉下 部キャピタリ水位の代替監視可能。	
														B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量(AM用)	1	1	1	0		
	原子炉格納容 器への注水量	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
															燃料取替用水レベル水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視によりB-格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。
															格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 水位変化によりB-格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。
															燃料取替用水レベル水位	2	2	1	1	水源である燃料取替用水レベル水位の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イポンプ出口積算流量(AM用)の代替 監視可能。
	補機冷却	B-格納容器スプレイ冷却器 電動機冷却水流量	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
															格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の 傾向監視によりB-格納容器スプレ イポンプ出口積算流量(AM用)の代替 監視可能。
水源の確保	燃料取替用水レベル水位	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。						
															格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水 位(広域)により燃料取替用水レベル 水位の代替監視可能。

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器候補等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の温度	原子炉圧力容器	初心出口温度	1	1 * 1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	0 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器	格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (1)	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器	格納容器内温度	2 (2)	1	1	-	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4 (1)	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	-	-	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器	格納容器内温度	2 (2)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	2 (2)	2 (1)	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は原子炉格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	2 (2)	2 (1)	1	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ						評価																					
		分類	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO																			
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 遮断した場合			B直流電源を 遮断した場合																		
(c) 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器内水位 (広域)	格納容器内水位 (広域)	格納容器内水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	2	1	1	規定範囲内であれば連続的な変動がで きる格納容器内水位 (狭域) により格納容器内水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。															
															原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器内水位 (広域) の代替監視可能。										
															格納容器水位	1	1	0	格納容器水位										
															燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	2 (2)	1	1	水質である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量により格納容器 内水位 (広域) の代替監視 可能。						
															補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	2 (2)	1	1	水質である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量により格納容器 内水位 (広域) の代替監視 可能。						
															B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算量 (AM田)	1	1	0	0	1	1	0	水質である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量により格納容器 内水位 (広域) の代替監視 可能。						
															代替格納容器スプレイポンプ 出口積算量	1	1	0	0	1	1	0	水質である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイ冷却器出口積 算量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量により格納容器 内水位 (広域) の代替監視 可能。						

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	SBO影響		補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	SBO		
						A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				直後	直後				
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口種別流量	1	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口種別流量の代替監視可能。	監視事項は 主要なパラメータにて 確認。		
			4	2 * 1	0 * 1	—	—	ろ過水タンク水位	—	—	—	—				
			2	2	0	—	—	治験線 1 L 電圧, 2 L 電圧	—	—	—	—			—	
	電源	—	—	2	2	0	—	—	後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	—	—	—	—	—	—	
				4	4	0	—	—	甲母線電圧, 乙母線電圧	—	—	—	—	—	—	
				7 (2)	7	1	—	—	6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	—	—	—	—	—	—	—
				3	3	0	—	—	原子炉補機冷却水供給母管流量	—	—	—	—	—	—	—
	補機並出機部	—	—	2	2	0	—	—	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	—	—	—	—	—	—	
				4	4	0	—	—	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	—	—	—	—	—	—	
				4	4	4	—	—	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	—	—	—	—	—	—	
操作	1.8.2.1(d) b, (c)	「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：4個のうち2個は、1, 2号中央部降蓋に設置する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合		
(d) 雑水を用いた可搬型大 流量ポンプ車による原子炉 格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	0	3 (全)	1	1次冷却材温度 (広域-低温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモ ニタ	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内温度	2 (2)	1	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力/圧力の関係を利用して原子 炉格納容器圧力により格納容器内温度 の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	1	—	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (熱域) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			原子炉格納容器圧力 (熱域)	1	0	—	—	—	格納容器圧力 (熱域)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温 度の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内温度	2 (2)	2	1	—	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (熱域) により原子炉格納容器圧 力の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (熱域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価											
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器															
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合										
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	判断基準	原子炉格納容器内の水位	格納容器下部積水サンプル水位 (広域)	2 (2)	1	1	-	-	格納容器下部積水サンプル水位 (広域)	2 (2)	2	1	0	測定範囲内であれば連続的な変動がで きる格納容器下部積水サンプル水位 (狭 域) により格納容器下部積水サンプル水位 (広域) の代替監視可能。									
									原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器下部積水サンプル水位 (広域) の代替監視可能。										
									格納容器水位	1	1	0											
									燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1		水源である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算量であ るB-1格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量により格納容器 下部積水サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。								
									補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1										
									B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0										
									代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0										

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器仕様等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器下部の注水量	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイト流量	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			B-1格納容器スプレイト冷却器 出口流量計 (AMH)	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1				
			燃料取扱用水ピット水位	2	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1				
			格納容器再循環サンプ水位	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1				
			電源	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	
			燃料取扱用水ピット水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	
			格納容器再循環サンプ水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	
			格納容器再循環サンプ水位	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—
原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
補機冷却器	1.8.2.1(d) b, (c)	「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同等である。															

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器候補等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合		
(6) 代替給水セットを水源 とした可搬型大型送水ポンプ 車による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	初心出口温度	1	1 * 1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	1	1	-	-	1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器 内の温度	原子炉格納容器 内の温度	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内温度	2 (2)	1	1	-	-	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	1	1	-	-	原子炉格納容器圧力	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内温度	2 (2)	2	2	-	-	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価									
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				計器数 ()内はPAM		計器名称								
			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO影響											
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	-	-	-	-	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	1	0	0	規定範囲内であれば連続的な供給が得られる格納容器再循環サンプ水位 (広域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
											1	1	0	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。			
											2	1	1	0	格納容器水位	1	1	0			
											2	1	1	1	燃料取扱用水ピット水位	2	1	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
											2	1	1	1	補助給水ピット水位	2	1	1	1		
											2	1	1	0	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)	1	1	1	0		
											1	1	1	0	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0		

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					直後	直後		
(e) 代替給水ピットを水源 とした可搬型大型送水ポンプ 車による原子炉格納容器下部 への注水	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料取扱用水ピット水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	0	-	燃料容器再循環タンク水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 水位変化によりB-1格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料取扱用水ピット水位の傾向 監視によりB-1格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			注線1 L電圧, 2 L電圧	2	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	
			後志幹線1 L電圧, 2 L電圧	2	0	-	-	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	1	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	-	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	-	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。	
原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	-	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	燃料容器再循環タンク水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イ流量の代替監視可能。				
操作	L.8.2.1 (f) b, (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水」と同様である。													

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	
(f) 取水槽を水源とした可 搬式大型排水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の温度	1	炉心出口温度 (低)	—	—	—	0	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		3	炉心出口温度 (広域—高温 側)	—	—	—	0	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	—	—	—	1	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。
		2 (2)	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	—	—	—	1	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (高 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。
	原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	格納容器内温度	—	—	—	1	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して原子 炉格納容器内温度 の代替監視可能。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	1	—	4 (2)	4 (2)	4 (2)	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して原子 炉格納容器内温度 の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器圧力 (AM用)	—	—	—	1	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (熱線) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	1	—	4 (2)	4 (2)	4 (2)	0	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (熱線) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器内温度	—	—	—	1	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納 容器内温度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	1	—	4 (2)	4 (2)	4 (2)	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (熱線) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
原子炉格納容器 内の圧力	2	格納容器内温度	—	—	—	1	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0	0	0	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納 容器内温度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
	4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	—	1	—	4 (2)	4 (2)	4 (2)	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (熱線) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響		計器名称等	SBO	
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	直後			
(1) 圧水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	格納容器下部積水サンプル水位 (広域)	—	—	2	格納容器下部積水サンプル水位 (広域)	2	格納容器下部積水サンプル水位 (広域)	2	1	2	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器下部積水サンプル水位(狭 域)により格納容器下部積水サンプル水位 (広域)の代替監視可能。 原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器下部積水サンプル水位 (広域)の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						2	格納容器水位	2	1	1	0	0			
						2	燃料取扱用水レベル水位	2	1	1	1	1			
						2	補助給水レベル水位	2	1	1	1	1			
						2	B-格納容器スプレッドライ冷加器 出口積算流量 (AM田)	2	1	1	1	0			
						1	代替格納容器スプレッドライポンプ 出口積算流量	1	1	1	1	0			
						1	水筒である燃料取扱用水レベル水位、 補助給水レベル水位、注水積算流量であ るB-格納容器スプレッドライ冷加器出口積 算流量 (AM田)、代替格納容器スプレ ッドライポンプ出口積算流量により格納容器 下部積水サンプル水位 (広域) の代替監視 可能。	1	1	1	1	0			

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					直後	直後		
(c) 原水槽を水源とした可搬型大流量ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	原子炉格納容器への注水	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	0	0	-	-	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	-	-	燃料容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	
			代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	-	-	燃料取扱用水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	燃料取扱用水ビット水位 及び 補助給水ビット水位	2 (2)	2	1	1	
(d) 原水槽を水源とした可搬型大流量ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	電源	電源	浴槽線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AMH)	2	2	0	-	-	-	-	-	-	-	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AMH)	4	4	0	-	-	-	-	-	-	-	
操作	1.8.2.1 (f) b, (e) 「原水槽を水源とした可搬型大流量ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。													

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計測設備等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 直後 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM			A直流電源を 直後 延命した場合
1.8.2 溶融炉心の原子炉格納容器下部への減下凍結・防止のための対応手順 (1) 交流動力電源及び原子炉細機冷却機能が健全である場合の手順 *、 炉心注水	原子炉圧力容器 内の温度	炉心出口温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) による炉心出口温度の代替監視可能。 炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) による炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
	水脈の確保	燃料取扱専用水位	2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングガスト及びモニタリングガスエアレーションの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心頂部の凝れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。

* 1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(0,0): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器数 ()内はPJM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPJM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合
(a) 高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		1	1	1*1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の注水量	4 (2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。
		4 (2)	4	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2	2	1	1	①	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
		3 (3)	3	3	0	①	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器内の水位	—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。
		1	1	1	0	①	—	サブクール度	1	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
	高圧注入流量	1	1	1	0	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	2	1	1	①	—	燃料取扱替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。
4 (2)		4	1	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
1		1	1	0	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
2 (2)		2	1	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	
2 (2)		2	1	1	①	—	燃料取扱替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
低圧注入流量	2 (2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
	1	1	1	0	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	
2 (2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機銃を変更することで通常と同じ89点を過熱監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		SBO影響				
									A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
(a) 高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	高圧注入ポンプ出口圧力		2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
	余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能部	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
	余熱除去ポンプ電流		2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	
操作	水源の確保		2 (2)	1	1	①		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	注水先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) により燃料取替用サンプ水位の代替監視可能。	
								B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0			
								格納容器スプレイ流量	2	2	0	0			
原子炉圧力容器内の温度	原子炉格納容器内の放射線量率	炉心出口温度	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高圧側)	3 (3)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。	
								1次冷却材温度 (広域-低圧側)	3 (3)	3	3	0	3	0	1次冷却材温度 (広域-低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。
								格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングガスエアレーションの指示上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	
(b) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準		2 (2)	1	1	①	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	0	監視事項は主要パラメータにて	
								モニタリングガスエアレーション	1	1	0	0	0	0	監視事項は主要パラメータにて
								格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ)	1	1	0	0	0	0	監視事項は主要パラメータにて

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称		計器数 ()内はPAM			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
(b) 承てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	①	-	-	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	0	原子炉容器水位	1	1	0	監視事項は 主要パラメータにて 監視。 計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材圧力（広域→高温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。 計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。
						原子炉容器水位	1	1	0	0	サブクール度	1	0	0		
						1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）	2	1	1		
						1次冷却材圧度（広域→高温側）	3 (3)	3	3	0	1次冷却材圧度（広域→高温側）	3	3	0		
						加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4	1	1		
						サブクール度	1	1	0	0	サブクール度	1	0	0		
						1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）	2	1	1		
						炉心出口圧度	1	1	1	0	炉心出口圧度	1	1	0		
						1次冷却材圧度（広域→高温側）	3 (3)	3	3	0	1次冷却材圧度（広域→高温側）	3	3	0		
						1次冷却材圧度（広域→低温側）	3 (3)	3	3	0	1次冷却材圧度（広域→低温側）	3	3	0		
水脈の確保	-	-	①	-	-	燃料冷却器用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	燃料冷却器用水ピット水位	2	1	0	監視事項は 主要パラメータにて 監視。 計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力（広域）、炉心出口圧度、1次冷却材圧度（広域→高温側）及び1次冷却材圧度（広域→低温側）により原子炉圧力容器内がサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。
						燃料冷却器用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	燃料冷却器用水ピット水位	2	1	0	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
									A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
(b) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	高圧注入流量	2 (2)	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			低圧注入流量	2 (2)	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			高圧注入ポンプ出口圧力	2	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
	補機監視機能	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	2	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
			余熱除去ポンプ電流	2	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
操作	操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ監視時に発電用原子炉を余裕するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) a, (a)「充てんポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。												
		全：すべてのループの計器の合計数												
		A(B,C)：当該ループの計器数												

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響				
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	延命した場合			
(a) B-格納容器スプレッドポンプ (Auto-SS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水 (b) 冷却中心注水	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1 * 1	0	②	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	①	2 (2)	2	1	1次冷却材温度 (広域-低濃側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	①	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉容器水位	1	1	0	①	2 (2)	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態の監視可能とすることで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	加圧器水位	1	1	0	②	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		原子炉容器水位	1	1	0	②	1	1	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		燃料取扱用水レベル	2 (2)	2	1	1	2	2	1	1	1	水漏である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		加圧器水位	4 (2)	4	1	1	4	4	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		原子炉容器水位	1	1	0	②	3 (3)	3	0	3	0	原子炉容器水位の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	2	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視により注水量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

* 1: 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		SBO影響			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後						A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(a) B一格納容器スプレイ ポンプ (RRBS-CSS連絡ライン 使用) による原子炉容器への 注水	水脈の確保	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	計器故障等	SBO	
	補機送出機部	充てムライン圧力	1	1	0	0	③	B一充てムポンプの運 転状態を確認するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—
操 作																

「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.(1) b、(a) 「B一格納容器スプレイポンプ (RRBS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。

全：すべてのループの計器の合計数

A/B/C：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合			
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	②	1	1*1	0	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。			
							1次冷却材温度 (広域-低温側)	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。				
	原子炉格納容器内の放射線量率	①	2	1	1	-	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
							モニタリングポスト	7	7	0	0					
	原子炉圧力容器内の水位	①	4	1	1	-	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			
							サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。				
	原子炉圧力容器内の水位	①	1	1	0	-	加圧器水位	4	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。			
							サブクール度	1	1	0	0					
							1次冷却材圧力 (広域)	2	2	1	1					
							1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	3	3	0					
加圧器水位							4	4	1	1						
サブクール度							1	1	0	0						

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: オブベットのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイ流量	1	0	②	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			B-1格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 (2)	2	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の水位変化によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM/H)	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
			原子炉格納容器への注水量	1	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM/H) の代替監視可能。	
		水源の確保	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	原子炉格納容器水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM/H) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM/H) の代替監視可能。	
		操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b.、(b) (代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水) の感作手順と同様である。											

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直前電源を 延命した場合
(c) 電動機駆動消火ポンプ 又はアイマーゼル駆動消火ポンプ による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		炉心出口温度	1	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により 炉心出口温度の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	-	-	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。
		モニタリングステーション	1	1	0	0	-	-	モニタリングステーション	1	1	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。
原子炉圧力容器 内の水位	加圧器水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	-	-	原子炉格納容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納水位に より加圧器水位の代替監視可能。
		サブクール度	1	1	0	0	-	-	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温 側) により原子炉圧力容器内のサブ クール状態が過熱状態かを監視するこ とで、原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。
	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器水位	1	1	1	0	-	-	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉格納容器水位の代替監視可能。
		サブクール度	1	1	0	0	-	-	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計測設備等	SBO	
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
(c) 電動機駆動消火ポンプ 又はディーゼル駆動消火ポンプ による原子炉格納容器への注水	判断基準	原子炉格納容器 への注水量	1	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	—	—	—	2	燃料取扱用水ピット水位	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		原子炉格納容器 への注水量	1	1	0	—	4	加圧器水位	2	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
		原子炉格納容器 への注水量	1	1	0	—	4	加圧器水位	2	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。		
	水源の確保	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1	—	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 格納容器再循環ポンプ水位 (圧感) の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	—	
操作															

「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に格納用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1) b, (c) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器への注水」の操作手順と同様である。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：4 個のうち2 個は、1, 2 号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1 (1)	1*1	0	-	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
									1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	0	3 (全)	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	-	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
									モニタリングポスト	7	0	0	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	4 (2)	4	1	-	-	-	原子炉格納容器水位	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器水位により加圧器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
									加圧器水位	1	0	0	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	1	1	0	-	-	-	加圧器水位	4 (2)	4	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納容器水位の代替監視可能。 サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。
									サブクール度	1	1	0	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数
*1：常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 遮断した場合	B直流電源を 遮断した場合	直後		A直流電源を 遮断した場合	B直流電源を 遮断した場合			
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	判断基準 原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器 への注水量	1	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
													補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
													原子炉容器水位	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
操作	「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.(1) b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水」の操作手順と同様である。	2 (2)	1	1	1	1	燃料容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	燃料容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。						

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合			
(6) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	炉心出口温度	1	1*1	0	—	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側) 炉心出口温度の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2 (2)	2 (全)	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	加圧器水位	4 (2)	4	1	—	—	—	計測範囲内であれば原子炉格納水位により加圧器水位の代替監視可能。	1 (1)	1 (全)	0	計測範囲内であれば原子炉格納水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	1	1	0	—	—	サブプール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	サブプール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	1	1	0	—	—	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納水位の代替監視可能。	4 (2)	4 (全)	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	1	1	0	—	—	サブプール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	2 (2)	2 (全)	1	サブプール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	炉心出口温度 (広域—低温度側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温側)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	3	3	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温度側)	3	3	0	3	1次冷却材温度 (広域—低温度側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	3	3	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温度側)	3	3	0	3	1次冷却材温度 (広域—低温度側) により原子炉圧力容器内のサブプール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価																										
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器																														
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合																											
(c) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉格納容器への注水量	1	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	—	—	—	1	1	2	2	1	1	水源である燃料冷却用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	SBO																							
																原子炉格納容器への注水量	1	1	4	4	1	1	1	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。											
																												原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	0	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。
操作																																						

「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				SBO		
			計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合
<p>(6) 取水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p>	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	1	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。
	格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。							
							モニタリングタポスト	7	0	0	0		
	モニタリングステーション	1	0	0	0	格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。							
							原子炉容器水位	4 (2)	1	1	1	0	0
	加圧器水位	4	1	1	1	0							
							原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	0	0	0
	原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	0	0							
							原子炉容器水位	1	1	0	0	0	0
1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0							
							1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0
1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0							
							1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0
1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0							
							1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	0

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
(1) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	判断 基準	原子炉格納容器 への注水量	1	代替格納容器 スプレイポンプ 出口積算流量	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
							補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1	
							加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	
							原子炉容器水位	1	1	1	1	0	0	
操 作	「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.(1) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	格納容器再循環ポンプ水位(広域)の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響 直後	SBO影響 直後			
1.8.2 溶融炉心の原子炉格納容器下部への減下灌流・防止のための対応手順 (2) 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順 *、(代替炉心)注水	原子炉圧力容器内の温度	1	炉心出口温度	②	—	0	1 * 1	0	—	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	加圧器水位	①	—	1	4	1	—	1	原子炉容器水位	1	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	格納容器内高レンジエアリアモニタ (高レンジ)	①	—	1	2	1	0	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内サブクール状態が過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
	水源の確保	2 (2)	燃料冷却水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	加圧器水位	4 (2)	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	補助給水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	サブクール度	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料冷却水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材圧力 (広域-低温側) により原子炉圧力容器内サブクール状態が過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料冷却水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	炉心出口温度	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料冷却水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内サブクール状態が過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料冷却水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容器内サブクール状態が過熱状態かを監視することで、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料冷却水ピット水位	①	—	1	2	1	1	0	格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			計器名称等		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
(a) 代替格納容器スプレイ ポンプによる原子炉容器への 注水	電源	電源	注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	注時線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の 受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—		
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—		
			判断基準	操作	[1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等] のうち, 1.4.2.1(d), (b) (代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水) の操作手順と同様である。											

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合		
(b) B-冷却ポンプ(自己循環)による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	②	1	1*1	0	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
							1次冷却材温度 (広域-低温側)	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。			
	原子炉格納容器内の放射線量率	①	2	1	1	-	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
							モニタリングポスト	7	7	0	0				
	原子炉圧力容器内の水位	①	4	1	1	-	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
							サブクール度	1	1	0	0				
	原子炉圧力容器内の水位	①	1	1	0	-	1次冷却材圧力 (広域)	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
							1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	3	3	0				
							加圧器水位	4	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。			
							サブクール度	1	1	0	0				
1次冷却材圧力 (広域)							2	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態か過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。				
炉心出口温度							1	1	1*1	0					
原子炉圧力容器内の水位	①	3	3	3	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。			
						1次冷却材温度 (広域-低温側)	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。				

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器仕様等						
	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	
判断基準	電源	泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	③	泊幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給管流量	3	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確証するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確証するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確証するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を確証するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		操作	「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ風圧時に蒸気用原子炉を冷却するための手順等」のうち, 1.4.2.(2) a, (b) 「B」を「C」による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																
				全: すべてのループの計器の合計数 A(B, C): 当該ループの計器数															

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はPJM	SBO影響		補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPJM	SBO影響		計器設備等			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				直後	直後				
(c) B-格納容器スプレイポンプ(自己冷却) (WRG-CSS)連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			炉心出口温度	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	—	—	モニタリングポスト	7	7	0	0	モニタリングポストの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	4 (2)	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内サブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位	原子炉容器水位	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉容器水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			原子炉容器水位	1	1	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内サブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
	水蒸気の確保	水蒸気の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	
原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	充てん流量	1	0	0	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	0	原子炉容器水位の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		充てん流量	1	0	0	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の傾向監視により充てん流量の代替監視可能。		

*1: 常用系から機銃を変更することで通常と同じS9点を過熱監視可能

全: すべてのループの計器の合計数
A,B,C: 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価					
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
(c) B-1格納容器スプレイポンプ(自己冷却)(RIRS-SSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	電源	電線	送電線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却排水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			充てムライン圧力	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			操作															

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち, 1.4.2.(2) a., (c) 「B-1格納容器スプレイポンプ(自己冷却)(RIRS-SSS連絡ライン使用)」による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合		
(d) ディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1*1	0	—	—	—	3	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—高温側) 及び炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	3	1次冷却材温度 (広域—低温側) 及び炉心出口温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	—	—	—	—	—	—	—	7	7	0	0	—	
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4	4	1	1	—	—	—	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		サブクール度	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
		1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	2	2	1	1	—	
		1次冷却材温度 (広域—高温側)	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	0	—	
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	4	4	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉格納容器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		サブクール度	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—	
1次冷却材圧力 (広域)		1	1	1	0	—	—	—	2	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域—高温側) 及び1次冷却材温度 (広域—低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
炉心出口温度		—	—	—	—	—	—	—	1	1	1*1	0	—		
1次冷却材温度 (広域—高温側)		—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	0	—		
1次冷却材温度 (広域—低温側)		—	—	—	—	—	—	—	3	3	0	3	—		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機軸を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		SBO		
			計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合				B直流電源を 延命した場合				
(d) ディーゼル/電動消防ポンプによる原子炉格納容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイレイ流量	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU)	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の水位変化によりB-1格納容器スプレイレイ流量の代替監視可能。		
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU)	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監視可能。		
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU)	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1		加圧器水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監視可能。
								原子炉格納容器水位	1	1	0	0	原子炉格納容器水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監視可能。		
								格納容器再循環サンプ水位 (圧縮)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧縮) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等				
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	炉心出口温度	1	1*1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
				2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により炉心出口温度の代替監視可能。			
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	—	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
				7	0	0	—	—	モニタリングポスト	7	0	0	0			
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	—	—	—	—	原子炉圧力容器水位	1	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉圧力容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
				4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器	原子炉圧力容器内の水位	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
				1	1	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
				1	1	0	—	—	原子炉圧力容器水位	2 (2)	2	1	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	
				3	3	0	—	—	炉心出口温度	1	1	1*1	0	0	炉心出口温度	
3				3	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3	3	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温側)	
3				3	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-低温側)	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO
			計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合				B直流電源を 延命した場合			
(a) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉格納容器への注水量	原子炉格納容器への注水量	B-1格納容器スプレイレイ流量	1	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ流量の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (圧城)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧城) の水位変化によりB-1格納容器スプレイレイ流量の代替監視可能。	
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
			B-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	
			原子炉格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	0	—	—	原子炉格納容器水位	1	1	0	原子炉格納容器水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。		
			格納容器再循環サンプ水位 (圧城)	2 (2)	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (圧城)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (圧城) の傾向監視によりB-1格納容器スプレイレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価												
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器															
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後 B:直流電源を 延命した場合										
(a) 海水を用いた四機炉大 型送水ポンプ車による原子炉 容器への注水	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			操作	[1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等] のうち, 1.4.2.1(d) b, (d) 「海水を用いた可搬型大送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																	

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合	
(f) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	炉心出口温度	1	1*1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	-	-	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
			モニタリングポスト	7	7	0	0	0	モニタリングポスト	7	7	0	0	
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	原子炉格納容器	原子炉格納容器水位	4 (2)	4	1	-	-	原子炉格納容器水位	1	1	1	0
加圧器水位				1	1	0	0	0	加圧器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば加圧器水位により加圧器水位の代替監視可能。
サブクール度				2	2	1	1	1	サブクール度	2	2	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温側) により原子炉圧力容器内のサブクール状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。
原子炉格納容器水位				1	1	1	0	0	原子炉格納容器水位	1	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。

全: オブセアのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

*1: 常川系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	原子炉格納容器への注水量	1	—	—	—	2 (2)	燃料取扱用水ピット水位	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
								2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(圧域)の 水位変化によりB-1格納容器スプレ イの代替監視可能。
								2 (2)	燃料取扱用水ピット水位	1	1	水源である燃料取扱用水ピットの水位 の傾向監視によりB-1格納容器スプレ イの代替監視可能。
								4 (2)	加圧器水位	1	1	加圧器水位の傾向監視によりB-1格納 容器スプレイの代替監視可能。
								1	原子炉容器水位	0	0	原子炉容器水位の傾向監視によりB-1 格納容器スプレイの代替監視可能。
								2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(圧域)の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イの代替監視可能。
								2 (2)	燃料取扱用水ピット水位	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算量の代替監視可能。
								2 (2)	補助給水ピット水位	1	1	補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算量の代替監視可能。
								4 (2)	加圧器水位	1	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納 容器スプレイポンプ出口積算量の代 替監視可能。
								1	原子炉容器水位	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替 格納容器スプレイポンプ出口積算量 の代替監視可能。
2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (圧域)	1	1	格納容器再循環サンプ水位(圧域)の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算量の代替監視可能。								

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ												評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			計器故障等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合						
(f) 代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	電源	電圧	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後送線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲送線電圧, 乙送線電圧	4	4	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			抽機監視機能	操作	「1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(D) b, (c) 「代替給水セットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。													

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B.直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B.直流電源を 延命した場合	計器候補等	SBO
(d) 取水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	0	0	1次冷却材温度 (広域-低温 側)	3 (3)	0	1次冷却材温度 (広域-低温側) によ り炉心出口温度の代替監視可能。		
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (高レンジ)	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	格納容器内高レンジェリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			モニタリングステーション	1	0	0	モニタリングステーション	1	0	0		
	原子炉圧力容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	原子炉格納容器水位	4 (2)	1	1	原子炉格納容器水位	1	1	0	計測範囲内であれば原子炉格納水位に より加圧器水位の代替監視可能。	
			サブクール度	1	0	0	サブクール度	1	0	0	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域) 及び1次冷却材温度 (広域-高温 側) により原子炉圧力容器内のサブ クール状態が過熱状態かを監視するこ とで、原子炉圧力容器内の水位の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1次冷却材圧力 (広域)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2	1	1		
			1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (3)	0	0		
	原子炉圧力容器 内の水位	原子炉格納容器 内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	加圧器水位	4 (2)	1	1	計測範囲内であれば加圧器水位により 原子炉格納水位の代替監視可能。	
			サブクール度	1	0	0	サブクール度	1	0	0		
1次冷却材圧力 (広域)			2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2	1	1			
炉心出口温度			1	1	1	炉心出口温度	1	1	1	サブクール度、1次冷却材圧力 (広 域)、炉心出口温度、1次冷却材温度 (広域-高温側) 及び1次冷却材温度 (広域-低温側) により原子炉圧力容 器内のサブクール状態が過熱状態かを 監視することで、原子炉圧力容器内の 水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO影響 直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
(a) 原水槽を水源とした可 搬型大流量送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	1	—	—	—	燃料取扱用水レベル流量	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1	—	—	—	B-1格納容器スプレイ流量	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環ポンプ水位 (圧域) の 水位変化によりB-1格納容器スプレイ 流量の代替監視可能。		
			1	—	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取扱用水レベル水位の 傾向監視によりB-1格納容器スプレ イ再処理器出口積算流量 (AM用) の代替 監視可能。		
			1	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1		加圧器水位の傾向監視によりB-1格納 容器スプレイ再処理器出口積算流量 (AM 用) の代替監視可能。
(b) 原水槽を水源とした可 搬型大流量送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	原子炉容器水位の傾向監視によりB-1 格納容器スプレイ再処理器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			2	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	1	1		格納容器再循環ポンプ水位 (圧域) の 傾向監視によりB-1格納容器スプレイ 再処理器出口積算流量 (AM用) の代替監 視可能。
			2	—	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1		大減である燃料取扱用水レベル水位及 び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。
			4	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1		加圧器水位の傾向監視により代替格納 容器スプレイポンプ出口積算流量の代 替監視可能。
(c) 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 への注水量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替 格納容器スプレイポンプ出口積算流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1	—	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1		大減である燃料取扱用水レベル水位及 び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。
			2	—	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	1		大減である燃料取扱用水レベル水位及 び補助給水レベル水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。
			2	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (圧域)	2 (2)	2	1	1	1		格納容器再循環ポンプ水位 (圧域) の 傾向監視により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 ()内はPAM	計器名称	計器数 ()内はPAM	事後 A直流電源を 延命した場合	事後 B直流電源を 延命した場合		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	抽出パラメータ						SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
(d) 原水槽を水源とした可 燃型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
			後送線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—		
			甲送線電圧, 乙送線電圧	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
			抽機監視機能	操作	[1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等] のうち, 1.4.2.1(d) b, (f) 「原水槽を水源とした可燃型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」 の操作手順と同様である。										

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	計器故障等				
1.9.2.1 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 (1) 炉心の著しい損傷が発生した場合の原子炉格納容器水素濃度防止	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	①	—	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側) 格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ) モニタリングガスト モニタリングガスジェネシオン	3 (3) 2 (2) 7 1	0 (全) 2 7 1	3 (全) 1 0 0	1 0 0	監視事項は 格納容器内 高レンジエ リアモニタ リングガ スト及び モニタリ ングガ スジェネ シオンに よる指示 に基づき 確認可能。 格納容器 内高レン ジエリア モニタリ ングガ スジェ ネシオン の指示に 基づき 確認可能。 格納容器 内高レン ジエ リアモニ タリング ガスト 及びモニ タリング ガス ジェネシ オンに よる指示 に基づき 確認可能。
a. 原子炉格納容器内水素処 理装置による原子炉格納容 器内の水素濃度低減	操作	電源	電源	2	2	1	1	③	—	直流母線の受電状態を 監視するパラメータ	—	—	—	—	—
		補機監視機器	原子炉格納容器内水素処理装 置温度	5	5	5	0	③	—	原子炉格納容器内水素 処理装置の作動状態を 確認するパラメータ	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ59点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ											評価										
		分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器														
			計器名称	計器数 ()内はIPM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はIPM	SBO影響 直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合								
b. 格納容器水素イガナイト による原子炉格納容器内の水 素濃度低減	判 断 基 準	信号	RCSS作動	—	—	—	—	③	RCSS作動警報の作動状 態を確認するパラメー タ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
			電源	泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	③	泊幹線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
				後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の 受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
				甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
				6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
				代替非常用発電機電圧, 電 力, 周波数	6	0	0	6	③	代替非常用発電機の運 転状態を確認するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	炉心出口温度	1	1	1*1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域-高 温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	0	0	0	0	0	1次冷却材温度 (広域-高 温側) により炉心出口温度の代替監視可能。
					炉心入口温度	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-低 温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	0	0	0	0	0	1次冷却材温度 (広域-低 温側) により炉心入口温度の代替監視可能。
					加圧器圧力	—	—	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により 1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可 能。
					原子炉圧力容器 内の圧力	2 (2)	—	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域-高 温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	0	0	0	0	0	0
原子炉圧力容器 内の圧力	—	—			—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-低 温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	0	0	0	0	0	原子炉圧力容器内の状態であれば 1次冷却材温度 (広域-低温側) によ り1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。		
原子炉圧力容器 内の水位	原子炉圧力容器 内の水位	加圧器水位	4 (2)	—	—	—	①	—	原子炉圧力容器内の水位	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉圧力容器 内の水位により加圧器水位の代替監視 可能。			
		サブクール度	—	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	サブクール度, 1次冷却材圧力 (広 域) 及び1次冷却材温度 (広域-高 温側) により原子炉圧力容器内のサブ クール状態を確認可能。			
		1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	原子炉圧力容器内の水位の代 替として, 原子炉圧力容器内の水位の代 替可能。	
1次冷却材温度 (広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域-高 温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	0	0	0	0	0	0	1次冷却材温度 (広域-高 温側) により原子炉圧力容器内の水位の代 替可能。			

全: オブジェクトのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器数 ()内はPAM	A直流電源を 駆動した場合	B直流電源を 駆動した場合	計器名	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 駆動した場合	B直流電源を 駆動した場合	計器名	計器数 ()内はPAM		A直流電源を 駆動した場合
h. 格納容器水素イグナイターによる原子炉格納容器内の水素濃度低減	原子炉格納容器への注水量	①	2 (2)	1	1	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	1	1	—	燃料取扱用水レベル水位の大幅な低下による格納容器内圧力低下の監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
							加圧器水位	4 (2)	1	1	—	加圧器水位の傾向監視により高圧注水流量の代替監視可能。	
							原子炉容器水位	1	1	0	—	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注水流量の代替監視可能。	
							格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の水位変化により高圧注水流量の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	①	2 (2)	1	1	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	—	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
							格納容器内温度	2	2	0	—	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	①	4 (2)	1	1	—	原子炉格納容器圧力	2	2	0	—	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
							格納容器内温度	2 (2)	1	1	—	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度の代替監視可能。	
							原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	—	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
							格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	—	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
原子炉格納容器内の水位	①	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域) との相関関係により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
						格納容器内温度	2	2	1	—	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度の代替監視可能。		
						原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	—	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
						格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	—	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。		
原子炉格納容器内の放射線率	①	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関関係により格納容器再循環サンプ水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
						格納容器内高レンジエアリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	—	格納容器内高レンジエアリアモニタ並びにモニタリングポスト及びモニタリングシステムステーションの指示の異常を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。		
						モニタリングポスト	7	0	0	—	モニタリングポスト		
						モニタリングステーション	1	1	0	—	モニタリングステーション		
電源	③	2	1	1	—	A, B一直流コントロール電源	2	1	1	—	電源母線の受電状態を監視するパラメータ	—	
						格納容器水素イグナイター	1	1	0	—	格納容器水素イグナイターの作動状態を確認するパラメータ		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	A異常電源を 延命した場合 直後	B異常電源を 延命した場合 直後	
1.9.2.1 水素爆発による原子炉格納容器内の水素濃度の監視 ① 原子炉格納容器内の水素濃度の監視 ② 交流動力電源及び原子炉補機が故障した場合の操作手順	原子炉圧力容器 内の温度	1	炉心出口温度	②	—	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高温 側)	3 (全)	0	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
		2 (2)	原子炉格納容器 内の放射線量率 モニタ (高レンジ)	①	—	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-低 側)	3 (全)	0	3 (全)	3	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
a. 可搬型格納容器内水素濃 度計測ユニットによる原子炉 格納容器内の水素濃度監視	原子炉格納容器 内の圧力	4 (2)	原子炉格納容器圧力	①	—	2	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	2	1	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		2	原子炉格納容器圧力 (AM用)	①	—	4 (2)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	7	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
操作	原子炉格納容器 内の水素濃度	2	格納容器圧力 (AM用)	①	—	1	モニタリングガスステーション	1	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
		1	格納容器内水素濃度	①	—	2	格納容器圧力 (狭域)	1	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。

全：すべてのループの計器の合計数

A(0,0)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

*2：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
b. ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器	1	1 * 1	0	—	—	1	3	3	0	1次冷却材温度 (広域—高圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
	判断基準	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2	1	1	—	—	2	7	3	3	1次冷却材温度 (広域—低圧側) により炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2	2	—	—	—	2	1	2	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の水素濃度	1	0	1 * 2	—	—	5	5	0	0	原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器内水素処理装置及び格納容器内水素イタライタの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4	4	1	—	—	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (緊急) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	—	2	2	1	1	高圧側/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の水素濃度	原子炉格納容器圧力	4	4	—	—	—	4	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (緊急) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器内温度	2	2	0	—	—	2	2	1	1	格納容器内温度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

* 2：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計測設備等	SBO		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 直後 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 直後 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1.9.2.1 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 ii. 原子炉格納容器内の水素濃度の監視 a. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉圧力容器内の温度	原子炉出口温度	1	1	1 * 1	0	②	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は代替パラメータにて監視。	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	①	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) モニタリングポスト モニタリングステーション	2 (2) 7 1	2 (2) 7 1	1 0 0	1 0 0	監視事項は代替パラメータにて監視。 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	
	電源	燃料線 1 L 電圧, 2 L 電圧	燃料線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	2	0	0	③	—	燃料線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	2	2	0	0	③	—	—	—	—	—	—	—	—
		甲段線電圧, 乙段線電圧	甲段線電圧, 乙段線電圧	4	4	0	0	③	—	—	—	—	—	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	7	1	1	③	—	—	—	—	—	—	—	—
	補機並列機器	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	3	0	0	③	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (M用)	原子炉補機冷却水供給母管流量 (M用)	2	2	2	0	③	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	4	4	0	0	③	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (M用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (M用)	4	4	4	0	③	—	—	—	—	—	—	—	—

* 1 : 常用系から接続を変更することで通信と同じ39点を監視監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				計器数 ()内はPAM		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響	SBO
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM						
a. 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	電源	代替非常用送電機電圧、電力、周波数	6	0	6	③	代替非常用送電機の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	1	1	③		格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。			
		A、B一直流コントロールセクタ格線電圧	2	1	1	③	格納容器内の水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器内圧度	2 (2)	2	1	1	格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。			
操作	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。			
			2	2	2	①	格納容器内圧度	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧度の代替監視可能。				
		格納容器内水素濃度	1	0	1*1	①	—	原子炉格納容器内水素濃度	5	5	5	0	原子炉格納容器内水素濃度及び格納容器内水素濃度計測ユニットの動作状態を監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大幅な水素濃度が生じない領域であることを確認可能。			
			1	0	0	①	—	格納容器内水素濃度	1	3	1	3	0	監視可能であればガス分析計により水素濃度を確認し、ガス分析計の結果に基づき格納容器内水素濃度の代替監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計測設備等	SBO
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	A直流電源を 延命した場合		
a. ガス分析計による原子炉格納容器内の水素濃度監視	原子炉圧力容器内の温度		初心出口温度	1	1 * 1	0	-	-	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	0	1次冷却材温度 (広域-高温側) により、初心出口温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器内高レンジェリアモニタ (高レンジ)	2 (2)					1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域-低温側) により、初心出口温度の代替監視可能。	
	電源	補機冷却機器	原子炉格納容器内の放射線量率						格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	格納容器内高レンジェリアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングシステム及びモニタリングステーションの指示の上昇を傾向監視により、初心相線の逸れが生じているかを推定可能。	
			泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	-	-						
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	-	-						
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	-	-						
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	-	-						
			A, B-直流コントロールセクタ母線電圧	2	1	1	-	-						
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	-	-						
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	-	-						
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	4	4	0	-	-									
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	4	4	0	-	-									

* 1 : 常川系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合		B交流電源を 延命した場合		
判断 基準	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	1*1	0	—	—	—	原子炉格納容器内水素処理装置 直度	5	5	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器内水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	格納容器水素イグナイタ直度	1.3	1.3	0	—	
操作	電源	代替非常用挿電機電圧、電 力、周波数	6	6	0	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	—	
	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器内直度	2 (2)	2	—	—	—	—	—	格納容器圧力 (軟感)	1	1	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	—	—	—	—	—	格納容器内直度	2 (2)	2	1	1	
		格納容器圧力 (AMH)	2	2	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	1	1	0	—	
		格納容器内直度	2 (2)	2	—	—	—	—	—	格納容器内直度	2 (2)	2	1	1	
原子炉格納容器 内の水素濃度	ガス分析計による水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	格納容器内水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	計器名称	計器数 ()内はDPM	抽出パラメータを計測する計器			補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO			
					パラメータ 分類	直後	A直流電源を 延命した場合				B直流電源を 延命した場合	直後			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
(a) 交流動力電源及び常設 直流電源が健全である場合の 操作手順	判 断 基 準	信号	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
					②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直流電源が健全である場合の 操作手順	操 作	原子炉圧力容器 内の温度	原子炉圧力容器 内の温度	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	①	1	1*1	0	—	—	—	—	—	—	—	—
						②	2 (2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直流電源が健全である場合の 操作手順	操 作	原子炉格納容器 内の放射線量率	原子炉格納容器 内の放射線量率	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	①	2 (2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
						②	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(a) 交流動力電源及び常設 直流電源が健全である場合の 操作手順	判 断 基 準	原子炉格納容器 内の放射線量率	原子炉格納容器 内の放射線量率	ECCS作動	ECCS作動 指示の作動状 態を確認するパラメ ータ	③	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
						②	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1.10.2.1 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順
 (1) 水素排出による原子炉建屋等の損傷防止
 * アニユラス空気浄化設備による水素排出

全：すべてのループの計器の合計数
 A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価						
			計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		SBO影響		計器数 ()内はDPM	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器故障等	SBO	
									直後	A直前電源を 延命した場合	直後	A直前電源を 延命した場合									
(a) 全送動機力電源又は常 成直前電源が喪失した場合の 操作手順	判断 基準 型	電源	送電線1L電圧, 2L電圧	2	③	送電線1L, 2Lの受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志幹線1L電圧, 2L電圧	2	③	後志幹線1L, 2Lの受 電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲母線電圧, 乙母線電圧	4	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	7 (2)	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			A, B一直流コントローラセ ンタ母線電圧	2	③	直流母線の受電状態を 監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉圧力容器 内の電圧	1	②	—	1次冷却材温度 (広域-高電 圧)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	3 (全)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-高電圧) によ り炉心出口温度の代替監視可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	—
			原子炉格納容器 内の放射線量率	2 (2)	①	—	1次冷却材温度 (広域-低電 圧)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	3 (全)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	0	1次冷却材温度 (広域-低電圧) によ り炉心出口温度の代替監視可能。	—
			アニュラス部の 圧力	2	③	—	格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1	1	2 (2)	2 (2)	1	1	2 (2)	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ (低 レンジ) 並びにモニタリングポスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているか否かを推定可能。	—
			電源	6	③	—	アニュラス空気浄化 ファン運転状態を確 認するパラメータ	2	2	2	0	0	2	2	0	0	2	0	0	—	—
			—	—	—	—	代替非常用発電機電圧, 電 力, 周波数	6	6	6	0	6	6	6	0	6	6	0	6	—	—

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	SBO影響 等	
1.10.2.1 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順 (1) 水素排出による原子炉建屋等の損傷防止 b. アニュラス部の水素濃度監視	判別基準	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	②	—	3 (3)	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (全)	0	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
		原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)	①	—	2 (2)	1次冷却材温度 (広域-低濃側)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
(a) 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットによる水素濃度測定	操作	アニュラス部の水素濃度	アニュラス水素濃度 (可搬型)	①	—	1	アニュラス水素濃度	1	0	1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
		原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	—	—	1	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	0	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
(b) アニュラス水素濃度検出器による水素濃度測定	判別基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)	—	—	2 (2)	1次冷却材温度 (広域-低濃側)	3 (全)	1	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。
		アニュラス部の水素濃度	アニュラス水素濃度	—	—	1	アニュラス水素濃度 (可搬型)	1	0	1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 監視。

全: すべてのループの計器の合計数

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

*2: 可搬型アニュラス水素濃度計測装置の取付け及び運転開始後監視可能

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		計器名称	計器数 () 内はPAM 直後	抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM 直後	SBO影響		計器故障等	SBO
				A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合		
1.11.2.1 使用済燃料ピットの冷却機能又は注水機能の喪失時、又は使用済燃料ピット水の小規模な漏えい発生時の対応手順 (D) 使用済燃料ピットへの注水 a. 燃料取替用水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	補機室出機盤	原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		使用済燃料ピット温度	2	0	—	—	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替メータ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	—	—	—	—	2	2	0	2	監視事項は 代替メータ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位	2	0	—	—	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替メータ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	—	—	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替メータ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	—	—	—	—	2	2	0	2 * 1	監視事項は 代替メータ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	—	—	—	—	2	2	0	0	監視事項は 代替メータ メータにて 確認。
水源の確保	燃料取替用水ピット水位	燃料取替用水ピット水位	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位 (AM用)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位 (可搬型)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取替用水ピット水位 (可搬型)	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価									
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数						
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	計器数等	SBO		
a. 燃料取替用水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可 測型)	2	2	0	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可測型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可測 型)	2	2	0	0	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可測型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	燃料取替用水ピット水位 (AM 用)	2	2	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 傾向監視により水取の有無や使用量を 推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能
* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
b. 2次系給水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	機械監視機能	使用済燃料ピットの監視	原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2	*1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2	*1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2	*1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2	*1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
2次系給水タンク水位	2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全：すべてのループの計器の合計数
 *1：計器取り付け後監視可能
 *2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO			
									A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
b. 2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット の監視 操作	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	
			使用済燃料ピット水位 (可 動型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可動型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可 動型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可 動型)	2	0	2	* 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可動型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
水源の確保	水源の確保	2次系純水タンク水位	2次系純水タンク水位	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エア リモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアリモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用 済燃料ピット監視カメラにより使用 済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視 可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより 使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替 監視可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

* 1：計器取り付け後監視可能

* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

A. (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合				
c. 1 5号補給水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	機器監視機器	原子炉補機冷却水供給母管流 量	原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
		使用済燃料ピット監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	2	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット監視	使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可 搬型)	2	2	0	2 * 1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2 * 1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可 搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可 搬型)	2	2	0	2 * 1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2 * 1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
水源の確保	1次系海水タンク水位	1次系海水タンク水位	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	—		
		1次系海水タンク水位 (AM 用)	1	1	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	1	0	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空枠設置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		計器数 () 内はPAM	計器名称	抽出パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 () 内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
c. 1 取込補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	—	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	—	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			携帯型水温計	1	1	1	—	—	—	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B、C)：当該ループの計器数

* 1：使用済燃料ピット監視カメラを含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	SBO影響		計器候補等	SBO
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
c. 1 取水給排水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタによる放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水位計	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			携帯型水位・水温計	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO	
									A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合			
c. 1 冷却補助水ポンプによる 使用済燃料ピットへの注水	水源の確保	水	1 冷却水タンク水位	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピットエアモニ タ	1	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			排気筒ガスモニタ	2	0 * 2	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
								使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
								使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
								使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
								使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
								使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

* 1：計器取り付け後監視可能

* 2：試料採取に必要なサンプリング電圧が喪失するため監視不可

A (B, C)：当該ループの計器数

* 3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数	SBO			
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合						
d. 電動機駆動消水ポンプ又はディーゼル駆動消水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	機械監視機器	使用済燃料ピットの監視	原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2	3	0	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全：すべてのループの計器の合計数
 *1：計器取り付け後監視可能
 *2：使用済燃料ピット監視カメラ空枠設置を含む
 *3：4個のうち2個は、1、2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器故障等	SBO			
			計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合 直後			SBO影響 B 直流電源を 延命した場合		
d. 電動機駆動消水ポンプ又はディーゼル駆動消水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1	—	—	携帯型水温計	1	1	1	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ					評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		計器数 () 内はPAM	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO	
			計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合				B直流電源を 延命した場合				
d. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (AM用) * 2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (AM用) * 2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (AM用) * 2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	—	—	—	2	使用済燃料ピット水位 (可搬型) * 2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
携帯型水位計	—	—	—	1	1	1	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
携帯型水位・水温計	—	—	—	1	1	1	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	SBO					
d. 電動機駆動消水ポンプ又はディーゼル駆動消水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	水源の確保	ろ過水タンク水位	4	2 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		排気筒ガスモニタ	2	0 * 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ * 3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
 * 3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 * 4：4個のうち2個は、1、2号中央制御室に備部する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器状態等	SBO		
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合				
①。海水を用いた可搬型土型 注水ポンプ車による使用済 燃料ピットへの注水	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット の監視	原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2 * 1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
 A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能
 * 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価		
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 () 内はPAM	計器名称	SBO影響			
e. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による使用済燃 料ピットへの注水	操 作	使用済燃料ピットの監視	2	②	—	2	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	直後 A 直流電圧を 延命した場合 0	2	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			2	①	—	2	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	直後 A 直流電圧を 延命した場合 0	2	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	
			2	①	—	2	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	直後 A 直流電圧を 延命した場合 0	2	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	
			1	②	—	1	携帯型水温計	直後 A 直流電圧を 延命した場合 1	1	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 携帯型水温計の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO			
									A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
①。海水を用いた可搬型大型 淡水ポンプ組による使用済燃 料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピンの監視	使用済燃料ピット水位	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使 用済燃料ピット可搬型エリアモニタ による放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			携帯型水位計	1	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			携帯型水位・水温計	1	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	直後	計器名称	計器数 () 内はPAM		直後				
*。 海水を用いた可搬型大型 海水ポンプ車による使用済燃 料ビットへの注水	使用済燃料ピ ンの監視	②	使用済燃料ビットエアモニ タ	1	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタにより使用済燃料ピ ットの代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			排気筒ガスモニタ	2	0 * 2	0	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタにより使用済燃料ピ ットの代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) による 放射線量率と水位の両方や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ビット監視カメラ * 3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) , 使用 済燃料ビット水位 (可搬型) , 使用済 燃料ビット可搬型 (AM用) 及び使用済燃 料ビットエアモニタにより使 用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響			SBO			
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					
f. 代替給水ピットを水脈と した可搬型大型送水ポンプ車 による使用済燃料ピットへの 注水	機械監視機器 使用済燃料ピット の監視		原子炉補機冷却水供給管流量	3	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			使用済燃料ピット温度	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2 * 1	0	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2 * 1	0	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2 * 1	0	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	2 * 1	0	—	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 () 内はPAM	計器名称	SBO影響					
f. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ重 による使用済燃料ピットへの 注水	操作	使用済燃料ピット の監視	2	—	—	2	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			2	—	—	2	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	0	2	2	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1	—	—	1	使用済燃料ピット監視カメラ *1	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1	—	—	1	携帯型水温計	1	1	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1. 代替給水ピットを水取と した可搬式大型送水ポンプ車 による使用済燃料ピットへの 注水	操作	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット水位	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。			
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係或使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	使用済燃料ピット監視カメラにより 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			携帯型水位計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の関係或使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			携帯型水位・水温計	1	1	1	1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	使用済燃料ピット監視カメラにより 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
										使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
										使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
f. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 による使用済燃料ピットへの 注水	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。				
			排気筒ガスモニタ	2	0 * 2	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。			
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット エリアモニタにより使用済燃料ピット 可搬型エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。			
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。		
使用済燃料ピット監視カメラ * 3	使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	0	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	0	2	* 1	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ により使用済燃料ピットエリアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価			
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数		計器仕様等	SBO
			計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合		
例：原水罐を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ビットへの注水	操作	使用済燃料ビットの監視	2	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ビット温度 (AM用) により使用済燃料ビット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			2	—	—	使用済燃料ビット温度 (AM用)	2	2	0	2	使用可能であれば、使用済燃料ビット温度により使用済燃料ビット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ *1	1	0	1	0	使用済燃料ビット水位 (AM用) 及び使用済燃料ビット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ビットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1	—	—	携帯型水温計	1	1	1	0	使用済燃料ビット温度 (AM用) により使用済燃料ビット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B、C)：当該ループの計器数

*1：使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	SBO影響					
							A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合				A 直流電源を 延命した場合		B 直流電源を 延命した場合			
6. 原水槽を水頭とした可搬型大型ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位との関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2 * 1	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位との関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			携帯型水位計	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位計の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			携帯型水位・水温計	1	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により携帯型水位・水温計の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 () 内はPAM	計器名称	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合 直後		SBO影響 B 直流電源を 延命した場合 直後				
原水罐を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	使用済燃料ピットの電圧 2次系純水タンク水位 ろ過水タンク水位	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 排気筒ガスモニタ 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 2次系純水タンク水位 ろ過水タンク水位	1	—	—	1	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	SBO		
			2	—	—	1	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	—		
			1	—	—	2	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	—	
			1	—	—	2	使用済燃料ピット監視カメラ	0	1	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	—	
			1	—	—	2	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	0	2	2	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	—
			2	「1, 2号中央制御室に確認」	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			4	2 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
 A (B, C) : 当該ループの計器数
 * 1 : 計器取り付け後監視可能
 * 2 : 試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
 * 3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 * 4 : 4個のうち2個は、1, 2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器故障等	SBO			
									A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1.11.2.2 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の対応手順 (1) 使用済燃料ピットへのスプレイ a. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型スプレ イノズルによる使用済燃料 ピットへのスプレイ	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。		
			2	2	0	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。	
			2	2	0	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2	*1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	2	0	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2	*1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	2	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	1	0	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	2	*1	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。
			2	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 機器。

全: すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数
*1: 計器取り付け後監視可能
*2: 使用済燃料ピット監視カメラ空荷監視を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器故障等	SBO				
									A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合						
a. 海水を用いた可搬型大型 淡水ポンプ車及び可搬型スチ レインゾーンの使用する使用済燃料 ピットへのスプレイ	使用済燃料ピット の監視 操作	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	0	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 推定可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 推定可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	* 1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット監視カメラによる 傾向推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピットエアモニタに よる放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPM	計器名称	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後		SBO影響 B直流電源を 延命した場合 直後					
a. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型スプレ イノズルによる使用済燃料 ビットへのスプレー	操作 使用済燃料ビ ットの監視	使用済燃料ビ ットの監視	使用済燃料ビットエアモニ タ	②	—	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
			非気筒ガスモニタ	0 * 2	—	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	2	0	0	0	使用済燃料ビット可搬型エアモニタ により使用済燃料ビットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
			使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	0	①	—	使用済燃料ビットエアモニ タ	1	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ビット エアモニタにより使用済燃料ビット 可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ビット監視カメラ * 3	0	—	—	使用済燃料ビット可搬型エリ アモニタ	1	0	1	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ビット監視カメラ * 3	0	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ * 3	2	2	2	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ビット監視カメラ * 3	0	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ * 3	2	0	2 * 1	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ビット監視カメラ * 3	0	—	—	使用済燃料ビット監視カメラ * 3	2	2	2	0	0	0	使用済燃料ビット水位 (AM) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ビット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ビットの状態を推定可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 試料採取に必要なサンプアラ電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器名称等	SBO		
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合				
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ年 及び可搬型スプレインゾルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 確認により使用済燃料ピットの状態を 確認可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	* 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピット水位の関係を 使用する放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	* 1	—	—	—	—	—	—	—	—	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	2	* 1	—	—	—	—	—	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 及び使用済燃料ピット水位の関係を 使用する放射線量率と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM		SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレインジェクタ による使用済燃料ピットへのス プレイ	操作	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	0	2	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2 * 1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び 使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピットエリアモニ タ	1	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラ * 2 による傾向推定可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット 水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
			計器名称	計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響			
							A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
h. 代替給水ピットを必要と した可搬型大型送水ポンプ等 及び可搬型スプレイノズルに よる使用済燃料ピットへのス プレイ	操作 使用済燃料ピッ トの監視	使用済燃料ピット 監視	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ により使用済燃料ピットエアモニタ の代替監視可能。	監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。 監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。 監視事項は 代替ハラ メータにて 確認。
			非気筒ガスモニタ	2	—	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ により使用済燃料ピットエアモニタ の代替監視可能。	
			使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット エアモニタにより使用済燃料ピット 可搬型エアモニタの代替監視可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量率と水出しの両方や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用 済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用 済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用 済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 計器取り付け後監視可能

*2 : 試験採取に必要なサンプアラ電源が喪失するため監視不可

*3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器状態等	SBO				
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合						
c. 原水槽を水源とした可搬式大型ポンプ車及び可搬式スプレイン/スルによる使用済燃料ピットへのスプレー	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM)により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。				
			使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM)により使用済燃料ピット温度 (AM)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)及び使用済燃料ピット水位 (可搬型)により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	*1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)及び使用済燃料ピット水位 (可搬型)により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピットエアモニタによる放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	*1	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	*1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	0	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用)及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
 *1：計器取り付け後監視可能
 *2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
			計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPM	SBO影響		計器状態等	SBO		
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合				
c. 原水槽を水源とした可搬式大型ポンプ車及び可搬式スプレイン/スルによる使用済燃料ピットへのスプレー	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器数 ()内はPM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPM	計器名称	SBO影響 A 直流電源を 延命した場合 直後		SBO影響 B 直流電源を 延命した場合 直後						
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	—	—	—	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。		
			非気筒ガスモニタ	—	—	—	2	0 * 2	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	—	1	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	—	—	—	2	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水出しの使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	—	—	—	2	2	2	2	2	2	2	使用済燃料ピット水位 (AM) による放射線量率と水出しの使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			2次系純水タンク水位	—	「1, 2号中央制御室に確認」	—	2	2	2	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			ろ過水タンク水位	—	「1, 2号中央制御室に確認」	—	4	2 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0 * 4	0	—	—
			水源の確保	—	—	—	2	2	2	2	2	2	2	0	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：試料採取に必要なサンプアラーム電源が喪失するため監視不可

* 3：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
* 4：4個のうち2個は、1, 2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
									A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合				
4. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び給水車による燃料取扱い時(使用済燃料ピット内の燃料体等)への放水	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位による傾向監視により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	0	2	*1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	②	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ #2	1	0	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空命装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		計器数 ()内はPM	計器名称	補測パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		計器数 ()内はPM		SBO影響	
			直後	A直流電源を 延命した場合					直後	B直流電源を 延命した場合				
d. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による燃料取扱棟(使用済燃料ピット内の燃料体等)への放水	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		非気筒ガスモニタ	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	①	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	1	0	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水位の両方を使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	1	0	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水位の両方を使用済燃料ピット監視カメラによる傾向監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		モニタリングポスト	7	0	0	③	—	使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラによる放射線量率の監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		モニタリングステーション	1	1	0	③	—	使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラによる放射線量率の監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		周辺環境の放射線量率	7	0	0	③	—	使用済燃料ピット監視カメラ *3	1	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラによる放射線量率の監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
		操作	「1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」のうち1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への拡散抑制」の操作手順と同様である。											

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1: 計器取り付け後監視可能

*2: 試料採取に必要なサンプリング電源が確保するため監視不可

*3: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響 A直流電圧を 延命した場合 直後	B直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	A直流電圧を 延命した場合 直後	B直流電圧を 延命した場合	計器仕様等	SBO			
															使用済燃料ピット温度	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット温度 (AM用)
1.11.2.2 使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の対応手順 (2) 漏えい緩和	a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和 判断 基準 確	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) による傾向監視により使用済燃料ピット水位の状態を推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2 * 1	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2 * 1	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による放射線量と水位の関係や使用済燃料ピット水位 (AM用) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数
* 1 : 計器取り付け後監視可能
* 2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空荷監視を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
			計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 () 内はPAM	計器名称	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後		SBO影響 B直流電源を 延命した場合 直後							
a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和	判 断 基 礎 理	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	—	—	—	1	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットエアモニタの代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。				
			非気筒ガスモニタ	—	—	—	2	0 * 2	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて代替監視可能。			
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	—	—	—	1	0	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて代替監視可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	—	—	—	1	0	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて代替監視可能。	
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	—	—	—	2	2	2	2	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて代替監視可能。
			使用済燃料ピット監視カメラ * 3	—	—	—	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による放射線量率と水出しの関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能

* 2 : 試験採取に必要なサンプアラ電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																																																											
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO																																																																																																								
a. 使用済燃料ピット漏えい 緩和 操作	使用済燃料ピット水位	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	0	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																																								
															使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	2 * 1	0	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																																											
																												使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	2 * 1	0	0	2 * 1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																														
																																									使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																																	
																																																						使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																																				
																																																																			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	2	0	0	0	0	2	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																																							
																																																																																使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット水位の関係で使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。																										
																																																																																													使用済燃料ピットエリアモニタ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。													
																																																																																																										使用済燃料ピット監視カメラ * 2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位により使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
* 1：計器取り付け後監視可能
* 2：使用済燃料ピット監視カメラ型冷装置を含む
A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO			
									A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1.11.2.3 重大事故等時における使用済燃料ピットの監視の手順 (1) 使用済燃料ピットの状態監視	—	—	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	2	2	2	使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位	2	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
—	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	2	2	0	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位により使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	2	2	0	2	2	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済燃 料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

* 1：計器取り付け後監視可能

* 2：使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置を含む

A (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ												
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後			A直流電源を 延命した場合
a. 常設設備による使用済燃料ピットの状態監視	-	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ビットエリアモニタ	1	1	0	0	②	-	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			非気筒ガスモニタ	2	0 * 2	0	0	②	-	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
			使用済燃料ビット監視カメラ * 3	1	0	1	0	①	-	使用済燃料ビット水位 (AM用) 使用済燃料ビット水位 (可搬型) 使用済燃料ビット傾度 (AM用)	2	2	2 * 1	0	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A, (B, C) : 当該ループの計器数

* 1 : 計器取り付け後監視可能
* 2 : 試料採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

* 3 : 使用済燃料ビット監視カメラ型冷温監視を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
			計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		評価					
					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合					A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合						
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	機械監視機能	原子炉補機冷却水供給管路	原子炉補機冷却水供給管路流量	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉補機冷却水供給管路流量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—			
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—			
		使用済燃料ピット温度	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。	
		使用済燃料ピット水位	2	0	0	②	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による放射線量モニタによる使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による放射線量モニタによる使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	①	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) による放射線量モニタによる使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可能。	2	2	2	0	2	0	2	0	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C) : 当該ループの計器数

*1 : 計器取り付け後監視可能
*2 : 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価					
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 () 内はPAM	計器名称	計器数 () 内はPAM	SBO影響		
			計器名称	計器数 () 内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 () 内はPAM					直後	A直流電源を 延命した場合
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	0	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	監視により使用済燃料ピットの状態を推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			携帯型水温計	1	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	1	1	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により携帯型水温計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A (B, C) : 当該ループの計器数

*1: 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			SBO影響			計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	直後	計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A 直流電源を 延命した場合	B 直流電源を 延命した場合	直後					
b. 可搬型設備による使用済燃料ピットの状態監視	操作	使用済燃料ピットの監視	②	-	-	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
						使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2 * 1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
携帯型水位計	1	1	1	1	携帯型水位計	1	1	1	1	携帯型水位計・水時計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。						
携帯型水位・水時計	1	1	1	1	携帯型水位・水時計	1	1	1	1	携帯型水位・水時計の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。						

全：すべてのループの計器の合計数
 * 1：計器取り付け後監視可能
 * 2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む
 A, (B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価		
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
			計器名称	計器数 () 内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
d. 可搬型型による使用済燃料ピットの状態監視	使用済燃料ピットの監視 操作	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピットの状態監視可能。	監視事項は 代替パラメータにて 確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ *2	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) による 放射線量率と水位の関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	監視事項は 主要パラメータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2	*1	0	0	0	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済 燃料ピット可搬型エアモニタにより使 用済燃料ピットの状態を推定可能。	
			使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	

全：すべてのループの計器の合計数
A (B, C)：当該ループの計器数

*1：計器取り付け後監視可能
*2：使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合		SBO影響 延命した場合		
1.12.2.1 炉心の著しい損傷、原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順 (1) 大気への放射性物質の拡散抑制	判 断 基 準 a. 可搬型大気塵海水逆水圧 ンブ取及び海水逆水圧による大気 への放射性物質の拡散抑制	原子炉圧力容器 内の温度	1	1	1 * 1	0	②	—	1次冷却材温度 (広域—高温 側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
原子炉格納容器 内の放射線率		2 (2)	2	1	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域—低温 側) 格納容器内高レンジエリアモ ニタ (低レンジ) モニタリングポスト モニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	3 (3)	0 (全)	0	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
原子炉格納容器 への圧入量		2	2	0	0	②	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		1	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器仕様等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合 直後	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合 直後	B交流電源を 延命した場合				
a. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器内温度	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			モニタリングポスト	7	0	0	③	器外の放射線量を確認するパラメータ	格納容器圧力 (熱域)	1	1	0	0	格納容器内温度	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			モニタリングステーション	1	0	0	③	器内の放射線量を確認するパラメータ	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をjつて格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合
b. ガンマカメラ又はサーモカメラによる放射性物質濃度の検出の検り込み	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	1	1	1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器内の放射線量率	2 (2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度 (広域-低温側) 格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	7 (2)	7 (2)	0	1	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ流量の代替監視可能。	
	操作	操作	原子炉格納容器への注水量	1	1	1	0	—	—	燃料取扱用水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
			代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	補助給水レベル水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水レベル水位及び補助給水レベル水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

*1：常用系から機械を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ																				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価										
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	SBO											
1.12.2.1 や心の著しい損傷、原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順。 (2) 海洋への放射性物質の拡散抑制 a. 海洋への拡散抑制設備（シルトフエンス）による海洋への放射性物質の拡散抑制	判 断 基 準																					
(a) 集水料シルトフエンス による海洋への放射性物質の 拡散抑制	操 作																					
(b) 貯集機シルトフエンス による海洋への放射性物質の 拡散抑制	判 断 基 準																					
	操 作																					

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	
SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合				B直流電源を 延命した場合	SBO影響 直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合
		1.12.2.1 炉心の著しい損傷、原子炉格納容器及びアニュラス部の破損時の手順 (2) 海洋への放射性物質の拡散抑制 b. 海洋への拡散抑制設備 (放射性物質吸着剤) による 海洋への放射性物質の拡散抑 制	判 断 基 礎 操 作	「1.12.2.1(1) a. 可搬型大容当海水送水ポンプ車及び取水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様である。								

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
											A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合				
1.12.2.2 使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷時の手順 (1) 大気への放射性物質の拡散抑制	判 断 基 準	使用済燃料ピット 下の監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。		
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	2*1	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	0		使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	1*1	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の傾向や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の傾向や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0		評価範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の傾向や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0		使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量率と水位の傾向や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可 能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数
*1：計器取付後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
a. 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車及び可搬型スプレイン ノズルによる大気への放射 性物質の拡散抑制	使用済燃料ピット の監視	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	0	0	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
		排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	—	1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 蒸気発生器水位 (狭域) 主蒸気ライン圧力	2 (2) 4 (2) 2 (2) 12 (6) 12 (6)	2 (2) 4 (2) 2 (2) 12 (全) 12 (全)	1 1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位 (広 域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主 蒸気ライン圧力により、使用済燃料 ピット周辺の放射線量の傾向監視が 可能。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
		使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	1	0	0	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット エアモニタにより使用済燃料ピット 可搬型エアモニタの代替監視可能。	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	①	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)。 放射線量モニタとの関係や使用済燃料 ピット監視カメラによる傾向監視によ り使用済燃料ピットの状態を推定可 能。	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	①	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)。 使用済燃料ピット水位 (可搬 型)。 使用済燃料ピット温度 (AM 用)。 使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	
		モニタリングポスト	7	0	0	③	屋外の放射線量を確認 するパラメータ	7	0	0	0	0	0	0	—
		モニタリングステーション	1	1	0	③	屋外の放射線量を確認 するパラメータ	1	1	0	0	0	0	0	—

「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2.2(1) a. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ」の操作手順と同様である。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	SBO				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合			B交流電源を 延命した場合			
b. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 及び可搬型スプレイングスル による大気への放射性物質の拡 散抑制	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピ ットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により 使用済燃料ピット温度の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM 用)	2	2	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット 温度により使用済燃料ピット温度 (AM 用) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット監視カメラによる傾向 監視により使用済燃料ピットの状態を 推定可能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	2*1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) により 使用済燃料ピット水位の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使 用済燃料ピット水位 (可搬型) 及び 使用済燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エリ アモニタ	1	0	0	1*1	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (可搬 型)	2	0	2*1	0	—	—	使用済燃料ピットエリアモニ タ	1	1	0	0	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 及び使用済燃料ピットエリアモニタに よる放射線量と水位の関係や使用済 燃料ピット監視カメラにより使用済 燃料ピット水位 (AM用) の代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	0	0	—	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピッ ト水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット 水位により使用済燃料ピット水位 (可 搬型) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：計器故障後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	B:交流電源を 延命した場合				
a. 代替給水ピットを水原とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレインの操作手順と同様である。 b. 代替給水ピットを水原とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレインの操作手順と同様である。 c. 代替給水ピットを水原とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレインの操作手順と同様である。 d. 代替給水ピットを水原とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる使用済燃料ピットへのスプレインの操作手順と同様である。	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。		
		排気筒ガスモニタ	0 * 1	0	0	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	
			2	0 * 1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	
			2	0 * 1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	
			1 2 (6)	1 2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。	
		使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	主蒸気ライン圧力	1 2 (6)	1 2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、使用済燃料ピット周辺の放射線量率の傾向監視が可能。
			1	0	0	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	1	0	0	0	0	使用済燃料ピットエアモニタにより使用済燃料ピット可搬型エアモニタの代替監視可能。
			2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM 用)	2	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用) による放射線量率と水位の関係や使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピット周辺の放射線量率により使用済燃料ピットの状態を推定可能。
		モニタリングポスト	1	0	1	0	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)
			7	0	0	0	—	使用済燃料ピット監視カメラ	2	2	2	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット温度 (AM 用)
1	0		0	0	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM 用)、使用済燃料ピット温度 (AM 用) 及び使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの状態を推定可能。		
周辺環境の放射線量率	7	0	0	0	—	モニタリングポスト	7	0	0	0	0	0	—		
	1	0	0	0	—	モニタリングステーション	1	0	0	0	0	0	—		

全: すべてのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数
* 1: 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
* 2: 計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	SBO				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合						
c. 原水槽を水源とした可搬型大型ポンプシステムによる大気中への放射性物質の拡散抑制	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピット温度	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット温度 (AM用) により使用済燃料ピット温度の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	0	使用可能であれば、使用済燃料ピット温度により使用済燃料ピット温度 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2*1	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	—	—	使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により使用済燃料ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	0	計測範囲内であれば、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

*1：計器故障後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
c. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへの放射性物質の拡散抑制	使用済燃料ピットの監視	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。			
		排気筒ガスモニタ	1次冷却材圧力 (広域)	2	0 * 1	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域) , 加圧器水位, 格納容器再循環サンプ水位 (広域) , 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, 使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	2	(2)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			加圧器水位	4	(2)	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域) , 加圧器水位, 格納容器再循環サンプ水位 (広域) , 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, 使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	4	(2)	4	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	(2)	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域) , 加圧器水位, 格納容器再循環サンプ水位 (広域) , 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, 使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	2	(2)	2	1	1	監視事項は代替パラメータにて確認可能。	
			蒸気発生器水位 (狭域)	12	(6)	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域) , 加圧器水位, 格納容器再循環サンプ水位 (広域) , 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, 使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	12	(6)	12	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
		使用済燃料ピットの監視	主蒸気ライン圧力	12	(6)	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域) , 加圧器水位, 格納容器再循環サンプ水位 (広域) , 蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により, 使用済燃料ピット周辺の放射線量の傾向監視が可能。	12	(6)	12	3	3	3	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピットエアモニタ	1	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
		周辺環境の放射線量率	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
			使用済燃料ピット監視カメラ	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	2	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。
使用済燃料ピット監視カメラ	2		0	0	—	—	使用済燃料ピット監視カメラ	2	0	0	0	0	0	監視事項は代替パラメータにて確認可能。		
操作	モニタリングポスト	7	0	0	—	—	モニタリングポスト	7	0	0	0	0	0	—		
	モニタリングステーション	1	0	0	—	—	モニタリングステーション	1	0	0	0	0	0	—		

「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」のうち、1.11.2(1) c. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへの放射性物質の拡散抑制」の操作手順と同様である。

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

* 1: 試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2: 計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	
	判 断 基 礎 型	1.12.2.2(1) a. 「海水を用いた可搬型人型送水ポンプ車及び可搬型スプレインノズルによる大気への放射性物質の拡散抑制」と同様である。													
d. 可搬型大容量海水送水ポンプ車及び送水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	操 作	使用済燃料ピット温度	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット温度 (AM用)	2	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	②	—	使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	2*1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1*1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1*1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2*1	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1*1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2*1	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (AM用)	2	2	0	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	1*1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	2	0	2*1	0	①	—	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ	1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	
d. 可搬型大容器毎時水送水泵 用配管及び放水筒による大気 への放射性物質の拡散抑制	使用済燃料ピットエアモニタ	使用済燃料ピットの監視	1	1	②	—	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	排気筒ガスモニタ	使用済燃料ピットの監視	2	0*1	②	—	1次冷却材圧力 (圧域) 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位 (圧域) 蒸気発生器水位 (軟域) 主蒸気ライン圧力	2 4 2 1 2 1 2	(2) (2) (6) (全) (全)	1 1 1 3 3	1 1 1 3 3	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。 1次冷却材圧力 (圧域)、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位 (圧 域)、蒸気発生器水位 (軟域) 及び主 蒸気ライン圧力により、使用済燃料 ピット周辺の放射線量の傾向監視が 可能。	
	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	使用済燃料ピットの監視	1	0	①	—	使用済燃料ピットエアモニ タ	1	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	使用済燃料ピット監視カメラ	使用済燃料ピットの監視	1	0	①	—	使用済燃料ピット監視カメラ	1	0	1	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	モニタリングポスト	周辺環境の放射 線量率	7	0	③	屋外の放射線量を確認 するパラメータ	使用済燃料ピット水位 (AM 用) 使用済燃料ピット水位 (可搬 型) 使用済燃料ピット温度 (AM 用) 使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	2 2 2 1	2 2 2 0	2 2 2 0	0 0 0 0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。 使用済燃料ピット水位 (AM用)、使用 済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済 燃料ピット温度 (AM用) 及び使用済燃 料ピット可搬型エアモニタにより復 用済燃料ピットの状態を推定可能。	
	モニタリングステーション	周辺環境の放射 線量率	1	0	③	屋外の放射線量を確認 するパラメータ	使用済燃料ピット可搬型エア モニタ	1	0	0	0	0	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可
*2：計器取付け後監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
	分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO
c. ガンマカメラ又はサーモカメラによる放射性物質濃度の測定の繰り返し	1.12.2.2(1)a. 「海水を用いた可搬型人型落水ポンプ及び可搬型スプレイズルによる大気への放射性物質の拡散抑制」と同様である。												
	判断基準 操作												

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	SBO	
1.12.2.2 使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい出櫃時の手順 (2) 海洋への放射性物質の拡散抑制 *、海洋への拡散抑制設備（シルトフエンス）による海洋への放射性物質の拡散抑制	判 断 基 準	1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び取水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様である。										計器故障等
(a) 集水料シルトフエンス による海洋への放射性物質の 拡散抑制	操 作	-										
(b) 貯集槽シルトフエンス による海洋への放射性物質の 拡散抑制	判 断 基 準	1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び取水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様である。										
	操 作	-										

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価
		分類	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響	
パラメータ 分類	パラメータ 分類理由		計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	計器故障等
1.12.2.2 使用済燃料ピット内の燃料体管の著しい損傷時の手順 (2) 海洋への放射性物質の拡散抑制 b. 海洋への拡散抑制設備 (放射性物質吸着剤) による 海洋への放射性物質の拡散抑 制	判 断 基 礎 性 操 作	1.12.2.2(1) d. 「可搬型大容量海水送水ポンプ車及び取水船による大気への放射性物質の拡散抑制」と同様である。										

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.12 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 経過後	B直流電源を 経過後	A直流電源を 経過後	B直流電源を 経過後							
1.12.2.3 原子炉建屋周辺における航空機衝突による航空機燃料火災時の手順 (1) 初期対応における延焼防止処置																		
a. 化学消防自動車及び水罐 付消防ポンプ自動車による泡 消火	判断基準 操作																	
	水源の確保	4	2 * 1	0 * 1	0 * 1													
b. 可搬型大型送水ポンプ車 及び小型放水車による泡消火	判断基準 操作																	
c. 大規模水災用消防自動車 による泡消火	判断基準 操作																	

全：すべてのループの計器の合計数 * 1：4個のうち2個は、1、2号中核炉室に配置する。
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響						
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (a) 燃料取扱用海水ピットを水源とした対応手順 (b) 燃料取扱用海水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウランタリ高圧時の原子炉容器への注水	判 断 基 準	最終ヒートシンク の確保	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	①	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	①	—	1次冷却材温度 (広域-低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			燃料取扱用海水ピット水位	2 (2)	2	1	1	①	—	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			水脈の確保	—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			—	—	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	3 (全)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
操 作	1.2 原子炉冷却材圧力バウランタリ高圧時に発電用蒸気炉を冷却するための手順等 のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。																

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器		抽出パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合 直後	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合 直後	B交流電源を 延命した場合			
(a) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内への冷却水供給 (b) ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却水供給 (c) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (d) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (e) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (f) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (g) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (h) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (i) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (j) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (k) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (l) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (m) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (n) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (o) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (p) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (q) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (r) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (s) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (t) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (u) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (v) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (w) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (x) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (y) ろ過水タンクを水源とした対応手順 (z) ろ過水タンクを水源とした対応手順	1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 1.13.2.2. 水源を利用した対応手順 1.13.2.3. 水源を利用した対応手順 1.13.2.4. 水源を利用した対応手順 1.13.2.5. 水源を利用した対応手順 1.13.2.6. 水源を利用した対応手順 1.13.2.7. 水源を利用した対応手順 1.13.2.8. 水源を利用した対応手順 1.13.2.9. 水源を利用した対応手順 1.13.2.10. 水源を利用した対応手順 1.13.2.11. 水源を利用した対応手順 1.13.2.12. 水源を利用した対応手順 1.13.2.13. 水源を利用した対応手順 1.13.2.14. 水源を利用した対応手順 1.13.2.15. 水源を利用した対応手順 1.13.2.16. 水源を利用した対応手順 1.13.2.17. 水源を利用した対応手順 1.13.2.18. 水源を利用した対応手順 1.13.2.19. 水源を利用した対応手順 1.13.2.20. 水源を利用した対応手順 1.13.2.21. 水源を利用した対応手順 1.13.2.22. 水源を利用した対応手順 1.13.2.23. 水源を利用した対応手順 1.13.2.24. 水源を利用した対応手順 1.13.2.25. 水源を利用した対応手順 1.13.2.26. 水源を利用した対応手順 1.13.2.27. 水源を利用した対応手順 1.13.2.28. 水源を利用した対応手順 1.13.2.29. 水源を利用した対応手順 1.13.2.30. 水源を利用した対応手順 1.13.2.31. 水源を利用した対応手順 1.13.2.32. 水源を利用した対応手順 1.13.2.33. 水源を利用した対応手順 1.13.2.34. 水源を利用した対応手順 1.13.2.35. 水源を利用した対応手順 1.13.2.36. 水源を利用した対応手順 1.13.2.37. 水源を利用した対応手順 1.13.2.38. 水源を利用した対応手順 1.13.2.39. 水源を利用した対応手順 1.13.2.40. 水源を利用した対応手順 1.13.2.41. 水源を利用した対応手順 1.13.2.42. 水源を利用した対応手順 1.13.2.43. 水源を利用した対応手順 1.13.2.44. 水源を利用した対応手順 1.13.2.45. 水源を利用した対応手順 1.13.2.46. 水源を利用した対応手順 1.13.2.47. 水源を利用した対応手順 1.13.2.48. 水源を利用した対応手順 1.13.2.49. 水源を利用した対応手順 1.13.2.50. 水源を利用した対応手順 1.13.2.51. 水源を利用した対応手順 1.13.2.52. 水源を利用した対応手順 1.13.2.53. 水源を利用した対応手順 1.13.2.54. 水源を利用した対応手順 1.13.2.55. 水源を利用した対応手順 1.13.2.56. 水源を利用した対応手順 1.13.2.57. 水源を利用した対応手順 1.13.2.58. 水源を利用した対応手順 1.13.2.59. 水源を利用した対応手順 1.13.2.60. 水源を利用した対応手順 1.13.2.61. 水源を利用した対応手順 1.13.2.62. 水源を利用した対応手順 1.13.2.63. 水源を利用した対応手順 1.13.2.64. 水源を利用した対応手順 1.13.2.65. 水源を利用した対応手順 1.13.2.66. 水源を利用した対応手順 1.13.2.67. 水源を利用した対応手順 1.13.2.68. 水源を利用した対応手順 1.13.2.69. 水源を利用した対応手順 1.13.2.70. 水源を利用した対応手順 1.13.2.71. 水源を利用した対応手順 1.13.2.72. 水源を利用した対応手順 1.13.2.73. 水源を利用した対応手順 1.13.2.74. 水源を利用した対応手順 1.13.2.75. 水源を利用した対応手順 1.13.2.76. 水源を利用した対応手順 1.13.2.77. 水源を利用した対応手順 1.13.2.78. 水源を利用した対応手順 1.13.2.79. 水源を利用した対応手順 1.13.2.80. 水源を利用した対応手順 1.13.2.81. 水源を利用した対応手順 1.13.2.82. 水源を利用した対応手順 1.13.2.83. 水源を利用した対応手順 1.13.2.84. 水源を利用した対応手順 1.13.2.85. 水源を利用した対応手順 1.13.2.86. 水源を利用した対応手順 1.13.2.87. 水源を利用した対応手順 1.13.2.88. 水源を利用した対応手順 1.13.2.89. 水源を利用した対応手順 1.13.2.90. 水源を利用した対応手順 1.13.2.91. 水源を利用した対応手順 1.13.2.92. 水源を利用した対応手順 1.13.2.93. 水源を利用した対応手順 1.13.2.94. 水源を利用した対応手順 1.13.2.95. 水源を利用した対応手順 1.13.2.96. 水源を利用した対応手順 1.13.2.97. 水源を利用した対応手順 1.13.2.98. 水源を利用した対応手順 1.13.2.99. 水源を利用した対応手順 1.13.2.100. 水源を利用した対応手順	格納容器スプレイ流量	2	0	0	—	—	—	燃料取水ポンプ水位	2 (2)	1	1	—	監視事項は 代測ベラ にて 確認。	
		原子炉格納容器 への注水量	B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMU)	1	1	0	—	—	—	燃料取水ポンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	監視事項は 代測ベラ にて 確認。
		水源の確保	燃料取水ポンプ水位	2 (2)	1	1	—	—	—	燃料取水ポンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	—	監視事項は 代測ベラ にて 確認。
			補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 * 1	0 * 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		操作	【1.6 原子炉格納容器内の冷却器のための手順等】のうち、1.6.2.1(i) b, (b) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内への冷却水供給」及び1.6.2.2(i) b, (b) 「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内への冷却水供給」にて整備する。												

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：4個のうち2個は、1、2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合							
(a) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 ※、代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量 最終ヒートシンクの確保	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	0	1 * 1	0	1次冷却材温度 (広域→高温側) により1次冷却材温度の代替監視可能。		
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度の代替監視可能。	
		補助給水ピット水位	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		最終ヒートシンクの確保	3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	1 (B)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	最終ヒートシンクの傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域→高温側) 補助給水ピット水位	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
			1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) により蒸気発生器水位 (広域) の代替監視可能。
			補助給水ピット水位	2 (2)	2 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
			蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位 (狭域) 1次冷却材温度 (広域→高温側)	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)		3 (全)	3 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) により蒸気発生器水位 (狭域) の代替監視可能。		
補助給水ピット水位	補助給水ピット水位	2 (2)	2 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
	蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
操作																		
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

*1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価							
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器												
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合								
		計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	直後	B直前電源を 延命した場合	評価	
		原子炉圧力容器 内の温度			1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	炉心出口温度により1次冷却材温度の代替監視可能。	1	1	1*1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	3 (3)	3 (全)	1次冷却材温度 (広域→低温側) により1次冷却材温度の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	3 (全)	2 (2)	2	補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	2 (2)	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	3 (3)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	2	2	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	2 (2)	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					水源の確保	2 (2)	2	1	1	1	2	2	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	2 (2)	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
					操作														
<p>「1.2 原子炉冷却材圧力容器圧力低下時の蒸気発生器への注水」</p> <p>※1：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能</p> <p>※2：常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能</p>																			

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合 直後	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合 直後	B交流電源を 延命した場合			
I.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 代替給水ピットを水源とした対応手順 f. 代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 内の注水量	格納容器スプレイ流量	2	0	0	0	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMU)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替 監視可能。	
(a) 代替給水ピットを水源 とした出射型大型送水ポンプ 車による原子炉格納容器内の 冷却	原子炉格納容器 への注水量	原子炉格納容器 内の注水量	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	0	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	水源である燃料取替用水ピット水位 の傾向監視により B-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替 監視可能。					
水銀の確保	水銀の確保	水銀の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	0	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	水源である燃料取替用水ピット水位及 び補助給水ピット水位の傾向監視によ り代替格納容器スプレイポンプ出口積 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により代替格納容器スプレ イポンプ出口積算流量の代替監視可能。	
操作	【1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等】のうち、1.6.2.1(1) b, (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」 及び1.6.2.2(1) b, (d) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器											
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合					
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 搬送と迅速送水ポンプ車による 蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) の 代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	1	1	1*1	0	—	炉心出口温度により1次冷却材温度 の代替監視可能。			
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) による 代替監視可能。			
		炉心出口温度	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	炉心出口温度により1次冷却材温度 の代替監視可能。	1	1	1*1	0	—	炉心出口温度により1次冷却材温度 の代替監視可能。			
		補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	—		水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンクが確保 されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	1	—		蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確保 されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1,2 (6)	1,2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0		蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確保 されていることを推定可能。	
		最終ヒートシンク の確保	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1,2 (6)	1,2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0		炉心監視範囲内であれば蒸気発生器水位 (広 域) の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) , 1 次冷却材温度 (広域→低温側) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (広域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。			
		水源の確保	2 (2)	2	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	—		蒸気発生器水位 (広域)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度 (広域→高温側) の変化 を傾向監視することにより、蒸気発生 器水位 (広域) を推定し、最終ヒート シンクが確保されていることを推定可 能。					

※1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を遠隔監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手続等」のうち、1.2.2.1(2)の、「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて監視する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合				
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 機組と送水ポンプ車による 蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	1	1	1*1	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側)により1次冷却材温度の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)により1次冷却材温度の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	1	1	1*1	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		補助給水ピット水位	2 (2)	2	—	—	—	—	—	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	2	2	1	1	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
操作	水源地の確保	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (広域) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (狭域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力カウンタ」高圧時に発電用原子炉を冷却するための手続等」のうち、1.2.2.1(2)の、「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて監視する。										—					

*1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はDPM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はDPM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	A異常電源を 延命した場合 直後	B異常電源を 延命した場合 直後				
(a) 原水槽を水源とした可 搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水	1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 (c). 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力カウンタリ低圧時の原子炉容器への注水	燃料取替用水ピット水位	1	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	1	燃料取替用水ピット水位の 水位である燃料取替用水ピット水位及び 補助給水ピット水位の傾向監視により 代替格納容器スプレイポンプ出口種 算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			2 (2)	補助給水ピット水位	—	—	2 (2)	補助給水ピット水位	—	—	2 (2)	補助給水ピット水位	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視による 代替格納容器スプレイポンプ出口種 算流量の代替監視可能。	
			4 (2)	加圧器水位	—	—	4 (2)	加圧器水位	—	—	4 (2)	加圧器水位	1	加圧器水位の傾向監視により代替格納 容器スプレイポンプ出口種算流量の代 替監視可能。	
			1	原子炉容器水位	—	—	1	原子炉容器水位	—	—	1	原子炉容器水位	0	原子炉容器水位の傾向監視により代替 格納容器スプレイポンプ出口種算流量 の代替監視可能。	
			2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	—	—	2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	—	—	2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 水位変化により代替格納容器スプレイ ポンプ出口種算流量の代替監視可能。	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 水位変化により代替格納容器スプレイ ポンプ出口種算流量の代替監視可能。	
			2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位の傾向監視による 傾向監視により低圧注入流量の代替監 視可能。	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視による 傾向監視により低圧注入流量の代替監 視可能。	
			4 (2)	加圧器水位	—	—	4 (2)	加圧器水位	—	—	4 (2)	加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。	1	加圧器水位の傾向監視による低圧注入 流量の代替監視可能。	
			1	原子炉容器水位	—	—	1	原子炉容器水位	—	—	1	原子炉容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。	
			2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	—	—	2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	—	—	2 (2)	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替監 視可能。	1	格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替監 視可能。	
			2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	水源である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視による傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	1	水源である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視による傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	
水源の確保	2 (2)	加圧器水位	2	加圧器水位	—	—	4 (2)	加圧器水位	—	—	4 (2)	加圧器水位の傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	1	加圧器水位の傾向監視による高圧注 入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1	原子炉容器水位	—	—	1	原子炉容器水位	—	—	1	原子炉容器水位	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧 注入流量の代替監視可能。	
2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視による 傾向監視により高圧注入流量の代替監 視可能。	—	
		2	補助給水ピット水位	—	—	2 (2)	補助給水ピット水位	—	—	2 (2)	補助給水ピット水位	1	燃料取替用水ピット水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。		
操作															
「1.4 原子炉冷却材圧力カウンタリ低圧時に発電用原子炉を命加するための手順等」のうち、1.4.2.(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて監視する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合				
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器 内の温度	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	炉心出口温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	1	1	1	1	0	炉心出口温度により1次冷却材温度 (広域→高温側)の代替監視可能。		
		1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側)の代替監視可能。	3	3 (全)	3 (全)	3	0	1次冷却材温度 (広域→高温側)の代替監視可能。		
		補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
		判断基準 (a) 原水槽を水源とした可 燃性炉内冷却水ポンプ車による 蒸気発生器への注水	最終ヒートシンク の確保	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3	1	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3	3	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3	3	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3	3	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
		水源の確保	蒸気発生器水位 (広域)	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3	0	1次冷却材温度 (広域→高温側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (広域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
				1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度 (広域→低温側)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3	0	1次冷却材温度 (広域→低温側) の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位 (広域) を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
補助給水ピット水位	2 (2)			2	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)の、「原水槽を水源とした可燃性炉内冷却水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて監視する。 ※1: 常用系から接続を変更することで通常と同じ89点を監視監視可能																

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合					
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (g) 原水槽を水源とした対応手順 f. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器 への在水量	判断基準	格納容器スプレイ流量	2	0	0	—	—	燃料取水用ピペット水位	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取水用ピペット水位の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMU)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により格納容器スプレイ流量 の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	0	—	—	燃料取水用ピペット水位	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取水用ピペットの水位 の傾向監視により B-格納容器スプレ イ冷却器出口積算流量 (AMU) の代替 監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレイ 冷却器出口積算流量 (AMU) の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	0	—	—	燃料取水用ピペット水位	2 (2)	1	1	1	水源である燃料取水用ピペット水位及 び補助給水ピペット水位の傾向監視によ り格納容器再循環サンプ水位の傾向監視 による代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器 への在水量	1	1	1	0	—	—	補助給水ピペット水位	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			原子炉格納容器 への在水量	2 (2)	1	1	1	0	—	—	燃料取水用ピペット水位	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器 への在水量	2 (2)	1	1	1	0	—	—	補助給水ピペット水位	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器 への在水量	2 (2)	1	1	1	0	—	—	燃料取水用ピペット水位	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			原子炉格納容器 への在水量	2 (2)	1	1	1	0	—	—	補助給水ピペット水位	2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 傾向監視により B-格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
操作	【1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等】のうち、1.6.2.1(f) b. (g) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(f) b. (g) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて 整備する。																

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A故障電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A故障電源を 延命した場合 直後	B故障電源を 延命した場合		SBO					
I.13.2.1 水源を利用した対応手順 (8) 脱気器タンクを水源とした対応手順 * 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	蒸気発生器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
				水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	—	—	—	—		—	蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
						3	3	0	0	—	—	—	—	—	—		—	蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。
						3	3	0	0	—	—	—	—	—	—		—	—
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.(2) a.、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		SBO			
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (8) 脱気器タンクを水源とした対応手順 b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バッキングのための蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	2 (2)	2	1	1	1	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシン クが確保されていることを推定可能。
				脱気器タンク水位	3	3 (全)	3 (B)	—	—	—	3 (3)	3	2 (A, C)	1 (B)	1	—
			水源の確保		脱気器タンク水位	3	3	0	0	—	—	—	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3
3	3	0		0		—	—	—	—	—	—	—	—	—		
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バッキング高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.(2) a.、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。													—		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:正常電源を 延命した場合 B:正常電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A:正常電源を 延命した場合 直後	B:正常電源を 延命した場合		SBO				
I.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (8) 脱気器タンクを水源とした対応手順 c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	2 (2)	2	1	1	1	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
			補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—		—	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシン クが確保されていることを推定可能。
				蒸気発生器水位 (圧域)	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	3	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)		1	
			水源の確保	脱気器タンク水位	3	3	0	0	—	—	—	—	—	—		—	—
3	3	0			0	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
操作	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.3.3(1) a.、(b)「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
(a) 海を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	利用 基準 準	最終ヒートシンク の確保	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
				3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	3 (全)	3	2 (A, C)	3	1 (B)	1	蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。			
				1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3	3 (全)	3	3 (全)	3	蒸気発生器水位 (稼域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。			
操 作	水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に蒸気用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.1.(2) e, 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。													

全：すべてのループの計器数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(a) 水を水源とした可搬型 大気送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	利用 基準 準	最終ヒートシンク の確保	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
				3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。						
(b) 水を水源とした可搬型 大気送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	操 作	水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
			蒸気発生器水位 (圧域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。							
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に蒸気用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.1(2) e, 「海水を用いた可搬型大気送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (a) 水を水源とした対応手順 c. 水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ駆圧時の原子炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	①	-	-	-	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により低圧注入流量の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。	
(a) 水を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による原子 炉容器への注水	原子炉圧力容器 への注水量	①	-	-	-	原子炉容器水位	1	1	1	0	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替監 視可能。	
判 断 基 準	原子炉圧力容器 への注水量	①	-	-	-	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により高圧注入流量の代替監 視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入 流量の代替監視可能。	
操 作	水源の確保	①	-	-	-	原子炉容器水位	1	1	1	0	0	0	原子炉容器水位の傾向監視により高圧 注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。	
「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ駆圧時に高圧用原子炉を始動するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)h, (d)「雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。														

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
(a) 水を水源とした可搬型 大気送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	利用 基準 準	最終ヒートシンク の確保	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ヒートシンク が確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
				3 (3)	3 (全)	3 (A, C)	—	—	蒸気発生器水位 (圧域)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (圧域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。		
				2 (2)	2 (全)	1 (全)	—	—	蒸気発生器水位 (稼域)	1 (6)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (稼域) の傾向監視す ることにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。		
操作	水源の確保	補助給水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に蒸電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.1(2) e, 「海水を用いた可搬型大気送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。												

全：すべてのループの計器数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合	SBO影響		計器故障等	
1.13.2.1. 水源を利用した対応手順 (a) 水を水源とした対応手順 f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器スプレイ流量	2	0	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の監視事項は、傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
			B-格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AMH)	1	1	0	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替監視可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替監視可能。
			補助水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AMH) の代替監視可能。
操作	1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等)のうち、1.6.2.1(i) b. (c) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び1.6.2.2(i) b. (c) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて実施する。	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	—
			補助水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	A異常電源を 延命した場合 直後	B異常電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A異常電源を 延命した場合 直後	B異常電源を 延命した場合				
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取扱用水ポンプへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの供給 (b) 原水槽を水線とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの供給 1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの供給 (原子炉容器への注水時の場合)	信号	BOCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1	1*1	0	—	—	—	1次冷却材温度 (広域→高温側)	3 (3)	3 (全)	0	0	監視事項は、原子炉圧力容器内の温度の代替監視可能。
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	監視事項は、主要パラメータにて確認。
	原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	2 (2)	2	1	1	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。
		低圧注入流量	2 (2)	2	1	1	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。
	原子炉圧力容器再循環ポンプ水位 (広域)	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	2	2	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。
		加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。
	原子炉圧力容器再循環ポンプ水位 (広域)	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	2	2	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取扱用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。
		加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を遠隔監視可能
A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1. 原水槽を水取とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用取水ピットへの補給(原子炉容器への圧水中の導管)	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	4	4	0	0	監視事項は主要パラメータにて把握。
		1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	3 (3)	3 (全)	3	0	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	4 (2)	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて把握。
		格納容器内圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	0	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	—	—	2	2	2	0	監視事項は主要パラメータにて把握。
		格納容器圧力 (狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	2	2	0	0	—	—	—	—	4 (2)	4	1	1	監視事項は主要パラメータにて把握。
		格納容器圧力 (AMH)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	0	
		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	2 (2)	2	2	2	—	—	—	2 (2)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて把握。
			格納容器内圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器数 ()内はDPM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	SBO影響					
											A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用冷却水ポンプへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助送水タンクタンク水位	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
				2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	4	4	1		1	
				1	0	0	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	1 (2)	1	1	3		3	(全)
				1	0	0	—	—	主蒸気ライン圧力	1 (2)	1	1	3		3	(全)
				2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	2	1		1	1
				2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	4	4	1		1	1
				1	0	0	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	1 (2)	1	1	3		3	(全)
				1	0	0	—	—	主蒸気ライン圧力	1 (2)	1	1	3		3	(全)
				1	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	1 (2)	2	2	1		1	1
				1	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	1 (2)	4	4	1		1	1
				1	0	0	—	—	蒸気発生器水位（狭域）	1 (2)	1	1	3		3	(全)
				1	0	0	—	—	主蒸気ライン圧力	1 (2)	1	1	3		3	(全)

*1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO	
					A:直流電源を 延命した場合	B:交流電源を 延命した場合			A:直流電源を 延命した場合	B:交流電源を 延命した場合			
1. 原水槽を水源とした可搬 式大型海水ポンプ車による燃 料供給用ポンプ車への燃料給 付(原子炉容器への注水時の場 合)	復水器排ガスモニタ		0 * 1	0			1	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	蒸気発生器ブローダウンモニ タ		0 * 2	0			1	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	高感度型主蒸気管モニタ		3	0			3	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
	蒸気発生器水位 (狭域)	密閉容器/パイ プの監視						1.2 (6)	3 (3)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	主蒸気ライン圧力							1.2 (6)	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	補助給水流量							3 (3)	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	蒸気発生器水位 (広域)							3 (3)	3 (3)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	補助給水流量							3 (3)	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	1次冷却材圧力 (広域)							2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	加圧器水位							4 (2)	4 (2)	4 (2)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	格納容器再循環サンプ水位 (広域)							2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	蒸気発生器水位 (狭域)							1.2 (6)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
	主蒸気ライン圧力							1.2 (6)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランクトロップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器候補等	SBO								
					直後	A直前電源を 延命した場合			直後	B直前電源を 延命した場合										
1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの供給 (原子炉容器への注水中の停止)	判断基準 格納容器ベイパ スの監視	格納容器ベイパ スの監視	余熱除去冷却器入口温度	2	0	-	-	-	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。					
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
									余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									格納容器サンプ水位	2	1	0	0	格納容器サンプ水位	2	1	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇がないこと の確認によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									格納容器サンプ水位	2	1	0	0	格納容器サンプ水位	2	1	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
									格納容器サンプ水位	2	1	0	0	格納容器サンプ水位	2	1	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全: オブジェクトのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
1. 原水槽を水櫃とした可搬型大型汲水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの構設(原子炉容器への注水中の場合)	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)並びにモニタリングシステムの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	7	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	1	—	—	—	エアロックエアモニタ	1	2	1	0	0	エアロックエアモニタ及び炉内核計測区監視エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	1	1	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			エアロックエアモニタ	1	1	0	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器ガスマモニタ	1	0*1	0	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試料採取に必要なサンプリング電線が現示するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価				
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	計器名称	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合			
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水の場合)	電源	機器監視機能	計器名称	SBO影響		SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	SBO	
			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
			2	2	0	2	0	0	2	0	0	0	-
			2	2	0	2	0	0	2	0	0	0	-
			4	4	0	4	0	0	4	0	0	0	-
			7 (2)	7	1	7	1	1	7	1	1	1	-
			3	3	0	3	0	0	3	0	0	0	-
			2	2	2	2	2	0	2	2	0	0	-
			4	4	0	4	0	0	4	0	0	0	-
			4	4	4	4	4	0	4	4	0	0	-

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価							
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数 ()内はPAM	計器名称	補測パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後					B:交流電源を 延命した場合	SBO		
1. 原水槽を水源とした可搬 型大形送水ポンプ車による燃 料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水中の場 合)	操 作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
			2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に設置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 * 1 0 * 1	0 * 1	0 * 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
* 1：4個のうち2個は、1、2号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価					
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
Ⅱ. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給(原子炉燃料容器内へのスプレイ中の場合)	信号	RCGS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1 * 1	0	—	—	1次冷却材温度 (広域—高阻側)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	1次冷却材温度 (広域—高阻側) により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて		
	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項はサブグループ、1次冷却材圧力 (広域) 及び1次冷却材温度 (広域—高阻側) により原子炉圧力容器内水位サブグループ状態が過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。		
		1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	0	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。			
原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域—高阻側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。	3 (3)	3 (全)	0	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度 (広域—高阻側) により1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて			

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価																																																																																
			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		補脚パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響																																																																																			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合																																																																																		
ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉燃料容器内へのスプレイ中の場合）	原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	2 (2)	2	1	—	2 (2)	2	1	1	1	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	欠陥である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。 本館である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																																																																															
															低圧注入流量	2 (2)	2	1	—	2 (2)	2	1	1	1	1	燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	欠陥である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 加圧器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。 格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																																																																	
																													代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	—	4 (2)	4	1	1	0	0	加圧器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。 原子炉容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																																																				
																																										燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	—	2 (2)	2	1	1	1	1	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																																							
																																																							加圧器水位	4 (2)	4	1	—	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。																										
																																																																				原子炉容器水位	1	1	0	—	2 (2)	2	1	1	0	0	格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。													
																																																																																	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	—	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は 主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	
注：原水罐を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	原子炉格納容器内の風度	原子炉格納容器内の風度	原子炉格納容器内の風度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	
		原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	2	0	0	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	
		格納容器スプレイ流量	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環スプレイ流量の代替監視可能。	
	原子炉格納容器への注水量	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
		格納容器再循環サンプ水位	格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水罐である燃料取替用水ピットの水位の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。	
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM		
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
注： 原水槽を水廻とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用送水ポンプへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ)	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	1	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)並びにモニタリングシステムの指示のメータにて上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	2	7	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	1	—	—	—	エアロックエアモニタ	1	2	1	0	0	エアロックエアモニタ及び炉内核計測区監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	1	1	0	0	エアロックエアモニタ及び炉内核計測区監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。
			エアロックエアモニタ	1	1	0	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)により炉内核計測区エアモニタの代替監視可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)により炉内核計測区エアモニタの代替監視可能。
			格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	—	—	格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)により格納容器内高レンジエアモニタの代替監視可能。	2	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)により格納容器ガスモニタの代替監視可能。

*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価				
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響					
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合		
注：原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水セットへの供給（原子炉容器内へのスプレイ中の場合）	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			後送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲送水線電圧, 乙送水線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			判断基準	操作	1.13.2.2(1) a. (a) 1. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水セットへの供給（原子炉容器への注水時の場合）」の操作手順と同様である。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価									
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO						
					A異常電源を 延命した場合 直後	B異常電源を 延命した場合	直後					A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合								
1.13.2.2. 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料冷却用水ポンプへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料冷却用水ポンプへの供給 (2) 代替給水ポンプを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料冷却用水ポンプへの供給 i. 代替給水ポンプを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料冷却用水ポンプへの供給 (原子炉容器への注水中の場合)	信号																				
	原子炉圧力容器内の温度		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	原子炉圧力容器内の水位		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	燃料冷却用水ポンプの注水量		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	原子炉圧力容器への注水量		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	原子炉圧力容器内の温度		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	原子炉圧力容器内の水位		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	燃料冷却用水ポンプの注水量		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	原子炉圧力容器への注水量		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	燃料冷却用水ポンプの注水量		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

* 1 : 常用系から接続を変更することで通常と同じ99点を監視監視可能

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
1. 代替給水ピットを本廠と した可搬型大型送水ポンプ車 による燃料取替用水ピットへ の補給 (原子炉容器への注水 中の場合)	原子炉圧力容器 内の圧力	1 次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	—	—	—	2	1	1	4	4	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。	
		1 次冷却材圧力 (広域)	3 (3)	—	—	—	3	3	3	3	3	3	0		0
	原子炉格納容器 内の圧力	1 次冷却材圧力 (広域)	3 (3)	—	—	—	3	3	3	3	3	3	0	3	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。
		原子炉格納容器圧力	2 (2)	—	—	—	2	1	1	4	4	1	1	1	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	—	4	1	1	2	2	2	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。
		原子炉格納容器圧力	2	—	—	—	2	1	1	2	2	2	0	0	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (狭域)	1	—	—	—	1	1	1	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。
		原子炉格納容器圧力 (狭域)	2	—	—	—	2	2	2	2	2	2	1	1	
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (狭域)	1	—	—	—	1	0	0	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。
		原子炉格納容器圧力 (狭域)	2	—	—	—	2	2	2	4	4	4	1	1	
原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	—	2	0	0	2	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。	
	原子炉格納容器圧力 (AM用)	4 (2)	—	—	—	4	2	2	2	2	2	1	1		
原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力 (AM用)	1	—	—	—	1	0	0	1	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 把握。	
	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	—	—	—	2	2	2	2	2	2	1	1		

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合					
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水中の場合)	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2 (2)				2 (2)	1			2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(狭域)の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉下部キャビティ水位	1				1	1			1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	
		格納容器水位	1				1	1			1	1	0	0	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1			2 (2)	1			2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)と格納容器再循環サンプ水位(狭域)の代替監視可能。	
		補助給水ピット水位	2 (2)				2 (2)	1			2 (2)	1	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM田)	1				1	1			1	1	0	0	格納容器再循環サンプ水位(広域)の代替監視可能。	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1				1	1			1	1	0	0	格納容器再循環サンプ水位(広域)と格納容器再循環サンプ水位(狭域)の代替監視可能。	
		格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2 (2)				2 (2)	1			2 (2)	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位(広域)と格納容器再循環サンプ水位(狭域)の代替監視可能。	
		補助給水ピット水位	2 (2)				2 (2)	1			2 (2)	1	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位(広域)	3 (3)				3 (3)	2			3 (3)	2	3	3	蒸気発生器水位(広域)の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位(狭域)	1, 2 (6)				1, 2 (6)	3			1, 2 (6)	3	3	3	蒸気発生器水位(狭域)の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位(狭域)	1, 2 (6)				1, 2 (6)	3			1, 2 (6)	3	3	3	蒸気発生器水位(狭域)の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位(狭域)	1, 2 (6)				1, 2 (6)	3			1, 2 (6)	3	3	3	蒸気発生器水位(狭域)の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。	
		1次冷却材温度(広域-低温度)	3 (3)				3 (3)	1			3 (3)	0	3	3	3	
1次冷却材温度(広域-高温度)	3 (3)				3 (3)	3			3 (3)	3	3	3	3	1次冷却材温度(広域-高温度)、1次冷却材温度(広域-低温度)の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器水位(狭域)を推定し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
蒸気発生器水位(狭域)	1, 2 (6)				1, 2 (6)	3			1, 2 (6)	3	3	3	3	蒸気発生器水位(狭域)の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		
燃料取替用水ピット水位	2 (2)				2 (2)	1			2 (2)	1	1	1	1	燃料取替用水ピット水位の傾向を把握することにより、最終ヒートシンクが確保されていることを推定可能。		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価											
			計器数 ()内はDPM	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器故障等	SBO								
															SBO影響							
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料供給用水ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助圧強サンプタンク水位	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。								
			排気筒ガスモニタ （低レンジ）	1	0*1	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2	2	1	1		監視事項は 代替パラ メータにて 確認。							
			排気筒ガスモニタ （高レンジ）	1	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1			監視事項は 代替パラ メータにて 確認。						
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1				監視事項は 代替パラ メータにて 確認。					
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1					監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1						監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1							監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1								監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1									監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	1	1									

*1：試験採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO				
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	遅延						
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料貯蔵用給水ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	密閉容器・パイプの監視	復水器排ガスモニタ	1	0 * 1	0	0	—	—	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器ブローダウンモニタ	1	0 * 2	0	0	—	—	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	—	—	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	—	—	2 (2)	2 (全)	2 (A, C)	2 (B)	2 (A, C)	2 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			加圧器水位	4 (2)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	—	—	4 (2)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	—	—	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	—	—	1.2 (6)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	—	—	1.2 (6)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランストトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		SBO				
					直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			直後	B直流電源を 延命した場合					
					0	0					0	0			0	1					
1. 代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 による熱交換器用水ピットへ の船舶（原子炉容器への注水 中の場合）	格納容器パイパ スの監視	格納容器パイパ スの監視	余熱除去冷却器入口温度	2	0	—	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。				
			余熱除去冷却器出口温度	2	0	—	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇により インターフェースステータALOCAの傾向 監視が可能。				
			余熱除去冷却器出口温度	2	0	—	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。			
			加圧器逃がしタンク水位	1	1	0	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	1	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇により インターフェースステータALOCAの傾向 監視が可能。		
			加圧器逃がしタンク圧力	1	1	0	—	—	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	0	0	0	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースステ ータALOCAの傾向監視が可能。		
			加圧器逃がしタンク温度	1	1	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。		
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	1	1	1	1	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースステ ータALOCAの傾向監視が可能。	
									格納容器サンプ水位	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースステ ータALOCAの傾向監視が可能。	
									1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。	
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースステ ータALOCAの傾向監視が可能。
									加圧器逃がしタンク温度	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。
									加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースステ ータALOCAの傾向監視が可能。

全：オオセでのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM					
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合							
1. 代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による燃料取替用ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	判 察 基 準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	1	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）並びにモニタリングシステムの指示の上昇を傾向監視の恐れ、モニタリングシステムの指示の上昇を傾向監視の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
			格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	1	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
			エアロックエリアモニタ	2 (2)	1	—	—	—	エアロックエリアモニタ	1	1	0	0	0	0	エアロックエリアモニタ及び炉内核計測システムにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	エアロックエリアモニタ及び炉内核計測システムにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
			格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	1	0	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	炉内核計測系統エリアモニタ	1	1	0	0	炉内核計測系統エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	1	0	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
			格納容器じんあいモニタ	1	0*1	—	—	—	格納容器じんあいモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	炉内核計測系統エリアモニタ	2 (2)	2	1	0	0	炉内核計測系統エリアモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器ガスモニタ	1	0*1	—	—	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ	2 (2)	2	1	0	0	格納容器内高レンジエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
			格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					
			格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	0	0	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。					

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試料採取に必要なサンプリング電圧が現示するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価						
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響								
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの橋給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲房線電圧, 乙房線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			操作	水脈の確保															

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																																
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器種類等	SBO																																																																															
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合																																																																																	
ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの船舶（原子炉格納容器へのスプレイ中の場合）	原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	高圧注入流量	2 (2)	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																																																																																
												低圧注入流量	2 (2)	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	燃料取替用水ピット水位の傾向監視により低圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																																																																						
																						代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	0	燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位	2 (2) 2 (2)	2 (2) 2 (2)	1 1	1 1	燃料取替用水ピット水位及び補助給水ピット水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																																																												
																																原子炉格納容器水位	4 (2)	1	原子炉格納容器水位	2 (2)	4 (2)	1 1	1 1	原子炉格納容器水位の傾向監視により代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																																																		
																																										燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2)	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2) 2 (2)	1 1	1 1	燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																																								
																																																				燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2)	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2) 2 (2)	1 1	1 1	燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																														
																																																														燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2)	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2) 2 (2)	1 1	1 1	燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。																				
																																																																								燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2)	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2) 2 (2)	1 1	1 1	燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。										
																																																																																		燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2)	燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2) 2 (2)	2 (2) 2 (2)	1 1	1 1	燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位(広域)の水位変化により高圧注入流量の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	A直流電源を 延命した場合
注：代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 による燃料取替用水ピットへ の補給（原子炉格納容器へ スプレイ中の場合）	原子炉格納容器 内の風度	原子炉格納容器 格納容器内風度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	原子炉格納容器圧力により格納容器内風度の代替監視可能。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	風和風度/圧力の関係を利用して格納容器圧力 (AM用) により格納容器内風度の代替監視可能。
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
		原子炉格納容器圧力 (監視)	2	2	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。
	原子炉格納容器 への注水量	燃料取替用水ピット水位	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		燃料取替用水ピット水位 (広域)	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
	原子炉格納容器 への注水量	B-1格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	1	1	風和風度/圧力の関係を利用して格納容器内風度により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。
		格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	2	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	水頭である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイ流量の代替監視可能。
	原子炉格納容器 への注水量	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	0	—	—	燃料取替用水ピット水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	水頭である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
		格納容器再循環サンプ水位	2 (2)	2	1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	水頭である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	SBO			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後			A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	
注、代替給水ピットを水廻と した可搬型大型送水ポンプ車 による燃料取替用水ピットへ の供給(原子炉格納容器へ スプレインの場合)	原子炉格納容器 内の水位	計器名称	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)											測定範囲内であれば連続的な監視がで きる格納容器再循環サンプ水位(狭 域)により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	2 (2)	1	1	1	2 (2)	1	1	1		原子炉下部キャビティ水位、格納容器 水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域)の代替監視可能。
		原子炉下部キャビティ水位	1				2 (2)				2 (2)					水源である燃料取替用水ピット水位、 補助給水ピット水位、注水積算量であ るB-格納容器スプレイン冷却器出口積 算流量(AM田)、代替格納容器スプレ インポンプ出口積算流量により格納容器 再循環サンプ水位(広域)の代替監視 可能。
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)				2 (2)				2 (2)					格納容器再循環サンプ水位(広域)と の相関関係により格納容器再循環サンプ 水位(狭域)の代替監視可能。
		補助給水ピット水位	2 (2)				2 (2)				2 (2)					水源である補助給水ピット水位の傾向 を把握することにより、最終ヒートシン クが確保されていることを推定可能。
		B-格納容器スプレイン冷却器 出口積算流量(AM田)	1				1				1					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		代替格納容器スプレインポンプ 出口積算流量	1				1				1					格納容器再循環サンプ水位(広域)と の相関関係により格納容器再循環サンプ 水位(狭域)の代替監視可能。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	2 (2)	1	1	1	2 (2)	1	1	1		水源である補助給水ピット水位の傾向 を把握することにより、最終ヒートシン クが確保されていることを推定可能。
		補助給水ピット水位	2 (2)				2 (2)				2 (2)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位(広域)	3 (3)				3 (3)				3 (3)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位(狭域)	1.2 (6)				1.2 (6)				1.2 (6)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位(狭域)	1.2 (6)				1.2 (6)				1.2 (6)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3 (3)				3 (3)				3 (3)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		1次冷却材温度(広域-高温側)	3 (3)				3 (3)				3 (3)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位(広域)	3 (3)				3 (3)				3 (3)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。
		蒸気発生器水位(狭域)	1.2 (6)				1.2 (6)				1.2 (6)					格納容器再循環サンプ水位(広域)の傾向監視 することにより、最終ヒートシンクが確 保されていることを推定可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
Ⅱ、代替給水ピットを水頭と した可搬型大型送水ポンプ車 による船内取替用水ピットへ の船舶（原子炉格納容器へ スプレイ中の場合）	水源の確保 原子炉格納容器 内の放射線量率	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—
		格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	—	—	—	—	2	1	1	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) 並びにモニタリングガスタム及 モニタリングガスアラームの指示のメ ータにて 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを判定可能。
		モニタリングガスタム	7	—	—	—	—	7	0	0	7	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。
		モニタリングガスステーション	1	—	—	—	—	1	0	0	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。
		格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	—	—	—	—	2	1	1	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。
		エアロクックエアモニタ	1	—	—	—	—	1	0	0	1	0	0	0	エアロクックエアモニタ及び炉内核計 測装置エアモニタの指示の上昇を傾 向監視することにより炉心損傷の恐れ が生じているかを判定可能。
		炉内核計測装置エアモニタ	1	—	—	—	—	1	0	0	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。
		エアロクックエアモニタ	1	—	—	—	—	1	0	0	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。
		炉内核計測装置エアモニタ	1	—	—	—	—	1	0	0	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。
		格納容器じんあいモニタ	1	—	—	—	—	1	0	0	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ) の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを判定可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：試験採取に必要なサンプリング電源が確保するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価					
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響						
					A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合	A異常電源を 延命した場合					B異常電源を 延命した場合						
注：代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。 スプレイ中の場合)	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲房線電圧, 乙房線電圧	4	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量	3	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却海水流量 (AM用)	4	4	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			判断基準	操作		1.13.2.2(1) a., (b) 1. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響				
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					直後		A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	
1. 水を水源とした可搬型大 容量送水ポンプ車による燃料後 部用水セプトへの供給(原子 炉容器への注水の場合)	原子炉圧力容器 内の圧力	原子炉圧力容器 内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	2	1	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 計測範囲内であれば加圧器圧力により 1次冷却材圧力 (広域) の代替監視可 能。 原子炉圧力容器内の飽和状態であれば 1次冷却材温度 (広域-高温側) によ り1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。 原子炉圧力容器内の飽和状態であれば 1次冷却材温度 (広域-低温側) によ り1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。	
				2	1	1	①	—	1次冷却材温度 (広域-高温側)	3	3 (全)	3	0		3 (全)
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器内圧度	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4	4	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 飽和温度/圧力の関係を利用して原子 炉格納容器圧力により格納容器内圧 度の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器内圧 度の代替監視可能。	
				2	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0		2
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器圧力 (AM用)	4	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧 力 (狭域) により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。 格納容器内圧度 格納容器内圧度	
				2	2	2	①	—	格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0		2
	原子炉格納容器 内の圧力	原子炉格納容器 内の圧力	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	①	—	格納容器内圧度	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。 計測範囲内であれば原子炉格納容器圧 力又は格納容器圧力 (狭域) により格 納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。 飽和温度/圧力の関係を利用して格納 容器内圧度により原子炉格納容器圧力 の代替監視可能。	
				2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4	4	1	1		4
										格納容器圧力 (狭域)	1	1	0	0	
										格納容器内圧度	2	2	1	1	

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響				
									A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			
1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉冷却器への注水時の場合）	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	1	1	1	規定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環サンプ水位 (狭域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
			格納容器水位	1	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	0	監視事項は主要パラメータにて確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM田)、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			補助給水ピット水位	3 (3)	①	—	補助給水ピット水位	3 (3)	3 (全)	2	1	1	水源である補助給水ピット水位の傾向が確認されていることを推定可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	3 (3)	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			補助給水流量	3 (3)	①	—	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	①	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	①	—	蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1次冷却材温度 (広域-低圧側)	3 (3)	①	—	1次冷却材温度 (広域-低圧側)	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			1次冷却材温度 (広域-高圧側)	3 (3)	①	—	1次冷却材温度 (広域-高圧側)	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	①	—	蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	3 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	①	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2 (全)	2	1	1	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ポンプへの補給（原子炉管束への注水の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助圧強サンプタンク水位	2	0	0	②	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全)	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	②	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全)	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	1	0*1	0	②	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全)	監視事項は代替パラメータにて確認。
			排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	1	0*1	0	②	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	2 (2) 4 (2) 2 (2) 1.2 (6) 1.2 (6)	1 1 1 3 (全) 3 (全)	1 1 1 3 (全)	監視事項は代替パラメータにて確認。

*1：試験採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO					
					A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合			直後	B直前電源を 延命した場合							
1. 海を水銀とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉管器への注水中の場合）	密閉容器へパイプの監視	密閉容器へパイプの監視	復水器排ガスモニタ	1	0 * 1	0	0	②	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			蒸気発生器ブローダウンモニタ	1	0 * 2	0	0	②	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	②	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	1 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	補助給水流量	3 (3)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	2 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	①	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	1 (B)	1 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	4 (2)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	②	—	加圧器水位	4 (2)	4 (全)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	②	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	②	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の変化により蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	1.2 (全)	1.2 (全)	②	—	主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランストトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ()内はPAM		直後			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合						
計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
1. 沸騰水炉とした可搬型大 気圧水ポンプ車による燃料池 排熱水ポンプ車への給給(原子 炉容器への注水時の場合)	判 断 基 準	格納容器バイパ スの監視	余熱除去冷却器入口温度	2	0	0	0	0	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。		
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇により インターフェースステータALOCAの傾向 監視が可能。
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	加圧器水位
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	加圧器水位
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	加圧器水位
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	余熱除去ポンプ出口圧力
				2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	格納容器サンプ水位				
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。				
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	加圧器水位				
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	格納容器サンプ水位				
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水 位の低下により、インターフェース ステータALOCAの傾向監視が可能。				
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	1	1	加圧器水位				
2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	格納容器サンプ水位				

全: オブジェクトのループの計器の合計数
A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合		
1. 海を水源とした可搬型大 容量淡水ポンプ車による燃料後 焼炉水セメントへの補給(原子 炉各階への注水中の場合)	原子炉格納容器 内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)並びにモニタリングホスト及 びモニタリングステーションの指示の 上昇を傾向監視により炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉心損傷の恐れが生じてい るかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
			格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)及び炉内核計 算区画エアモニタの指示の上昇を傾 向監視することにより炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)及び炉内核計 算区画エアモニタの指示の上昇を傾 向監視することにより炉心損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。	
			エアロックエアリアモニタ	2 (2)	1	1	①	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)により炉 心損傷の恐れが生じているかを推定可 能。	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)により炉 心損傷の恐れが生じているかを推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			炉内核計装区域エアモニタ	1	0	0	②	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	炉内核計装区域エアモニタの代替監視可 能。	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)により炉 心損傷の恐れが生じているかを推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	②	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器じんあいモニタの代替監視可 能。	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)により炉 心損傷の恐れが生じているかを推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。
			格納容器ガスマモニタ	1	0*1	0	②	—	格納容器内高レンジエアモ ニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器ガスマモニタの代替監視可 能。	格納容器内高レンジエアモニタ (高 レンジ)により炉 心損傷の恐れが生じているかを推定可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 監視。

*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	直後					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1. 海を水源とした可搬型大 型送水ポンプ車による機組後 部用水ピットへの補給(原子 炉容器への注水中の場合)	電源	電源	送水線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	送水線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパラ メータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			後志線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志線 1 L, 2 L の受 電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			甲線電圧, 乙線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母 線の受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給母管流 量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の 運転状態を確認するパ ラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機 冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系 の運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	
			燃料棒冷却水ピット水位	2 (2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価						
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器										
			計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	A直流電源を 延命した場合 直後	B直流電源を 延命した場合		SBO					
Ⅱ、海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイングの場合）	信号	RCCS作動	—	—	③	RCCS作動時の作動状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	原子炉圧力容器内の温度	炉心出口温度	1	1 * 1	②	—	1次冷却材温度（広域—高温側） 1次冷却材温度（広域—低温側）	3 (3)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	0	1次冷却材温度（広域—高温側）により炉心出口温度の代替監視可能。 1次冷却材温度（広域—低温側）により炉心出口温度の代替監視可能。	監視事項は、主要パラメータにて確認。		
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	監視事項は、主要パラメータにて確認。	
			サブクール度	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—	—	—	サブクール度、1次冷却材圧力（広域）及び1次冷却材温度（広域—高温側）により原子炉圧力容器内サブクール状態の過熱状態かを監視すること、原子炉圧力容器内の水位の代替監視可能。	監視事項は、主要パラメータにて確認。	
			1次冷却材圧力（広域）	—	—	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
			1次冷却材温度（広域—高温側）	—	—	—	—	1次冷却材温度（広域—高温側）	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の圧力	加圧器圧力	—	—	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—	—	—	—	計測範囲内であれば加圧器圧力により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は、主要パラメータにて確認。	
		1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	1	①	—	1次冷却材圧力（広域）	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	0	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度（広域—高温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は、主要パラメータにて確認。	
	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度（広域—低温側）	3 (3)	3 (全)	0	0	1次冷却材温度（広域—低温側）	3 (3)	3 (全)	3 (全)	0	0	3 (全)	0	0	原子炉圧力容器内の飽和状態であれば1次冷却材温度（広域—低温側）により1次冷却材圧力（広域）の代替監視可能。	監視事項は、主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

* 1：常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を監視監視可能

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価															
			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響																	
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合																
注：海を水源とした可搬型大 容量ポンプ車による燃料取 替用水ピットへの補給(原子 炉格納容器内へのスプレイ中 の場合)	原子炉圧力容器 への注水量	原子炉圧力容器 への注水量	抽出パラメータ 分類	抽出パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	SBO											
																高圧注入流量	2 (2)	1	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により高圧注入流量の代替 監視可能。	
																低圧注入流量	2 (2)	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注入 流量の代替監視可能。	
																原子炉格納容器 スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	原子炉格納容器水位	1	1	1	0	原子炉格納容器水位の傾向監視により高圧 注入流量の代替監視可能。	
																原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	本船である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により低圧注入流量の代替 監視可能。	
																				加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	加圧器水位の傾向監視により低圧注入 流量の代替監視可能。
																				原子炉格納容器 水位	1	1	1	0	1	原子炉格納容器水位の傾向監視により低圧 注入流量の代替監視可能。
																				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替 監視可能。
																				燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	本船である燃料取替用水ピット水位の 傾向監視により低圧注入流量の代替 監視可能。
																				補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により低圧注入流量の代替 監視可能。
				原子炉格納容器 スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	0	1	0	原子炉格納容器水位の傾向監視により代替 格納容器スプレイポンプ出口積算流量 の代替監視可能。																
				原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。																
				原子炉格納容器 内の温度	2 (2)	1	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の 水位変化により代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量の代替監視可能。																

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器									
		計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合		B直前電源を 延命した場合			
Ⅱ、沸騰水炉とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイングの場合）	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	①	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (熱域) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		格納容器内圧力	—	—	—	—	—	格納容器内圧力	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧力/圧力の関係をj係数を利用して格納容器内圧力により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		原子炉格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	①	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力は格納容器圧力 (熱域) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		格納容器内圧力	2	2	0	②	—	格納容器内圧力	2 (2)	2	1	1	格納容器内圧力/圧力の関係をj係数を利用して格納容器内圧力により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		燃料取替用水ピット水位	2	2	0	②	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器スプレイングの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		格納容器スプレイング流量	1	1	1	①	—	格納容器スプレイング流量	2 (2)	2	2	2	0	格納容器スプレイング流量の傾向監視により格納容器スプレイングの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		B-1格納容器スプレイング弁閉器出口積算流量 (AM用)	2	2	0	②	—	B-1格納容器スプレイング弁閉器出口積算流量 (AM用)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器スプレイング弁閉器出口積算流量の傾向監視によりB-1格納容器スプレイングの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	2	1	0	測定範囲内であれば継続的な傾向がでる格納容器再循環サンプ水位 (熱域) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器内の水位	2	2	1	①	—	原子炉格納容器内の水位	2 (2)	2	2	2	1	1	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (熱域)	2	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (熱域)	2 (2)	2	2	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイング弁閉器出口積算流量 (AM用)、代格納容器スプレイング弁閉器出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	2	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (熱域) と原子炉格納容器内の水位 (熱域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		SBO影響	
Ⅱ、沸き水源とした可搬型大 形送水ポンプ車による燃料成 形水ピットへの補給(原子 炉格納容器内へのスプレイト中 の場合)	最終ピットシン クの確保 判断基 準	補助給水量	3 (3)	①	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	水漏れである補助給水ピット水位の傾向 監視することにより、最終ピットシン クが確保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	①	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
		蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	①	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
		燃料冷却水ピット水位	2 (2)	①	—	—	燃料冷却水ピット水位	2 (2)	2	1	1	0	燃料冷却水ピット水位の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
Ⅲ、沸き水源とした可搬型大 形送水ポンプ車による燃料成 形水ピットへの補給(原子 炉格納容器内へのスプレイト中 の場合)	最終ピットシン クの確保 判断基 準	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	①	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	①	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
		1次冷却材温度 (広域)	3 (3)	①	—	—	1次冷却材温度 (広域)	3 (3)	3 (全)	0	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
		1次冷却材温度 (狭域)	3 (3)	①	—	—	1次冷却材温度 (狭域)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	1次冷却材温度 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
Ⅳ、沸き水源とした可搬型大 形送水ポンプ車による燃料成 形水ピットへの補給(原子 炉格納容器内へのスプレイト中 の場合)	最終ピットシン クの確保 判断基 準	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	①	—	—	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		蒸気発生器水位 (狭域)	3 (3)	①	—	—	蒸気発生器水位 (狭域)	1 2 (6)	3 (全)	2 (A, C)	1 (B)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
		1次冷却材温度 (広域)	3 (3)	①	—	—	1次冷却材温度 (広域)	3 (3)	3 (全)	0	0	3 (全)	1次冷却材温度 (広域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	
		1次冷却材温度 (狭域)	3 (3)	①	—	—	1次冷却材温度 (狭域)	3 (3)	3 (全)	0	0	0	1次冷却材温度 (狭域) の傾向監視す ることにより、最終ピットシンクが確 保されていることを推定可能。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価											
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数()内はPAM			SBO影響			計器名称	計器数()内はPAM	直後	A直前電源を延命した場合	B直前電源を延命した場合	SBO
			計器名称	計器数()内はPAM	パラメータ分類	補測パラメータ分類理由	計器名称	計器数()内はPAM	直後	A直前電源を延命した場合	B直前電源を延命した場合	直後	A直前電源を延命した場合	B直前電源を延命した場合						
Ⅱ、海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイングの場合）	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ（高レンジ）	格納容器内高レンジエアロモニタ（高レンジ）	2 (2)	①	—	格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）	2 (2)	2	1	0	1	1	1	1	格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）並びにモニタリングポストの指示のモニタリングの指示の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエアロモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。		
			格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）	2 (2)	①	—	格納容器内高レンジエアロモニタ（高レンジ）	2 (2)	2	1	0	1	1	1	1	格納容器内高レンジエアロモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。		
			エアロックエアロモニタ	2 (2)	①	—	エアロックエアロモニタ	1	1	1	1	0	1	0	0	0	エアロックエアロモニタ及び炉内核計測区監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	エアロックエアロモニタ及び炉内核計測区監視することにより炉心損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			エアロックエアロモニタ	1	②	—	エアロックエアロモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			炉内核計測区エアロモニタ	1	②	—	炉内核計測区エアロモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			格納容器じんあいモニタ	1	②	—	格納容器じんあいモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			格納容器ガスモニタ	1	②	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			格納容器ガスモニタ	1	②	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			格納容器ガスモニタ	1	②	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	
			格納容器ガスモニタ	1	②	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	0	0	1	1	1	1	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	炉内核計測区エアロモニタの代替監視可能。	監視事項は、代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の台数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試料採取に必要なサンプリング電圧が現示するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称等	SBO	
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
注。海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ポンプ車への補給（原子炉容器内のスプレイト中の場合）	電源	電線	注時線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	注時線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	2	0	0	③	後志幹線 1 L, 2 L の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			甲房線電圧, 乙房線電圧	4	0	0	③	甲, 乙房線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	7 (2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	3	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	2	2	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却排水流量	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却排水流量 (AM用)	4	4	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	—	—	—	—	—	—	
			抽機監視機能												
			操作	1.13.2.2(1) a. (c) 1. 「海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用水ポンプ車への補給（原子炉容器への注水時の場合）」の操作手順と同様である。											

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B:交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補脚パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B:交流電源を 延命した場合				
														計器名称等	SBO
1. ろ過タンクを水溜とし、電動機駆動消火ポンプ又はアイゼンセル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 2. 電動機駆動消火ポンプ又はアイゼンセル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 3. ろ過タンクを水溜とした電動機駆動消火ポンプ又はアイゼンセル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給	信号	ROCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	0	0	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉圧力容器への注水量	2 (2)	1	—	—	—	原子炉圧力容器水位	1	1	0	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	低圧注入流量	2 (2)	1	—	—	—	低圧注入流量	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉圧力容器内の圧力	2 (2)	1	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	—	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
			計器数 ()内はDPM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	
1. 石浜タンクを水測とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の温度	2 (2)	2	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の水位	格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	2	2	0	—	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	格納容器水位 (広域) の代替監視可能。	
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	水層である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水積算量であるB-1格納容器スプレイ給配器出口積算量 (AM用)、代格納容器スプレイポンプ出口積算量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:故障電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B:故障電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	SBO影響 A:故障電源を 延命した場合	SBO影響 B:故障電源を 延命した場合		
														評価	評価
1. 冷却水タンクを水断とした電動機駆動消防ポンプ又はアイソセル駆動消防ポンプによる燃圧調整用水ピットへの補給（原子炉容器への圧水中の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助圧強サンプタンク水位	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。 監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			補助圧強サンプタンク水位 (広域)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1		
			蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1		
			主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1		
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1		
			加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1		
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1		1
			蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		3 (全)
			主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)		3 (全)
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1		1
			加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1		1
			格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1		1
蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1				
加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1				
格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1				
蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1				
加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1				
格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1				
蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	1				
加圧器水位	4 (2)	4	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	1				
格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	0	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1				
蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				
主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	1, 2 (6)	1, 2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)				

* 1 : 試験採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

全 : すべてのループの計器の合計数

A(B,C) : 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			直後	遅延				
1. 石湯スタントクを水調とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	密閉容器、パイプの監視	-	復水器排ガスモニタ	1	0 * 1	0	-	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝搬管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			蒸気発生器ブローダウンモニタ	1	0 * 2	0	-	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝搬管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	-	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝搬管破損の傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	-	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇により蒸気発生器伝搬管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	-	主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝搬管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			補助給水流量	3 (3)	3 (3)	3 (全)	-	補助給水流量	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)		
			蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (3)	3 (全)	-	蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝搬管破損を推定可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			補助給水流量	3 (3)	3 (3)	3 (全)	-	補助給水流量	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)		
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (2)	2 (全)	-	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (2)	1 (B)	1 (A, C)		
			加圧器水位	4 (2)	4 (2)	4 (全)	-	加圧器水位	4 (2)	4 (2)	1 (B)	1 (A, C)		
余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	-	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (2)	1 (全)	1 (全)	1 (全)	3 (全)	1次冷却材圧力 (広域)、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位 (広域)、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力により、インターフェーズシフトの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランストトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器候補等	SBO	
					直後	A直前電源を 延命した場合			直後	B直前電源を 延命した場合			
i. 石浜水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料機器用水ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準 格納容器パイプの監視	格納容器パイプの監視	余熱除去冷却器入口温度	2	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			余熱除去冷却器出口温度	2	0	0	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			余熱除去冷却器出口温度	2	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	4	0	0	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと、ALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇がないこと、ALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2	1	1	1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	加圧器水位	4 (2)	4	1	1	余熱除去ポンプ出口圧力の上昇によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。
			加圧器水位	1	0	0	格納容器サンプ水位	2	2	1	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと、ALOCAの傾向監視が可能。	監視事項は代替パラメータにて確認。

全：オオベテのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						評価								
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			計器数			計器数					
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
1. ろ過水タンクを水源とした電動操縦油圧ポンプ又はディーゼル駆動油圧ポンプによる燃料原器用水ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	0	1	1	1	格納容器内高レンジエアロモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			エアロロクエアロモニタ	1	—	—	エアロロクエアロモニタ	1	1	0	0	0	0	0	エアロロクエアロモニタ及び炉内核計器区画エアロモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	1	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	1	1	0	0	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) によりエアロロクエアロモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
			炉内核計器区画エアロモニタ	1	—	—	格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	0	1	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			格納容器じんあいモニタ	1	—	—	格納容器じんあいモニタ	2 (2)	2	1	0	1	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) により格納容器じんあいモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
			格納容器ガスモニタ	1	—	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	0	1	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアロモニタ (低レンジ) により格納容器ガスモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数
*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ						計器数 ()内はPAM	計器名称	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器	評価						
			抽出パラメータを計測する計器			抽出パラメータ							SBO影響					
			計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
1. ろ過水タンクを水源地とした電動操縦用次水ポンプ又はアイゼンル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	判断基準 操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に確器			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			使用済燃料ピット水位	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			ろ過水タンク水位	4	2 * 2	0 * 2	0 * 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
 A(B, C)：当該ループの計器数
 * 1：計器取付け後監視可能
 * 2：4個のうち2個は、1, 2号中央制御室に確認する。

注：使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により監視可能。
 注：ろ過水タンク水位の傾向監視により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価	
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						
		計器名称	計器数 ()内はDPM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
注、右端水タンクを水測とした電動機駆動油圧ポンプ又はディーゼル駆動油圧ポンプによる燃料貯蔵器内水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイングの場合）	原子炉格納容器への注水量 原子炉格納容器内の水位	格納容器スプレイ流量	2	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。 監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	1	
		原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	0	
		格納容器水位	2 (2)	—	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	0	
		燃料取扱用水ピット水位	2	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	
		補助給水ピット水位	2 (2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	
		B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	—	—	—	B—格納容器スプレイ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	0	
		代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ 出口積算流量	1	1	1	0	0	
		格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	1	

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価				
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					
注：ろ過タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）の操作手順と同様である。 注：ろ過タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）の操作手順と同様である。	原子炉格納容器内の放射線量率 水源の確保	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することによりおそれの恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		エアロクックエアモニタ	1	—	—	エアロクックエアモニタ	1	1	0	0	0	0	エアロクックエアモニタ及び炉内核計器監視エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉心損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		炉内核計器区域エアモニタ	1	—	—	炉内核計器区域エアモニタ	1	1	0	0	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) によりエアロクックエアモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	1	0	0	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により格納容器じんあいモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		格納容器ガスモニタ	1	—	—	格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により格納容器じんあいモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。		
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により炉内核計器区域エアモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に確認	—	—	2次系純水タンク水位	2	1, 2号中央制御室に確認	—	—	—	—	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により格納容器ガスモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		ろ過水タンク水位	4	2*2 0*2 0*2	—	—	ろ過水タンク水位	4	2*2 0*2 0*2	—	—	—	—	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により格納容器ガスモニタの代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		1.13.2.2(1) b.	(a) i.	「ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。												

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

*1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

*2：4 個のうち 2 個は、1, 2 号中央制御室に確認する。

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					
1.13.2.2. 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料冷却水ポンプ→1次冷却水を供給するための対応手順 c. 1次冷却水ポンプによる燃料冷却水ポンプ→ピットへの供給 (a) 1次冷却水ポンプを水原とした1次冷却水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを bypass した燃料冷却水ポンプへの供給	利 斯 基 型 原子炉压力容器 への注水	信号	ROCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		原子炉压力容器 内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料冷却水ポンプ 水位	燃料冷却水ポンプ水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉压力容器 への注水量	低圧注流入量	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料冷却水ポンプ 水位	燃料冷却水ポンプ水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉压力容器 内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料冷却水ポンプ 水位	燃料冷却水ポンプ水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉压力容器 内の水位	加圧器水位	4 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料冷却水ポンプ 水位	燃料冷却水ポンプ水位	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉压力容器 内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はPM	計器名称	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	計器数 ()内はPM	計器名称	直後		A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	
1. 1次系給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化による燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	原子炉格納容器内の風度	2 (2)	格納容器内風度	—	—	2	1	1	4 (2)	原子炉格納容器圧力	4	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	4	1	1	2	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	0	
	原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	—	—	2	2	0	4 (2)	原子炉格納容器圧力	4	1	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2 (2)	格納容器圧力 (AM用)	—	—	2	2	0	2	格納容器内風度	2	1	1	1	
	原子炉格納容器内の水位	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	2	1	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	2	1	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2	2	1	1	
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	2	1	2 (2)	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	2	1	2 (2)	格納容器水位	1	1	1	0	
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	2	1	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	2	2	1	1	
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	2	1	2 (2)	補助給水ピット水位	2	2	1	1	
水脈の確保	2 (2)	1次系純水タンク水位	—	—	2	1	0	1	B一 格納容器スプレィ冷却器 出口積算流量 (AM用)	1	1	1	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	1	1	1	代埋格納容器スプレィポンプ 出口積算流量	1	1	1	0		
	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	—	—	2	1	1	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2	2	1	1		
	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	—	—	2	1	1	2 (2)	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2	2	1	1		

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価													
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A:故障電源を 延命した場合 直後	SBO影響 B:故障電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	SBO影響 A:故障電源を 延命した場合	SBO影響 B:故障電源を 延命した場合											
														計器故障等	SBO									
1. 1次冷却水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化水インを抽出した燃料冷却器用水ピットへの補給（原子炉容器への注水の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助圧強サンプタンク水位	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。										
			排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1		監視事項は 代替パラ メータにて 確認。									
			排気筒高レンジガスモニタ （低レンジ）	1	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1			監視事項は 代替パラ メータにて 確認。								
			排気筒高レンジガスモニタ （高レンジ）	1	0*1	0	—	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1				監視事項は 代替パラ メータにて 確認。							
			1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1					監視事項は 代替パラ メータにて 確認。						
			加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1						監視事項は 代替パラ メータにて 確認。					
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1							監視事項は 代替パラ メータにて 確認。				
			蒸気発生器水位（狭域）	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位（狭域）	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)								監視事項は 代替パラ メータにて 確認。			
			主蒸気ライン圧力	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)									監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1										監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1											監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1											
蒸気発生器水位（狭域）	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位（狭域）	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。													
主蒸気ライン圧力	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)		監視事項は 代替パラ メータにて 確認。												
1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2	1	1			監視事項は 代替パラ メータにて 確認。											
加圧器水位	4 (2)	4	1	1	1	加圧器水位	4 (2)	4	1	1				監視事項は 代替パラ メータにて 確認。										
格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2 (2)	2	1	1					監視事項は 代替パラ メータにて 確認。									
蒸気発生器水位（狭域）	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位（狭域）	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)						監視事項は 代替パラ メータにて 確認。								
主蒸気ライン圧力	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力	12 (6)	12 (6)	3 (全)	3 (全)							監視事項は 代替パラ メータにて 確認。							

*1：試験採取に必要なサンプラ電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響		計器名称等	SBO		
							A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合				
1. 1次系統純水タンクを水源とした1次系補助給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化による使用済燃料ピット浄化水の供給（原子炉容器への注水の場合）	密閉容器、パイプの監視	復水器排ガスモニタ	復水器排ガスモニタ	1	0 * 1	0	0	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器ブローダウンモニタ	1	0 * 2	0	0	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	2 (A, C)	1 (B)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (2)	2 (A, C)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			加圧器水位	4 (2)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	4 (2)	4 (A, C)	1 (B)	4 (全)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			熱交換器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (2)	2 (A, C)	1 (B)	2 (A, C)	1 (B)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。				
主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (A, C)	2 (B)	3 (全)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。				

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランストトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価																																																			
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響			SBO影響			計器候補等	SBO																																																		
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	直後	A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	直後																																																				
1. 1次系純水タンクを水源地とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを駆動した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水時の場合）	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	2 (2)	—	—	—	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	2 (2)	1	0	2	1	1	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。	監視事項は主要ベアラメータにて確認。																																																
																	エアロクックエリアモニタ	1	0	1	0	1	0	エアロクックエリアモニタ及び炉内核計器監視エリアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているか否かを推定可能。																																								
																									炉内核計器区域エリアモニタ	1	0	1	0	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）によりエアロクックエリアモニタの代替監視可能。																																
																																	格納容器じんあいモニタ	1	0	0	1	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により格納容器じんあいモニタの代替監視可能。																								
																																									格納容器ガスモニタ	1	0	0	1	0	0	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）により格納容器ガスモニタの代替監視可能。																
																																																	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	1	0	1	0	1次系純水タンク水位の傾向監視により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。								
																																																									1次系純水タンク水位	1	0	1	0	1	0	1次系純水タンク水位の傾向監視により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。

* 1：試験投取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 直後	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
Ⅱ、1 次系純水タンクを水源 とした1 次系補給水ポンプに よる使用済燃料ピット浄化水 インを起用した燃料取排水 ピットへの補給（原子炉体納 容器内へのスプレイ中の場 合）	原子炉体納容 器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモ ニータ（低レンジ）	2 (2)	1	—	—	格納容器内高レンジエアモ ニータ（高レンジ）	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニータ（高 レンジ）の指示の上昇を傾向監視する ことにより炉内損傷の恐れが生じてい るか否かを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
		エアロクックエアモニータ	1	0	—	—	エアロクックエアモニータ及び炉内核計 器区画エアモニータの指示の上昇を傾 向監視することにより炉内損傷の恐れ が生じているかを推定可能。	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		炉内核計器区画エアモニータ	1	0	—	—	炉内核計器区画エアモニータ	1	1	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
		エアロクックエアモニータ	1	0	—	—	格納容器内高レンジエアモ ニータ（低レンジ）	2 (2)	2	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レン ジエアモニータ（低レンジ）によりエ アロクックエアモニータの代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		炉内核計器区画エアモニータ	1	0	—	—	格納容器内高レンジエアモ ニータ（低レンジ）	2 (2)	2	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レン ジエアモニータ（低レンジ）により炉 内核計器区画エアモニータの代替監視 可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器じんあいモニータ	1	0	—	—	格納容器じんあいモニータ	2 (2)	2	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レン ジエアモニータ（低レンジ）により格 納容器じんあいモニータの代替監視可 能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		格納容器ガスモニータ	1	0	—	—	格納容器ガスモニータ	2 (2)	2	1	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レン ジエアモニータ（低レンジ）により格 納容器ガスモニータの代替監視可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

1.13.2.2(1) e. (a) 1. 「1 次系純水タンクを水源とした1 次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを起用した燃料取排水ピットへの補給（原子炉体納容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。

注：すべてのループの計器の合計数
A(0,C)：当該ループの計器数

* 1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM		計器名称	SBO		
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合	直後	直後				
1.13.2.2. 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料冷却水ポンプ→水を供給するための対応手順 c. 1次冷却水ポンプによる燃料冷却水ポンプへの供給 (b) 1次冷却水ポンプを水原とした1次冷却水ポンプによる加圧器過剰した燃料冷却水ポンプへの供給	利 斯 基 型 原子炉圧力容器 への注水量	信号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		ROCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉圧力容器 内の水位	4 (2)	加圧器水位	—	—	1	0	1	0	原子炉容器水位 サブクール度 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材温度 (広域→高域 側)	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		燃料冷却水ポンプ	2 (2)	燃料冷却水ポンプ水位	—	—	1	1	2	1	燃料冷却水ポンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	低圧注入流量	—	—	1	1	4	1	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	燃料冷却水ポンプ水位	—	—	1	1	2	2	燃料冷却水ポンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	加圧器水位	—	—	1	1	4	1	加圧器水位の傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	原子炉容器水位	—	—	1	1	1	1	原子炉容器水位の傾向監視により高圧注 入流量の代替監視可能。	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	燃料冷却水ポンプ水位	—	—	1	1	2	2	燃料冷却水ポンプ水位 (広域) の 水位変化により高圧注入流量の代替監 視可能。	1	1	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
		原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	加圧器圧力	—	—	1	1	4	0	加圧器圧力 (広域) の代替監視可 能。	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
原子炉圧力容器 内の注水量	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域)	—	—	1	1	3	3	1次冷却材圧力 (広域→高域側) 1次冷却材温度 (広域→低域 側)	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		
原子炉圧力容器 内の注水量	3 (3)	1次冷却材温度 (広域→低域 側)	—	—	1	1	3	3	1次冷却材温度 (広域→低域側) 1次冷却材圧力 (広域) の代替監視 可能。	0	0	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。		

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価		
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器							
		計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	SBO影響	SBO			
1. 1 次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送給がシタングを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	0	0	格納容器圧力 (AM用) により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器圧力	4 (2)	—	—	格納容器圧力 (AM用)	2	2	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器内温度	2 (2)	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		原子炉格納容器圧力	2 (2)	—	—	原子炉格納容器圧力	4 (2)	4	1	1	1	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器圧力 (AM用)	2 (2)	—	—	格納容器圧力 (監視)	1	1	0	0	0	計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (監視) により格納容器圧力 (AM用) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		格納容器内温度	2 (2)	—	—	格納容器内温度	2 (2)	2	2	1	1	1	格納容器内温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	2	1	1	1	指定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サンプ水位 (監視) により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		原子炉下部キャビティ水位	1	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	0	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	2	1	1	1	水廊である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水調整室であるB-1格納容器スプレイ給配出口積算流量 (AM用)、代格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
水源の確保	1次系純水タンク水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	—	—	格納容器再循環サンプ水位 (監視)	2 (2)	2	1	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関係数により格納容器再循環サンプ水位 (監視) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		燃料取替用水ピット水位	2 (2)	—	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	1	燃料取替用水ピット水位、注水調整室であるB-1格納容器スプレイ給配出口積算流量 (AM用)、代格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サンプ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		1次系純水タンク水位	1	—	—	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	0	1次系純水タンク水位の監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	
		ほう酸タンク水位	2 (2)	—	—	ほう酸タンク水位	2 (2)	2	1	1	1	ほう酸タンク水位の監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響 A.故障電源を 延命した場合	SBO影響 B.故障電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はDPM	直後	A.故障電源を 延命した場合	B.故障電源を 延命した場合	計器故障等	SBO		
																直後	
1. 1次蒸餾水タンクを水源とした1次米補給水ポンプによる加圧送給がシタリングを種田した原料取替用水ヒートへの補給（原子炉管器への注水中の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助送給タンクタンク水位	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2)	4 (2)	2 (2)	1 1 1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			排気筒ガスモニタ	2	0*1	0	—	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2)	4 (2)	2 (2)	1 1 1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	1	0*1	0	—	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2)	4 (2)	2 (2)	1 1 1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	1	0*1	0	—	—	1次冷却材圧力（広域） 加圧器水位 格納容器再循環サンプ水位（広域） 蒸気発生器水位（狭域） 主蒸気ライン圧力	2 (2)	4 (2)	2 (2)	1 1 1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		

*1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	SBO影響		SBO影響				
							A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合	A直前電源を 延命した場合	B直前電源を 延命した場合			
1. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送達が生じた場合、原子炉冷却水ポンプからの供給（原子炉冷却器への注水）中の場合	密閉容器・パイプの監視	判断基準	復水器排ガスモニタ	1	0 * 1	0	0	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			蒸気発生器ブローダウンモニタ	1	0 * 2	0	0	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	1 (A, C)	2 (B)	1 (B)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	2 (A, C)	2 (A, C)	1 (B)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (3)	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	2 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (2)	2 (2)	1 (B)	1 (A, C)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			加圧器水位	4 (4)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	4 (4)	4 (4)	1 (B)	1 (A, C)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (2)	2 (2)	1 (B)	1 (A, C)	1 (A, C)	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	1.2 (6)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランストトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価																																																																																																																								
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器候補等	SBO																																																																																																																							
					直後	A直前電源を 延命した場合			直後	B直前電源を 延命した場合																																																																																																																									
i. 1次冷却水タンクを水源とした1次冷却水ポンプによる加圧器逃がしタンクを掘出した燃料冷却器用水ピットへの供給（原子炉容器への注水中の場合）	判断基準	格納容器パイプの監視	加圧器逃がしタンク水位	1	0	0	0	2	2	2	2	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。																																																																																																																					
															加圧器逃がしタンク圧力	1	0	0	2	2	2	2	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。																																																																																																								
																												加圧器水位	4	(2)	4	4	4	4	4	1	1	1	1	格納容器サンプ水位の上昇がないこと の確認によりインターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。																																																																																											
																																									格納容器サンプ水位	2	1	0	2	2	2	2	1	1	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと ALOCAの傾向監視が可能。																																																																														
																																																						1次冷却材圧力（広域）	2	(2)	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。																																																																	
																																																																			加圧器水位	4	(2)	4	4	4	4	4	1	1	1	1	格納容器サンプ水位の上昇がないこと ALOCAの傾向監視が可能。																																																				
																																																																																格納容器サンプ水位	2	1	0	2	2	2	2	1	1	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと ALOCAの傾向監視が可能。																																							
																																																																																													1次冷却材圧力（広域）	2	(2)	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムALOCAの傾向監視が可能。																										
																																																																																																										加圧器水位	4	(2)	4	4	4	4	4	1	1	1	1	格納容器サンプ水位の上昇がないこと ALOCAの傾向監視が可能。													
																																																																																																																							格納容器サンプ水位	2	1	0	2	2	2	2	1	1	0	0	格納容器サンプ水位の上昇がないこと ALOCAの傾向監視が可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(B, C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
			計器名称	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	SBO影響		補測パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器設備等	SBO		
						A:直流電源を 延命した場合	B:交流電源を 延命した場合				A:直流電源を 延命した場合	B:交流電源を 延命した場合				
1. 1次系純水タンクを水源地とした1次系補給水ポンプによる加圧送給がしタンクを継出した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉停置器への注水の場合）	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	—	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は主要ペラメータにて確認。	
			エアロクックエリアモニタ	1	1	—	—	—	エアロクックエリアモニタ及び炉内核計器監視エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	1	1	0	0	監視事項は主要ペラメータにて確認。		
			炉内核計器区域エアモニタ	1	0	—	—	—	炉内核計器区域エアモニタ	1	1	0	0	監視事項は主要ペラメータにて確認。		
			エアロクックエリアモニタ	1	1	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) によりエアロクックエリアモニタの代替監視可能。	監視事項は主要ペラメータにて確認。	
			炉内核計器区域エアモニタ	1	0	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により炉内核計器区域エアモニタの代替監視可能。	監視事項は主要ペラメータにて確認。	
			格納容器じんあいモニタ	1	0*1	—	—	—	格納容器じんあいモニタ	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により格納容器じんあいモニタの代替監視可能。	監視事項は主要ペラメータにて確認。	
			格納容器ガスモニタ	1	0*1	—	—	—	格納容器ガスモニタ	2 (2)	2	1	1	測定範囲内であれば格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) により格納容器ガスモニタの代替監視可能。	監視事項は主要ペラメータにて確認。	
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	—	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	1次系純水タンク水位の傾向監視により燃料取替用水ピット水位の代替監視可能。	監視事項は主要ペラメータにて確認。	
			1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	

* 1: 試験投取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

全: すべてのループの計器の合計数

A(B, C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		SBO	
					A異常電源を 延命した場合	B異常電源を 延命した場合					直後	A異常電源を 延命した場合		
注1 冷却系水タンクを水源地とした冷却系給水ポンプを稼働した際、冷却系給水ポンプを稼働した際、冷却系給水ポンプへの供給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）	信号		ECSS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉圧力容器内の水位		加圧器水位	4 (2)	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	0	0	計測範囲内であれば原子炉容器水位により加圧器水位の代替監視可能。	—
	原子炉圧力容器内の圧力		1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1	—	—	サブクール度 1次冷却材圧力 (広域) 1次冷却材圧力 (広域—高温側) 加圧器圧力	1 2 3 4	0 1 3 4	0 1 3 0	0 1 3 0	監視事項は 主要パラメータにて確認。 監視事項は 主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の温度		格納容器内温度	2 (2)	1	—	—	原子炉格納容器圧力 格納容器内温度	4 (2)	1	1	1	監視事項は 主要パラメータにて確認。	
	原子炉格納容器内の圧力		原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	—	—	格納容器圧力 (監視) 格納容器内温度	2 (2)	2	2	0	1	監視事項は 主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力		原子炉格納容器圧力 (監視)	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視) 格納容器圧力 (監視)	1 1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力		原子炉格納容器圧力 (監視)	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視) 格納容器圧力 (監視)	1 1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力		原子炉格納容器圧力 (監視)	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視) 格納容器圧力 (監視)	1 1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力		原子炉格納容器圧力 (監視)	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視) 格納容器圧力 (監視)	1 1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラメータにて確認。
	原子炉格納容器内の圧力		原子炉格納容器圧力 (監視)	2	0	—	—	原子炉格納容器圧力 (監視) 格納容器圧力 (監視)	1 1	0	0	0	0	監視事項は 主要パラメータにて確認。

注：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合		
ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送給がシタタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のS/Aブレイの場合)	判断基準	原子炉格納容器への注水量	格納容器S/Aブレイ流量	2	0	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視により格納容器S/Aブレイ流量の代替監視可能。
			B-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	1	1	0	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	格納容器再循環サンプ水位 (広域) の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	1	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			1次系純水タンク水位	1	0	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			ほう酸タンク水位	2 (2)	1	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			格納容器水位	2 (2)	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
水源の確保			燃料取替用水ピット水位	2 (2)	1	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			1次系純水タンク水位	1	0	—	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。
			ほう酸タンク水位	2 (2)	1	—	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	2	1	1	大減である燃料取替用水ピット水位の傾向監視によりB-1格納容器S/Aブレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の代替監視可能。

全：すべてのループの計器の合計数
A(0,0)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器設備等	SBO			
					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					
注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率 注：1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合、原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器 内の放射線量率	—	—	—	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	—	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	2 (2)	2	1	1	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						エアロクックエリアモニタ	1	0	1	—	エアロクックエリアモニタ	1	0	0	0	エアロクックエリアモニタ及び炉内核計測区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						炉内核計測区画エアモニタ	1	0	0	—	炉内核計測区画エアモニタ	1	0	0	0	炉内核計測区画エアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						エアロクックエリアモニタ	1	0	0	—	エアロクックエリアモニタ	1	0	0	0	エアロクックエリアモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	—	格納容器じんあいモニタ	1	0*1	0	0	格納容器じんあいモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	—	格納容器ガスモニタ	1	0*1	0	0	格納容器ガスモニタの指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
						格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	—	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	1	0	0	0	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) の指示の上昇を傾向監視することにより炉内損傷の恐れが生じているかを推定可能。	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。

1.13.2.2(1) e. (b) 1. 「1次系補給水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧送水が停止した場合」の補給（原子炉格納容器への注水）の操作手順と同様である。

注：すべてのループの計器の合計数
A(0,C)：当該ループの計器数
*1：試料採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
			計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	SBO影響		計器数 ()内はPAM	計器名称	SBO	
							A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合					A直流電源を 延命した場合	B交流電源を 延命した場合				
1. 2次蒸気タンクを水源とした2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 2. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 3. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 4. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 5. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 6. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 7. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 8. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 9. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 10. 2次蒸気補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給	信号	ROCS作動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	原子炉圧力容器内の水位	4 (2)	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	2 (2)	高圧注入流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉圧力容器への注水量	2 (2)	低圧注入流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	燃料取替用水ピット水位	2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	加圧器水位	4 (2)	加圧器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。
	原子炉圧力容器内の水位	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	
	原子炉圧力容器内の水位	2 (2)	1次冷却材圧力 (広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	監視事項は 主要パラ メータにて 確認。	

全: すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	監視パラメータ										評価			
		抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器								
		計器数 ()内はDPM	計器名称	パラメータ 分類	補測パラメータ 分類理由	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はDPM	計器名称	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
1. 2次系統水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを經由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	原子炉格納容器内の風度	2 (2)	原子炉格納容器内温度	—	—	2	1	1	4 (2)	原子炉格納容器圧力	4 (2)	1	1	格納容器圧力により格納容器内温度の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		4 (2)	原子炉格納容器圧力	—	—	4	1	1	2	格納容器圧力 (AM用)	2	2	0	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の圧力	2 (2)	格納容器内温度	—	—	2	2	0	4 (2)	原子炉格納容器圧力	2 (2)	1	1	格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (監視) により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	格納容器圧力 (AM用)	—	—	2	2	0	2	格納容器内温度	2 (2)	1	1	格納容器内温度/圧力の関係をj用して格納容器内温度により原子炉格納容器圧力の代替監視可能。	
	原子炉格納容器内の水位	2 (2)	格納容器再循環サブ水位 (広域)	—	—	2	1	1	2 (2)	格納容器再循環サブ水位 (監視)	2 (2)	1	1	測定範囲内であれば連続的な監視が可能な格納容器再循環サブ水位 (監視) により格納容器再循環サブ水位 (広域) の代替監視可能。	監視事項は主要パラメータにて確認。
		2 (2)	燃料取替用水ピット水位	—	—	2	1	1	1	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位により格納容器再循環サブ水位 (広域) の代替監視可能。	
		2 (2)	格納容器再循環サブ水位 (広域)	—	—	2	1	1	2 (2)	格納容器水位	1	1	0	格納容器水位 (広域) の代替監視可能。	
		2 (2)	補助給水ピット水位	—	—	2	1	1	2 (2)	補助給水ピット水位	2	1	1	水源である燃料取替用水ピット水位、補助給水ピット水位、注水設備量であるB-1格納容器スプレイ給湯器出口積算流量 (AM用)、代格納容器スプレイポンプ出口積算流量により格納容器再循環サブ水位 (広域) の代替監視可能。	
		2 (2)	格納容器再循環サブ水位 (監視)	—	—	2	1	1	2 (2)	格納容器再循環サブ水位 (広域)	2	1	1	格納容器再循環サブ水位 (広域) との相関係数により格納容器再循環サブ水位 (監視) の代替監視可能。	
		2 (2)	出口積算流量	—	—	2	1	1	1	出口積算流量	1	1	0	格納容器再循環サブ水位 (広域) の代替監視可能。	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	監視パラメータ										評価				
			抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					計器故障等	SBO			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響						
						A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
1. 2次系純水タンク水位を水際 としより高容量純水ポンプに よる使用済燃料ピットを純出 した燃料取替用水ピットへの 補給（原子炉容器への注水中 の場合）	燃料取替用水ピット水位	水原の確保	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			2	2	1、2号中央制御室に確認		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
			計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はDPM	SBO影響		計器故障等	SBO					
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
1. 2次蒸餾水タンクを水源とした2次蒸餾水ポンプによる使用済燃料ピットを転倒した感圧収容用水ピットへの補給（原子炉容器への圧入の場合）	格納容器ヘイバスの監視	格納容器ヘイバスの監視	補助蒸気タンクタンク水位	2	0	0	—	補助パラメータ 分類理由	—	1次冷却材圧力（広域）	2	2	1	1	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。		
			補助蒸気タンクタンク水位	2	0	0	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	4	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。		
			蒸気発生器水位（狭域）	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	3 (全)	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2 (2)	2 (2)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	4	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。	
			加圧器水位	4 (2)	4 (2)	4 (2)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。
			蒸気発生器水位（狭域）	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。
			1次冷却材圧力（広域）	2 (2)	2 (2)	2 (2)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。
			加圧器水位	4 (2)	4 (2)	4 (2)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。
			蒸気発生器水位（狭域）	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	1.2 (全)	3 (全)	—	格納容器再循環サンプ水位 （広域）	2	2	2	2	2	1	1	1	1次冷却材圧力（広域）、加圧器水 位、格納容器再循環サンプ水位（広 域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主 蒸気ライン圧力により、インターフェ イスシステムLOCAの傾向監視が可能。

*1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

第1表 重大事故等対処に係る監視事項

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

対応手段	項目	分類	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
			計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器故障等	SBO		
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
1. 2次系統純水タンクを水溜りとした2次系補助水ポンプによる使用済燃料ピットを器出した燃料取扱費用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）	判 断 基 準	密封容器、パイプの監視	復水器排ガスモニタ	1	0 * 1	0	0	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			蒸気発生器ブローダウンモニタ	1	0 * 2	0	0	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			高感度型主蒸気管モニタ	3	3	0	0	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇により 蒸気発生器伝導管破損を推定可能。	1 (B)	2 (A, C)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の変化により蒸気発生器伝導管破損を推定可能。	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。	
			補助給水流量	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	補助給水流量	3 (3)	1 (B)	2 (A, C)	2 (全)	1 (B)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			蒸気発生器水位 (広域)	3 (3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝導管破損を推定可能。	3 (3)	2 (A, C)	3 (全)	1 (B)	2 (A, C)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	1次冷却材圧力 (広域)	2 (2)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			加圧器水位	4 (2)	4 (全)	4 (全)	4 (全)	加圧器水位	4 (2)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			燃料容器再循環ポンプ出口圧力 (広域)	2 (2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	燃料容器再循環ポンプ水位 (広域)	2 (2)	1 (B)	1 (全)	1 (全)	1 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	蒸気発生器水位 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。
			主蒸気ライン圧力	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	主蒸気ライン圧力 (狭域)	1.2 (6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	監視事項は 代替パラ メータにて 確認。

全：すべてのループの計器の合計数

A(B, C)：当該ループの計器数

* 1：試験採取に必要なサンプリング電源が喪失するため監視不可

* 2：フランストトリップによりサンプリングラインが閉止されるため監視不可